



(様式第10)

附総 第 7174 号

令和 2 年 10 月 1 日

厚生労働大臣

殿

開設者名 公立大学法人 横浜市立大学  
理事長 二見 良之

## 公立大学法人横浜市立大学附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和23年法律第205号）第12条の3第1項及び医療法施行規則（昭和23年厚生省令第50号）第9条の2の2の第1項の規定に基づき、令和元年度の業務に関して報告します。

記

## 1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒236-0027 横浜市金沢区瀬戸22-2
氏 名	公立大学法人横浜市立大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

## 2 名 称

公立大学法人横浜市立大学附属病院
------------------

## 3 所在の場所

〒236-0004 横浜市金沢区福浦3-9	電話( 045 ) 787 - 2800
-----------------------	----------------------

## 4 診療科名

## 4-1 標榜する診療科名の区分

- ① 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜  
 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

## 4-2 標榜している診療科名

## (1) 内科

内科	(有) • 無
内科と組み合わせた診療科名等	
1呼吸器内科	2消化器内科
5神経内科	6血液内科
9感染症内科	10アレルギー疾患内科またはアレルギー科
診療実績	3循環器内科
	4腎臓内科
	7内分泌内科
	8代謝内科
	11リウマチ科

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2) 外科

外科	(有) • 無
外科と組み合わせた診療科名	
1呼吸器外科	2消化器外科
5血管外科	(6)心臓血管外科
3乳腺外科	
7内分泌外科	
4心臓外科	
8小児外科	
診療実績	

- (注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。
- 2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること(「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと)。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

①精神科	②小児科	③整形外科	④脳神経外科	⑤皮膚科	⑥泌尿器科	⑦産婦人科
8産科	9婦人科	10眼科	11耳鼻咽喉科	12放射線科	13放射線診断科	
14放射線治療科	15麻酔科	16救急科				

- (注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	(有) • 無
歯科と組み合わせた診療科名	
1小児歯科	2矯正歯科
3口腔外科	
歯科の診療体制	

- (注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。
- 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1 呼吸器科	2 循環器科	3 消化器科	4 リハビリテーション科	5 形成外科	6 病理診断科	
7	8	9	10	11	12	13
15	16	17	18	19	20	21

- (注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
26床	0床	16床	0床	632床	674床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	459人	149人	484.6人	看護補助者	54人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	17人	3人	17.8人	理学療法士	16人	臨床検査技師	75人
薬剤師	49人	11人	57.9人	作業療法士	12人	衛生検査技師	0人
保健師	0人	0人	0人	視能訓練士	6人	その他	0人
助産師	41人	2人	42.6人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	人
看護師	724人	47人	744人	臨床工学士	17人	医療社会事業従事者	11人
准看護師	0人	0人	0人	栄養士	0人	その他の技術員	11人
歯科衛生士	3人	3人	5.9人	歯科技工士	1人	事務職員	204人
管理栄養士	9人	1人	9.8人	診療放射線技師	47人	その他の職員	3人

(注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。

2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。

3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

## 7 専門の医師数

専門医名	人 数	専門医名	人 数
総合内科専門医	80人	眼科専門医	8人
外科専門医	40人	耳鼻咽喉科専門医	10人
精神科専門医	12人	放射線科専門医	19人
小児科専門医	20人	脳神経外科専門医	9人
皮膚科専門医	5人	整形外科専門医	17人
泌尿器科専門医	9人	麻酔科専門医	30人
産婦人科専門医	14人	救急科専門医	5人
		合 計	278人

(注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。

2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

## 8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名（相原道子）任命年月日 平成28年4月1日

医療安全管理責任者（統括安全管理者）の経験を有する。

## 9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	542人	15人	557人
1日当たり平均外来患者数	1,824人	97人	1,921人
1日当たり平均調剤数			668剤
必要医師数			159人
必要歯科医師数			2人
必要薬剤師数			19人
必要(准)看護師数			344人

(注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。

2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を曆日で除した数を記入すること。

3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。

4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ曆日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二条の二の算定式に基づき算出すること。

## 10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要		
集中治療室	195m <sup>2</sup>	鉄骨造	病床数	8床	心電計 (有)・無
			人工呼吸装置	(有)・無	心細動除去装置 (有)・無
			その他の救急蘇生装置	(有)・無	ペースメーカー (有)・無
無菌病室等	[固定式の場合] 11.55~13.43m <sup>2</sup> [移動式の場合]	床面積 台数	病床数	11床	
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 32 m <sup>2</sup> [共用室の場合]	床積 共用する室名			
化学検査室	1278m <sup>2</sup>	鉄骨造	(主な設備) 生化学多項目自動分析装置 検体前処理・搬送システム		
細菌検査室	145m <sup>2</sup>	鉄骨造	(主な設備) 自動細菌検査装置、全自動血液培養装置		
病理検査室	312m <sup>2</sup>	鉄骨造	(主な設備) 自動免疫染色装置、電子顕微鏡		
病理解剖室	183m <sup>2</sup>	鉄骨造	(主な設備) 解剖室、更衣室、安置室(冷蔵室)		
研究室	14,749m <sup>2</sup>	鉄骨造	(主な設備) 動物実験センター、RI研究センター、臨床研究棟		
講義室	277m <sup>2</sup>	鉄骨造	室数	2室	収容定員 180人
図書室	2,398m <sup>2</sup>	鉄骨造	室数	室	蔵書数 15万2千冊程度

(注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。

2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率	82.4%	逆紹介率	58.0%
算 A : 紹介患者の数			15,956人
出 B : 他の病院又は診療所に紹介した患者の数			13,588人
根 C : 救急用自動車によって搬入された患者の数			3,348人
拠 D : 初診の患者の数			23,426人

(注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由（注）

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
相馬 孝博	千葉大学医学部 附属病院 医療 安全管理部	○	医療に係る安全管理 に識見を有する者	有・無	1
水地 啓子	森法律事務所		医療に係る法律に識 見を有する者	有・無	1
足立 雅子	病院ボランティ ア ランパスの会		医療を受ける立場の 者	有・無	2
益田 宗孝	本学医学部長		その他の学識経験を 有する者（内部委員）	有・無	1
田中 靖	法人事務局副局 長		その他の医療従事者 以外の者（内部委員）	有・無	2

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	有・無
委員の選定理由の公表の有無	有・無
公表の方法	
病院のホームページ上で公開	

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

#### 1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示  
第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

## 高度の医療の提供の実績

## 2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
FDGを用いたポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影による不明熱の診断	0人
LDLアフェレシス療法 閉塞性動脈硬化症(薬物療法に抵抗性を有するものであり、かつ、血行再建術及び血管内治療が困難なものであって、フォンタン分類ⅡB度以上のものに限る。)	7人
内視鏡下手術用ロボットを用いた腹腔鏡下広汎子宮全摘術 子宮頸がん(FIGOによる臨床進行期分類がⅠB期以上及びⅡB期以下の扁平上皮がん又はFIGOによる臨床進行期分類がⅠA2期以上及びⅡB期以下の腺がんであって、リンパ節転移及び腹腔内臓器に転移していないものに限る。)	0人
自家骨髓単球移植による下肢血管再生治療 バージャ病(従来の治療法に抵抗性を有するものであって、フォンダン分類Ⅲ度又はⅣ度のものに限る。)	0人
マルチプレックス遺伝子パネル検査 固形がん(根治切除が不可能又は治療後に再発したものであって、治療法が存在しないもの又は従来の治療法が終了しているもの若しくは従来の治療法が終了予定のものに限る。)	2人
ニボルマブ静脈内投与及びドセタキセル静脈内投与の併用療法 進行再発非小細胞肺がん(ステージⅢB期、ⅢC期若しくはⅣ期又は術後に再発したものであって、化学療法が行われたものに限る。)	0人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 3 その他の高度の医療

医療技術名	切除不能膵・消化管神経内分泌腫瘍に対するカペシタビン・テモゾロミド併用化学療法(CAPTEM)	取扱患者数	12人
-------	---	-------	-----

#### 当該医療技術の概要

神経内分泌腫瘍は、年間10万人あたり3人に発症する極めて希な腫瘍である。そのため、切除不能な段階で始めて診断され、その多くは外科的切除の適応とならない。切除不能神経内分泌腫瘍に対してはサンドスタチンLARやソマチュリンといったホルモン療法、アフィニトール、ステントといった分子標的薬、ザノサー等の抗がん剤が保険収載されている。しかし、その治療効果は限定的なものであり、副作用の観点から、その継続性に關しても議論があるところである。2005年コロンビア大学よりCAPTEM療法が、始めて報告された。この治療法は、神経内分泌腫瘍の細胞株であるBON細胞株でアポトーシスを誘発する際、カペシタビンとテモゾロミドには相乗作用があることを見出したことをもとに、臨床応用された治療方法で、実際に非常に高い抗腫瘍効果が得られたとするものである。2013年にその一部が論文掲載され、2014年1月16日から、米サンフランシスコで開催されたGastrointestinal Cancer Symposium (ASCO-GI)で発表された。転移を有する高・中分化型神経内分泌腫瘍(Ki-67≤20%)患者を対象としたもので28日を1サイクルとし、カペシタビンは1500mg/m<sup>2</sup>/日を1日2回に分け1-14日目まで経口投与した。テモゾロミドは150-200mg/m<sup>2</sup>/日を1日1回、10-14日目まで経口投与とした。登録した28人において、完全奏効(CR)は11%、部分奏効(PR)は32%で得られ、奏効率は43%、安定状態(SD)は54%、臨床的有効率(CBR)は97%だった。無増悪生存期間中央値(PFS)は22ヶ月。OSは29.1ヶ月であった。CAPTEM療法に関しての、その後も多数の報告例があったが、2017年のASCOにて、切除不能膵原発の神経内分泌腫瘍の患者を対象として、テモゾロミド単独群をコントロールアームとした初めてのランダム化第二相試験Iが施行され、PFSにおいて22.7ヶ月対14.4ヶ月(HR=0.58, P=0.023)副次評価項目、OS not reached 対38.0ヶ月(HR=0.41, P=0.012)でCAPTEM療法の有用性が報告された。

医療技術名		取扱患者数	人
-------	--	-------	---

#### 当該医療技術の概要

医療技術名		取扱患者数	人
-------	--	-------	---

#### 当該医療技術の概要

医療技術名		取扱患者数	人
-------	--	-------	---

#### 当該医療技術の概要

医療技術名		取扱患者数	人
-------	--	-------	---

#### 当該医療技術の概要

医療技術名		取扱患者数	人
-------	--	-------	---

#### 当該医療技術の概要

医療技術名		取扱患者数	人
-------	--	-------	---

#### 当該医療技術の概要

医療技術名		取扱患者数	人
-------	--	-------	---

#### 当該医療技術の概要

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に關し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

## 高度の医療の提供の実績

## 4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	9	56	ペーチェット病	167
2	筋萎縮性側索硬化症	46	57	特発性拡張型心筋症	22
3	脊髄性筋萎縮症	1	58	肥大型心筋症	4
4	原発性側索硬化症	2	59	拘束型心筋症	1
5	進行性核上性麻痺	24	60	再生不良性貧血	14
6	パーキンソン病	200	61	自己免疫性溶血性貧血	1
7	大脳皮質基底核変性症	13	62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	3
8	ハンチントン病	5	63	特発性血小板減少性紫斑病	29
9	神経有棘赤血球症		64	血栓性血小板減少性紫斑病	
10	シャルコー・マリー・トゥース病	1	65	原発性免疫不全症候群	15
11	重症筋無力症	90	66	IgA腎症	14
12	先天性筋無力症候群	2	67	多発性囊胞腎	26
13	多発性硬化症／視神経脊髄炎	110	68	黄色鞘帯骨化症	4
14	慢性炎症性脱髓性多発神経炎／多巣性運動ニューロパシー	15	69	後縫鞘帯骨化症	26
15	封入体筋炎	4	70	広範脊柱管狭窄症	3
16	クロウ・深瀬症候群	30	71	特発性大腿骨頭壞死症	64
17	多系統萎縮症	30	72	下垂体性ADH分泌異常症	13
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	92	73	下垂体性TSH分泌亢進症	
19	ライソゾーム病	4	74	下垂体性PRL分泌亢進症	6
20	副腎白質ジストロフィー	2	75	クッシング病	4
21	ミトコンドリア病	9	76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	
22	もやもや病	20	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	6
23	プリオントン病	78		下垂体前葉機能低下症	34
24	亜急性硬化解性全脳炎	79		家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	1
25	進行性多巣性白質脳症	80		甲状腺ホルモン不応症	
26	HTLV-1関連脊髄症	2	81	先天性副腎皮質酵素欠損症	
27	特発性基底核石灰化症	82		先天性副腎低形成症	
28	全身性アミロイドーシス	8	83	アジソン病	1
29	ウルリッヒ病	84		サルコイドーシス	48
30	遠位型ミオパチー	85		特発性間質性肺炎	17
31	ベスレムミオパチー	86		肺動脈性肺高血圧症	21
32	自己貪食空胞性ミオパチー	87		肺静脈閉塞症／肺毛細血管腫症	
33	シュワルツ・ヤンペル症候群	88		慢性血栓栓塞性肺高血圧症	51
34	神経線維腫症	19	89	リンパ脈管筋腫症	3
35	天疱瘡	31	90	網膜色素変性症	34
36	表皮水疱症	91		バッド・キアリ症候群	1
37	膿疱性乾癥(汎発型)	9	92	特発性門脈圧亢進症	1
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	1	93	原発性胆汁性肝硬変	42
39	中毒性表皮壊死症	94		原発性硬化解性胆管炎	3
40	高安動脈炎	34	95	自己免疫性肝炎	16
41	巨細胞性動脈炎	11	96	クローグン病	9
42	結節性多発動脈炎	11	97	潰瘍性大腸炎	74
43	顯微鏡的多発血管炎	38	98	好酸球性消化管疾患	15
44	多発血管炎性肉芽腫症	14	99	慢性特発性偽性腸閉塞症	24
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	22	100	巨大膀胱短小結腸管蠕動不全症	
46	悪性関節リウマチ	14	101	腸管神経節細胞僅少症	
47	バージャー病	10	102	ルビンシュタイン・ティビ症候群	
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	3	103	CFC症候群	
49	全身性エリテマトーデス	277	104	コステロ症候群	
50	皮膚筋炎／多発性筋炎	127	105	チャージ症候群	
51	全身性強皮症	99	106	クリオピリン関連周期熱症候群	
52	混合性結合組織病	46	107	全身型若年性特発性関節炎	30
53	シェーグレン症候群	30	108	TNF受容体関連周期性症候群	1
54	成人スチル病	14	109	非典型溶血性尿毒症症候群	1
55	再発性多発軟骨炎	4	110	ブラウ症候群	1

## 高度の医療の提供の実績

## 4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数	疾患名	患者数
111	先天性ミオパシー	1	161	家族性良性慢性天疱瘡
112	マリネスコ・シェーグレン症候群		162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)
113	筋ジストロフィー	13	163	特発性後天性全身性無汗症
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群		164	眼皮膚白皮症
115	遺伝性周期性四肢麻痺		165	肥厚性皮膚骨膜症
116	アトピー性脊髄炎		166	弾性線維性仮性黄色腫
117	脊髄空洞症		167	マルファン症候群
118	脊髄髓膜瘤		168	エーラス・ダンロス症候群
119	アイザックス症候群		169	メンケス病
120	遺伝性ジストニア		170	オクシピタル・ホーン症候群
121	神経フェリチン症	1	171	ウィルソン病
122	脳表ヘモジデリン沈着症	2	172	低ホスファターゼ症
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体優性白質脳症		173	VATER症候群
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	1	174	那須・ハコラ病
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症		175	ウイーバー症候群
126	ペリー症候群		176	コフイン・ローリー症候群
127	前頭側頭葉変性症	1	177	有馬症候群
128	ピッカースタッフ脳幹脳炎		178	モワット・ウィルソン症候群
129	痙攣重積型(二相性)急性脳症		179	ウイリアムズ症候群
130	先天性無痛無汗症		180	ATR-X症候群
131	アレキサンダー病		181	クルーゾン症候群
132	先天性核上性球麻痺		182	アペール症候群
133	メビウス症候群		183	ファイファー症候群
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群		184	アントレー・ピクスラー症候群
135	アイカルディ症候群		185	コフイン・シリス症候群
136	片側巨脳症		186	ロスマンド・トムソン症候群
137	限局性皮質異形成		187	歌舞伎症候群
138	神経細胞移動異常症		188	多脾症候群
139	先天性大脳白質形成不全症		189	無脾症候群
140	ドラベ症候群		190	鰓耳腎症候群
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん		191	ウェルナー症候群
142	ミオクロニー欠神てんかん		192	コケイン症候群
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん		193	プラダード・ウイリ症候群
144	レノックス・ガストー症候群		194	ソトス症候群
145	ウエスト症候群		195	ヌーナン症候群
146	大田原症候群		196	ヤング・シンプソン症候群
147	早期ミオクロニー脳症		197	1p36欠失症候群
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん		198	4p欠失症候群
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群		199	5p欠失症候群
150	環状20番染色体症候群		200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群
151	ラスマッセン脳炎		201	エンジェルマン症候群
152	PCDH19関連症候群		202	スミス・マギニス症候群
153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎		203	22q11.2欠失症候群
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症		204	エマヌエル症候群
155	ランドウ・クレフナー症候群		205	脆弱X症候群関連疾患
156	レット症候群		206	脆弱X症候群
157	スタージ・ウェーバー症候群		207	総動脈幹遺残症
158	結節性硬化症	5	208	修正大血管転位症
159	色素性乾皮症		209	完全大血管転位症
160	先天性魚鱗癖	1	210	単心室症

## 高度の医療の提供の実績

## 4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数	疾患名	患者数
211	左心低形成症候群	259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	
212	三尖弁閉鎖症	2	シストステロール血症	
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	2	タンジール病	
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	261	原発性高カイロミクロン血症	
215	ファロー四徴症	1	脳膜黄色腫症	
216	両大血管右室起始症	1	無βリポタンパク血症	
217	エプスタイン病	1	脂肪萎縮症	
218	アルポート症候群	265	家族性地中海熱	6
219	ギャロウェイ・モワト症候群	267	高IgD症候群	
220	急速進行性糸球体腎炎	1	中條・西村症候群	1
221	抗糸球体基底膜腎炎	269	化膿性無菌性関節炎・壞疽性膿皮症・アクネ症候群	1
222	一次性ネフローゼ症候群	1	慢性再発性多発性骨髓炎	
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	270	強直性脊椎炎	9
224	紫斑病性腎炎	271	進行性骨化性線維異形成症	
225	先天性腎性尿崩症	272	肋骨異常を伴う先天性側弯症	
226	間質性膀胱炎(ハンナ型)	1	骨形成不全症	
227	オスラー病	274	タナトフォリック骨異形成症	
228	閉塞性細気管支炎	275	軟骨無形成症	
229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	276	リンパ管腫症/ゴーハム病	
230	肺胞低換気症候群	277	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	
231	α1-アンチトリプシン欠乏症	278	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	1
232	カーニー複合	279	巨大動脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	
233	ウォルフラム症候群	280	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	3
234	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	281	先天性赤血球形成異常性貧血	
235	副甲状腺機能低下症	282	後天性赤芽球病	3
236	偽性副甲状腺機能低下症	283	ダイアモンド・ブラックファン貧血	
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	1	ファンコニ貧血	
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	284	遺伝性鉄芽球性貧血	
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	285	エプスタイン症候群	
240	フェニルケトン尿症	286	自己免疫性出血病XIII	1
241	高チロシン血症1型	287	クロンカイト・カナダ症候群	
242	高チロシン血症2型	288	非特異性多発性小腸潰瘍症	
243	高チロシン血症3型	289	ヒルシュスブルング病(全結腸型又は小腸総排泄腔外反症)	
244	メープルシロップ尿症	290	総排泄腔遺残	
245	プロピオン酸血症	291	先天性横隔膜ヘルニア	
246	メチルマロン酸血症	292	乳幼児肝巨大血管腫	
247	イソ吉草酸血症	293	胆道閉鎖症	
248	グルコーストランスポーター1欠損症	294	アラジール症候群	
249	グルタル酸血症1型	295	遺伝性膀胱炎	
250	グルタル酸血症2型	296	囊胞性線維症	
251	尿素サイクル異常症	297	IgG4関連疾患	8
252	リジン尿性蛋白不耐症	298	黄斑ジストロフィー	1
253	先天性葉酸吸收不全	299	レーベル遺伝性視神経症	
254	ポルフィリン症	300	アッシュレー症候群	
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	301	若年発症型両側性感音難聴	4
256	筋型糖原病	302	遅発性内リンパ水腫	
257	肝型糖原病	1	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	8
258	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	1	好酸球性副鼻腔炎	
		304		
		305		
		306		

## 高度の医療の提供の実績

## 4 指定難病についての診療

	疾 患 名	患者数	疾 患 名	患者数
307	カナバン病	319	セピアブテリン還元酵素(SR)欠損症	
308	進行性白質脳症	320	先天性グリコシルホスファチジルイノシットール(GPI)欠損症	
309	進行性ミオクローヌステンかん	321	非ケトーシス型高グリシン血症	
310	先天異常症候群	322	β-ケトチオラーゼ欠損症	
311	先天性三尖弁狭窄症	323	芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	
312	先天性僧帽弁狭窄症	324	メチルグルタコン酸尿症	
313	先天性肺静脈狭窄症	325	遺伝性自己炎症疾患	
314	左肺動脈右肺動脈起始症	326	大理石骨病	
315	ネイルパテラ症候群(爪膝蓋骨症候群)/LMX1B関連腎症	327	特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	
316	カルニチン回路異常症	328	前眼部形成異常	
317	三頭酵素欠損症	329	無虹彩症	
318	シトリン欠損症	330	先天性気管狭窄症	

(注) 「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

## 高度の医療の提供の実績

#### 5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

## 高度の医療の提供の実績

## 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・歯科疾患管理料の注1に掲げる総合医療管理加算及び歯科治療時医療管理料	・ウイルス疾患指導料
・糖尿病合併症管理料	・がん性疼痛緩和指導管理料
・がん患者指導管理料イ	・がん患者指導管理料ロ
・がん患者指導管理料ハ	・外来緩和ケア管理料
・移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後)	・糖尿病透析予防指導管理料
・乳腺炎重症化予防・ケア指導料	・外来放射線照射診療料
・ニコチン依存症管理料	・療養・就労両立支援指導料の注2に掲げる相談体制充実加算
・がん治療連携計画策定料	・肝炎インターフェロン治療計画料
・ハイリスク妊産婦連携指導料1	・薬剤管理指導料
・医療機器安全管理料1	・医療機器安全管理料2
・医療機器安全管理料(歯科)	・在宅腫瘍治療電場療法指導管理料
・持続血糖測定器加算及び皮下連続式グルコース測定	・遺伝学的検査
・精密触覚機能検査	・骨髓微小残存病変量測定
・HPV核酸検出およびHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)	・検体検査管理加算(I)
・検体検査管理加算(IV)	・国際標準検査管理加算
・遺伝カウンセリング加算	・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
・胎児心エコー法	・時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト
・ヘッドアップティルト試験	・人工肺臓検査、人工肺臓療法
・長期継続頭蓋内脳波検査	・脳波検査判断料1
・神経学的検査	・補聴器適合検査
・ロービジョン検査判断料	・コンタクトレンズ検査料1
・内服・点滴誘発試験	・CT透視下気管支鏡検査加算
・画像診断管理加算1	・ポジトロン断層撮影
・ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影	・コンピューター断層撮影(CT撮影)
・磁気共鳴コンピューター断層撮影(MRI撮影)	・冠動脈CT撮影加算
・心臓MRI撮影加算	・乳房MRI撮影加算
・抗悪性腫瘍剤処方管理加算	・外来化学療法加算1
・無菌製剤処理料	・心大血管疾患リハビリテーション料(I)

・脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)	・運動器リハビリテーション料(Ⅰ)
・呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)	・がん患者リハビリテーション料
・歯科口腔リハビリテーション料2	・児童思春期精神科専門管理加算
・認知療法・認知行動療法	・精神科ショート・ケア「小規模なもの」
・抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失调症治療指導管理料に限る。)	・医療保護入院等診療料
・硬膜外自家血注入	・エタノールの局所注入(甲状腺)
・エタノールの局所注入(副甲状腺)	・人工腎臓
・導入期加算2及び腎代替療法実績加算	・透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算
・下肢末梢動脈疾患指導管理加算	・CAD/CAM冠
・センチネルリンパ節加算	・組織拡張器による再建手術(乳房(再建手術)の場合に限る。)
・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(同種骨移植(非生体)(同種骨移植(特殊なものに限る。)))	・骨移植術(軟骨移植術を含む)(自家培養軟骨移植術に限る。)
・脳刺激装置植込術(頭蓋骨内電極植込術を含む。)及び脳刺激装置交換術	・脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
・縦内障手術(縦内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))	・縦内障手術(水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術)
・網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの)	・網膜再建術
・人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術および植込型骨導補聴器交換術	・内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)
・内視鏡下甲状腺部分切除、腺腫摘出術、内視鏡下バセドウ甲状腺全摘(垂全摘)術(両葉)、内視鏡下副甲状腺(上皮小体)腺腫過形成手術	・内視鏡下甲状腺悪性腫瘍手術
・乳がんセンチネルリンパ節加算1及びセンチネルリンパ節生検(併用)	・乳がんセンチネルリンパ節加算2及びセンチネルリンパ節生検(単独)
・乳腺悪性腫瘍手術(乳頭乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴わないもの)及び乳頭乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴うもの))	・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)
・胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術及び胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(肺葉切除又は1肺葉を超えるもので、内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)、内視鏡下胃・十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、小腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、結腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、腎(腎孟)瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、尿管瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、膀胱瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)及び膀胱瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)	・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)
・経皮的中隔心筋焼灼術	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術(リードレスペースメーカー)	・両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術
・植込型除細動器移植術及び植込型除細動器交換術及び経静脈電極抜去術	・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術
・大動脈バルーンパンピング法(IABP法)	・経皮的循環補助法(ポンプカテーテルを用いたもの)
・補助人工心臓	・植込型補助人工心臓(非拍動流型)
・腹腔鏡下小切開骨盤内リンパ節群郭清術、腹腔鏡下小切開後腹膜リンパ節群郭清術、腹腔鏡下小切開後腹膜腫瘍摘出術、腹腔鏡下小切開後腹膜悪性腫瘍手術、腹腔鏡下小切開尿管腫瘍摘出術、腹腔鏡下小切開腎(尿管)悪性腫瘍手術、腹腔鏡下小切開膀胱腫瘍摘出術、腹腔鏡下小切開前立腺悪性腫瘍手術	・腹腔鏡下小切開副腎摘出手術、腹腔鏡下小切開腎部分切除術、腹腔鏡下小切開腎摘出術、
・腹腔鏡下小切開尿管腫瘍摘出術、腹腔鏡下小切開腎(尿管)悪性腫瘍手術、腹腔鏡下小切開膀胱腫瘍摘出術、腹腔鏡下小切開前立腺悪性腫瘍手術	・腹腔鏡下胃切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・腹腔鏡下噴門側胃切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・腹腔鏡下胃全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)

・バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術	・胆管悪性腫瘍手術(脾頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)
・体外衝撃波胆石破碎術	・腹腔鏡下肝切除術
・生体部分肝移植術	・腹腔鏡下脾腫瘍摘出術
・腹腔鏡下脾体尾部腫瘍切除術	・腹腔鏡下脾頭十二指腸切除術
・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	・腹腔鏡下直腸切除・切断術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・体外衝撃波腎・尿管結石破碎術	・腎腫瘍凝固・焼灼術(冷凍凝固によるもの)
・腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・腹腔鏡下小切開膀胱悪性腫瘍手術
・人工尿道括約筋植込・置換術	・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術
・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	・腹腔鏡下仙骨臍固定術
・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る)	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮頸がんに限る。)
・輸血管理料 I	・輸血適正使用加算
・コーディネート体制充実加算	・自己生体組織接着剤作成術
・自己クリオプレシピテート作製術(用手法)	・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
・歯周組織再生誘導手術	・広範囲顎骨支持型装置埋込手術
・麻酔管理料( I )	・麻酔管理料( II )
・放射線治療専任加算	・外来放射線治療加算
・高エネルギー放射線治療	・1回線量増加加算
・強度変調放射線治療(IMRT)	・画像誘導放射線治療(IGRT)
・体外照射呼吸性移動対策加算	・定位放射線治療
・定位放射線治療呼吸性移動対策加算	・病理診断管理加算2
・悪性腫瘍病理組織標本加算	・クラウン・ブリッジ維持管理料
・歯科矯正診断料	・顎口腔機能診断料(顎変形症(顎離断等の手術を必要とするものに限る。)の手術前後における歯科矯正に係るもの)
・酸素の購入単価	・

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

7 診療報酬の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・実物大臓器立体モデルによる手術支援	・硬膜外自家血注入療法
・定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価	・急性リンパ性白血病細胞の免疫遺伝子再構成を利用した定量的PCR法による骨髄微小残存病変(MRD)量の測定
・腹腔鏡下広汎子宮全摘術	・多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注) 1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。

(注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、診療報酬の算定方法(平成二〇年厚生労働省告示第五九号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	30回
剖検の状況	剖検症例数 30 例 / 剖検率 9 %

(注) 「症例検討会の開催頻度」及び「剖検の状況」欄には、前年度の実績を記入すること。

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
新しいPET診断法開発	中村 健	リハビリテーション科学	18万円	(補)委戦略的研究推進事業
脊髄損傷後患者における疼痛発症にかかる機能的・構造的变化の探索	中村 健	リハビリテーション科学	111万円	(補)委日本医療研究開発機構(2019-2021)
スモン患者の運動能力に関する研究	中村 健	リハビリテーション科学	90万円	(補)委厚生労働省科学研究費補助金
中枢神経疾患に伴う痙攣が疼痛に与える影響について	根本 明宜	リハビリテーション科学	30万円	(補)委奨学寄付金第一三共株式会社
診療報酬請求書情報を用いた重度痙攣の医療経済的検討	根本 明宜	リハビリテーション科学	50万円	(補)委学術研究助成基金助成金基盤研究◎
口腔癌頸部リンパ節転移に対するICGラクソームを用いたセラノスティクス	飯田昌樹	口腔外科学	143万円	(補)委文部科学省科学研究費補助金基盤研究◎
磁性造影剤と磁気プローブを用いた新しい口腔癌センチネルリンパ節同定法の確立	岩井俊憲	口腔外科学	60万円	(補)委文部科学省科学研究費補助金基盤研究(C)
化学放射線療法による口腔粘膜炎に対する治療法の開発	大橋伸英	口腔外科学	169万円	(補)委文部科学省科学研究費補助金若手研究
重症患者の全身・摂食嚥下機能に応じたリハビリテーションプログラム開発と効果検証	大橋伸英	口腔外科学	377万円	(補)委文部科学省科学研究費補助金基盤研究(B)
温熱療法とIL-1R阻害薬の臨床応用に向けた併用療法の開発	小栗千里	口腔外科学	117万円	(補)委文部科学省科学研究費補助金基盤研究◎
再発口腔癌に誘導されるCD206+予後マーカーおよび治療標的としての可能性	來生 知	口腔外科学	377万円	(補)委文部科学省科学研究費補助金基盤研究(B)
腫瘍治療電場(TTF)を用いた口腔癌に対する低侵襲治療の開発	小泉敏之	口腔外科学	150万円	(補)委文部科学省科学研究費補助金基盤研究◎
口腔扁平上皮癌のリンパ節転移能の獲得に伴う免疫抑制機構の変遷とその調節因子の制御	近藤信夫	口腔外科学	104万円	(補)委文部科学省科学研究費補助金基盤研究◎
口腔癌における磁性抗EGFR抗体を用いた温熱療法の開発	中島英行	口腔外科学	52万円	(補)委文部科学省科学研究費補助金基盤研究◎
口腔癌におけるCaveolin-1とIL-6の役割	光藤健司	口腔外科学	130万円	(補)委文部科学省科学研究費補助金基盤研究◎

小計15件

休止期腫瘍細胞特性と腫瘍不均一性及び癌幹細胞性との相互関連性解析と癌治療への応用	光藤健司	口腔外科学	169万円	補委	文部科学省科学研究費補助金基盤研究◎
口腔扁平上皮癌のリンパ節転移能の獲得に伴う免疫抑制機構の改変とその調節因子の制御	光藤健司	口腔外科学	104万円	補委	文部科学省科学研究費補助金基盤研究◎
進行口腔癌に対する動注養子免疫療法と免疫チェックポイント阻害剤併用療法の開発	光永幸代	口腔外科学	104万円	補委	文部科学省科学研究費補助金基盤研究◎
Investigating a novel therapeutic strategy for preleukemic clonal hematopoiesis based on proinflammatory cytokine-mediated cell extrinsic mechanism of clonal expansion	Hiroyoshi Kunimoto	血液・免疫・感染症内科学	USD 150,000	補委	2019 American Society of Hematology Global Research Award
炎症性サイトカインを介したクローニング造血の拡大機序に基づく新規白血病予防法の創成	國本博義	血液・免疫・感染症内科学	160万円	補委	学術研究助成基金助成金若手研究
炎症性シグナルを介した新規クローニング造血制御法の確立	國本博義	血液・免疫・感染症内科学	300万円	補委	第1回日本新薬公募研究助成金
サイトカインシグナルを介したクローニング造血の進展制御基盤の確立	國本博義	血液・免疫・感染症内科学	200万円	補委	2019年度武田科学振興財团医学系研究助成金
単球系サイトカインを介した慢性骨髄単球性白血病進展機構の分子基盤	國本博義	血液・免疫・感染症内科学	100万円	補委	2019年度日本血液学会研究助成金
O-GlcNAc糖鎖修飾による正常造血と異常造血の分子制御メカニズム	中島秀明	血液・免疫・感染症内科学	100万円	補委	日本学術振興会、科学研究費補助金基盤研究(C)
全身性エリテマトーデスの革新的治療法のための転写因子IRF5阻害剤の開発	中島秀明	血液・免疫・感染症内科学	100万円	補委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構、日本医療研究開発機構研究費、難治性疾患等実用化研究事業、免疫アレルギー疾患等実用化研究事業(免疫アレルギー疾患実用化研究分野)【免疫疾患領域】病態解明治療研究(基礎的研究～ステップ0)
国内流行HIV及びその薬剤耐性株の長期的動向把握に関する研究	中島秀明	血液・免疫・感染症内科学	45万円	補委	感染症実用化研究事業 エイズ対策実用化研究事業
白血病幹細胞特異的なDNA損傷修復機構の解明と新規治療法の開発	宮崎拓也	血液・免疫・感染症内科学	117万(代)、10万(分)	補委	2017年度科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究(C)
M2マクロファージを標的としたループス腎炎新規治療法の解析	岸本大河	血液・免疫・感染症内科学	143万円	補委	日本学術振興会、科学研究費助成事業若手研究

小計13件

ペーチェット病のゲノムワイド亜型解析によるエビデンス創出とレジストリー構築	桐野 洋平	血液・免疫・感染症内科学	199万円	補委	日本学術振興会, 科学研究費補助金基盤研究(B)
ペーチェット病に関する調査研究	桐野 洋平	血液・免疫・感染症内科学	40万円	補委	厚生労働省 領域別基盤研究分野
シーズ探索研究から発展する家族性地中海熱(FMF)に対するトシリズマブの医師主導治験	桐野 洋平	血液・免疫・感染症内科学	100万円	補委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構 希少難治性疾患に対する画期的な医薬品医療機器等の実用化に関する研究: 医師主導治験(ステップ2)
臨床症状と遺伝素因に基づくペーチェット病の亜群分類	桐野 洋平	血液・免疫・感染症内科学	5万円	補委	日本学術振興会, 科学研究費補助金基盤研究(C)
ペーチェット病の疾患感受性遺伝子ERAP1の機能解析	桐野 洋平	血液・免疫・感染症内科学	50万円	補委	金原一郎記念医学医療振興財団 基礎医学医療研究助成金
全身性エリテマトーデスのB細胞機能異常におけるTRIM21の機能解析	國下洋輔	血液・免疫・感染症内科学	143万円	補委	令和元年度科学研究費助成事業(研究活動スタート支援)
SLEのB細胞におけるTRIM21の機能と血中抗TRIM21抗体の意義	國下洋輔	血液・免疫・感染症内科学	200万円	補委	2019年度 GSKジャパン研究助成
ペーチェット病を含む自己炎症性疾患の遺伝子スクリーニング	土田奈緒美	血液・免疫・感染症内科学	100万円	補委	公益財団法人日本応用酵素協会 全身性炎症疾患の病因・病態の解明に関する研究助成
収縮機能の保持された心不全におけるCa2+過負荷の役割と新たな治療方法の開発	上村大輔	臨床検査部	174万円	補委	科学研究費補助金 研究活動スタート支援
収縮機能の保持された心不全におけるCa2+過負荷の病態への関与と治療ターゲットとしての可能性の探索	上村大輔	臨床検査部	200万円	補委	横浜市立大学研究奨励プロジェクトカテゴリーA
てんかん患者の自律神経活動に影響を及ぼす臨床的要因の検討	白石洋子	臨床検査部	50万円	補委	ノバルティスファーマ研究助成
小児から成人をシームレスに対象としたB前駆細胞性急性リンパ性白血病に対する前方視的臨床試験による標準治療の開発研究	山崎悦子	臨床検査部	33万円	補委	革新的がん医療実用化研究事業
AYA世代急性リンパ性白血病の小児型治療法および遺伝子パネル診断による層別化治療に関する研究	山崎悦子	臨床検査部	60万円	補委	革新的がん医療実用化研究事業
妊娠初期の感染性疾患スクリーニングが母子の長期健康保持増進に及ぼす影響に関する研究	宮城悦子	産婦人科学	670万円	補委	厚生労働科学研究費補助金(成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業(健やか次世代育成総合研究事業))

小計14件

卵巣明細胞腺癌の血液凝固異常・抗がん剤耐性に着目したトランスレーショナルリサーチ	宮城悦子	産婦人科学	55万円	補委	科学研究費助成事業/基盤研究(C)
HPVワクチンの有効性の評価のための大規模疫学研究	宮城悦子	産婦人科学	242万円	補委	日本医療研究開発機構(AMED)受託研究費(革新的がん医療実用化研究事業)
子宮頸がん検診における細胞診とHPV検査併用の有用性に関する研究	宮城悦子	産婦人科学	60万円	補委	日本医療研究開発機構(AMED)受託研究費(革新的がん医療実用化研究事業)
先天異常モニタリングに関する研究	倉澤健太郎	産婦人科学	300万円	補委	日本産婦人科医会おぎやー基金
日本の先天異常発生動向とその影響要因およびその解析方法に関する研究	倉澤健太郎	産婦人科学	702万円	補委	平成29年日本医療研究開発機構(AMED)・成育疾患克服等総合研究事業(2019-2021)
ワクチンで予防可能な疾病のサーベイランスとワクチン効果の評価に関する研究	倉澤健太郎	産婦人科学	100万円	補委	日本医療研究開発機構(AMED)補助金(新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業)
子宮頸部上皮内病変(Cervical intraepithelial neoplasia: CIN)悪性化の機序解明と薬物療法の開発。細胞極性蛋白atypical protein kinase C $\lambda/\tau$ (aPKC)のエクソサイトーシスを介した細胞浸潤能獲得	水島大一	産婦人科学	100万円	補委	平成30-31年度学長裁量事業第2期学術的研究推進事業「研究奨励プロジェクト・カテゴリーA(若手支援型)」(2018-2020)
エリスロポエチンの子宮筋腫に対する増大効果をターゲットとした分子標的療法の開発	浅野涼子	産婦人科学	90万円	補委	科学研究費助成事業/基盤研究(C)
腫瘍由来のエリスロポエチンが子宮筋腫を巨大に増大させる機序の解明と臨床的応用	浅野涼子	産婦人科学	30万円	補委	科学研究費助成事業/基盤研究(C)
中枢神経原発悪性リンパ腫におけるミクログリアが腫瘍形成に及ぼす機構の解明と新規治療法の開発	笹目丈	脳神経外科学	50万円	補委	令和元年度わかば研究助成
IL-4誘導のM2ミクログリアは、中枢神経の直接縫合法で神経再生を促進する	末永潤	脳神経外科学	500万円	補委	科研費 基盤研究◎
神経膠腫に対するDNA高変異発現と免疫応答機序の解明	立石健祐	脳神経外科学	500万円	補委	上原記念生命科学財団研究助成金(第3部門)

小計12件

脳悪性リンパ腫の微小腫瘍環境形成機構の解明と同機序に基づく新規薬物治療の開発	立石健祐	脳神経外科学	100万円	補委	リレー・フォー・ジャパンプロジェクト未来研究助成
IDH1変異が誘導するDNA修復機構変化の解明と合成致死性治療法の開発	立石健祐	脳神経外科学	100万円	補委	SGH財団SGHがん研究助成
ABCサブタイプ悪性リンパ腫に対するNF-kB経路を標的とした新規治療法の開発	立石健祐	脳神経外科学	50万円	補委	金原一郎記念医学医療振興財団基礎医学医療研究助成
DNA高変異状態を呈する再発IDH1変異型神経膠腫に対する免疫制御機構の解明	立石健祐	脳神経外科学	200万円	補委	プリストル・マイヤーズスクイブ研究助成(腫瘍免疫)
NF-kB活性化を標的とした中枢神経原発悪性リンパ腫治療法の開発に向けた多施設共同研究	立石健祐	脳神経外科学	20万円	補委	新潟大学脳研究所共同研究
IDH1変異が及ぼすDNA修復機構変化の解明と合成致死に基づく治療法の開発	立石健祐	脳神経外科学	100万円	補委	横浜総合医学振興財団推進研究助成
NF-kB経路を標的とした中枢神経原発悪性リンパ腫治療法開発に向けたトランスレーショナル研究	立石健祐	脳神経外科学	200万円	補委	横浜市立大学学長裁量事業(かもめプロジェクト)
IDH1変異神経膠腫のDNA高変異に起因する悪性化回避を目指した治療法の開発	立石健祐	脳神経外科学	182万円	補委	科研費 基盤研究(C)
中枢神経系悪性リンパ腫に特異的な遺伝子異常の機能解析と新規分子標的治療の開発	立石健祐	脳神経外科学	377万円	補委	科研費 基盤研究(B)
マルチオミクスを活用した新規プロテオーム解析技術の創出と脳腫瘍バイオマーカー探索	立石健祐	脳神経外科学	793万円	補委	科研費 基盤研究(B)
DNA修復機構を標的としたIDH変異神経膠腫に対する特異的治療の開発	三宅茂太	脳神経外科学	50万円	補委	一般財団法人横浜総合医学振興財団 わかば研究助成
中枢神経原発悪性リンパ腫の患者由来細胞株を用いた治療標的の探索	三宅勇平	脳神経外科学	403万円	補委	科学研究費助成事業 若手研究(2019年-2021年)
NF-kB経路を標的とした中枢神経原発悪性リンパ腫新規治療法の開発	三宅勇平	脳神経外科学	27万円	補委	公益財団法人横浜学術教育振興財団 研究助成2019年
非骨傷性頸髄損傷に対する造血系サイトカインを用いた治療基盤の確立	村田英俊	脳神経外科学	360万	補委	科研費 基盤研究(C)

小計14件

脊髄損傷に対するエリスロポエチン髄注療法の有効性の検討	村田英俊	脳神経外科学	100万円	補委	日本損害保険協会 交通事故医療に関する一般研究助成(2019年度)
小児脳腫瘍に対する多施設共同研究による治療開発	山本哲哉	脳神経外科学	80万円	補委	AMED革新的がん医療実用化研究事業
ガングリオンドーザンの中核神経系における炎症のメカニズムの解明	山中正二	病理診断科・病理部	60万円	補委	科学研究費 基盤研究C
膵癌における癌局所免疫が果たす役割の解明	遠藤 格	消化器・腫瘍外科学	50万円	補委	文部科学省科学研究費 基盤研究(C)(2019~2021年度)
膵癌における癌局所免疫が果たす役割の解明	松山隆生	消化器・腫瘍外科学	8万円	補委	文部科学省科学研究費 基盤研究(C)(2019~2021年度)
膵癌における癌局所免疫が果たす役割の解明	本間祐樹	消化器・腫瘍外科学	8万円	補委	文部科学省科学研究費 基盤研究(C)(2019~2021年度)
乳癌における遺伝子多型の解明及び薬剤感受性とPrecision Medicine	市川靖史	消化器・腫瘍外科学	40万円	補委	文部科学省科学研究費 基盤研究C
膵癌における癌局所免疫が果たす役割の解明	廣島幸彦	消化器・腫瘍外科学	8万円	補委	文部科学省科学研究費 基盤研究(C)(2019~2021年度)
排便時ガスによる大腸癌新規診断法の研究	石部敦士	消化器・腫瘍外科学	400万円	補委	文部科学省科学研究費 基盤研究(B)(2018~2021年度)
排便時ガスによる大腸癌新規診断法の研究	渡邊 純	消化器・腫瘍外科学	20万円	補委	文部科学省科学研究費 基盤研究(B)(2018~2021年度)
膵癌・膵前癌病変における神経軸索ガイダンス因子CRMP4の機能の解明	藪下泰宏	消化器・腫瘍外科学	40万円	補委	文部科学省科学研究費 基盤研究(C)(2017~2019年度)
膵癌・膵前癌病変における神経軸索ガイダンス因子CRMP4の機能の解明	遠藤 格	消化器・腫瘍外科学	10万円	補委	文部科学省科学研究費 基盤研究(C)(2017~2019年度)
膵癌・膵前癌病変における神経軸索ガイダンス因子CRMP4の機能の解明	廣島幸彦	消化器・腫瘍外科学	10万円	補委	文部科学省科学研究費 基盤研究(C)(2017~2019年度)
患者のQOL向上をめざした胃がんに対する低侵襲標準治療確率に関する多施設共同試験	國崎主税	消化器・腫瘍外科学	20万円	補委	日本医療研究開発機構(AMED)研究費
乳癌多施設共有データベースの構築	山田顕光	消化器・腫瘍外科学	50万円	補委	横浜総合医学振興財団「医学・医療関連事業」
メチオニン制限が膵癌に対する抗TRAIL-R2療法の有効性に与える影響の検討	三宅謙太郎	消化器・腫瘍外科学	50万円	補委	公益財団法人日本膵臓病研究財団 脇臓病研究奨励賞研究助成金

小計16件

中枢神経疾患に伴う痙攣が疼痛に与える影響について	根本明宜	医療情報学・医療情報部	30万円	補委	奨学寄付金 第一三共株式会社(2019/4/1-2020/3/31)
診療報酬請求書情報を用いた重度痙攣の医療経済的検討	根本明宜	医療情報学・医療情報部	50万円	補委	学術研究助成基金助成金 基盤研究(C)
心臓弁膜症がもたらす心筋壁運動と血流異常に関するCTペクトル機能解析と臨床応用	宇都宮大輔	放射線診断学	27万円	補委	文部科学省研究費基盤研究(C)(2016年-2020年)
冠動脈CTにおける流体鍊成解析法を用いた冠血流予備量比の基礎的・臨床的検討	宇都宮大輔	放射線診断学	39万円	補委	文部科学省研究費基盤研究(C)(2016年-2021年)
ゲノム薬理学的解析とプロテオーム解析を用いた薬剤性中枢神経障害の病態解明	相田典子	放射線診断学	23万円	補委	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究(C)
AIによる臨床画像診断を目指すための複合ディープラーニングネットワークの開発研究	相田典子	放射線診断学	63万円	補委	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究(C)
MRSによる小児脳内代謝物濃度の自動診断解析システムの開発	相田典子	放射線診断学	20万円	補委	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究(C)
先天性呼吸器・胸郭形成異常疾患に関する診療ガイドライン作成ならびに診療体制の構築・普及に関する研究	野澤久美子	放射線診断学	20万円	補委	厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患政策研究事業)応用研究
1H-MRS法を用いた脳内代謝物の測定に関する研究	相田典子	放射線診断学	29万円	補委	かながわ県立病院小児医療基金
新技術を用いた小児軀幹部MRI画像診断に関する研究	藤井裕太	放射線診断学	22万円	補委	かながわ県立病院小児医療基金
頭部MRI arterial spin labeling(ASL)画像を用いた小児の画像診断に関する研究	藤田和俊	放射線診断学	23万円	補委	かながわ県立病院小児医療基金
全身性エリテマトーデスの革新的治療法のための転写因子IRF5阻害剤の開発	伊藤秀一	遺伝子診療科	100万円	補委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)研究費(免疫アレルギー疾患等実用化研究事業)(H29-H31年度)
自己炎症性疾患とその類縁疾患の全国診療体制整備、重症度分類、診療ガイドライン確立に関する研究	伊藤秀一	遺伝子診療科	50万円	補委	厚生労働科学研究費補助金難治性疾患等政策研究事業(難治性疾患政策研究事業)(H29-H31年度)

小計13件

小児腎領域の希少・難治性疾患群の診療・研究体制の確立	伊藤秀一	遺伝子診療科	50万円	補委	厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患等政策研究事業 (難治性疾患政策研究事業) (H29-H31年度)
エコチル調査(環境省子どもの健康と環境に関する全国調査)	伊藤秀一	遺伝子診療科	9978万円	補委	(環境省 子どもの健康と環境に関する全国調査)(H29-R8年度)
傍シリビウス裂症候群の包括的なゲノム解析	宮武聰子	遺伝子診療科	78万円	補委	文科省科学研究費 基盤研究(C)(H29-H31年度)
脳小血管病の新規疾患責任遺伝子同定	宮武聰子	遺伝子診療科	150万円	補委	川野小児医学奨学財団研究助成
ベーチェット病に関する調査研究	水木信久	眼科学	1,019万円	補委	厚生労働科学研究費補助金
多民族の円錐角膜患者を対象としたゲノムワイド関連解析	水木信久	眼科学	20万円	補委	文部科学省科学研究費助成金 基盤研究(C) (H29-H31)
ベーチェット病患者のインフリキシマブ離脱のための無作為化非盲検並行群間対象研究	水木信久	眼科学	20万円	補委	文部科学省科学研究費助成金 基盤研究(C) (H29-H31)
ベーチェット病の病因HLAと病因ペプチドの結合を阻害する医薬分子の特定	水木信久	眼科学	25万円	補委	文部科学省科学研究費助成金 基盤研究(C) (H30-R2)
網膜格子状変性を対象とした分子遺伝学的発症機序の解明	水木信久	眼科学	30万円	補委	文部科学省科学研究費助成金 基盤研究(C), (H30-R2)
ベーチェット病のゲノムワイド亜型解析によるエビデンス創出とレジストリー構築	水木信久	眼科学	5万円	補委	文部科学省科学研究費助成金 基盤研究(B) (R1-R3)
強度近視の分子遺伝学的発症機序の解明	水木信久	眼科学	20万円	補委	基盤研究(C), (H31-R3)

小計11件

臨床研究と遺伝素因に基づくベーチェット病の亜群分類	水木信久	眼科学	5万円	補委	文部科学省科学研究費助成金 基盤研究(C) (H29-R1)
ベーチェット病の病因HLAと病因ペプチドの結合を阻害する医薬分子の特定	野村英一	眼科学	100万円	補委	文部科学省科学研究費助成金 基盤研究(C) (H30-R2)
強度近視の分子遺伝学的発症機序の解明	山田教弘	眼科学	110万円	補委	基盤研究(C), (H31-R3)
網膜格子状変性を対象とした分子遺伝学的発症機序の解明	上本理世	眼科学	90万円	補委	文部科学省科学研究費助成金 基盤研究(C), (H30-R1)
多人種集団を対象としたベーチェット病の大規模遺伝子解析研究	竹内正樹	眼科学	299万円	補委	2019年度科研費若手研究
ゲノム医療実現化に向けたベーチェット病の人種横断的大規模遺伝子解析	竹内正樹	眼科学	200万円	補委	2019年度参天製薬創業者記念基金眼科研究基金
唾液腺腫瘍自然発生モデルマウスの確立とそのメカニズムの解明	折館伸彦	耳鼻咽喉科	340万円	補委	基盤研究(C) (平成30~令和2年度)
スーパーエンハンサーを介した遺伝子発現制御によるHPV関連中咽頭癌発癌機構の解明	佐野大佑	耳鼻咽喉科	340万円	補委	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金) 基盤研究(C) (令和1~3年度)
唾液腺腺様囊胞癌と腫瘍関連神経を中心とした癌微小環境の相互作用の解明	高橋秀聰	耳鼻咽喉科	429万円	補委	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金) 基盤研究(C) (平成31~令和4年度)
頭頸部腫瘍感受性マーカーの開発	畠山博充	耳鼻咽喉科	50万円	補委	奨学寄附金
頭頸部癌heterogeneityを引き起こす微小環境のオーム解析	畠山博充	耳鼻咽喉科	429万円	補委	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金) 基盤研究(C) (平成30~令和2年度)
microRNAとエピゲノム解析によるHPV関連中咽頭癌予後不良因子の同定	波多野 孝	耳鼻咽喉科	377万円	補委	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金) 若手研究 (平成30~31年度)
生体情報と画像情報の機械学習による重症化予測モデルを組み込んだ医療用監視カメラの研究開発	高木俊介	麻酔科学	762万円	補委	戦略的情報通信研究開発推進事業(SCOPE), 地域ICT振興型研究開発 平成30年~令和元年度 繼続課題提案(フェーズ2)
表情画像の解析による自動鎮静・鎮痛評価システムの構築	高木俊介	麻酔科学	300万円	補委	AMED 医療研究開発推進事業補助金(橋渡し研究戦略的推進プログラム補助事業), シーズ A (平成30年度~令和元年度)

小計14件

日本の集中治療臨床情報 を基盤として人工知能を用 いた本邦発の重症度予測 モデルの開発とパネル データ活用環境の醸成	高木俊介	麻酔科学	16万円	(補) 委	令和元年度 厚 生労働科学研 究費 補助金 (臨床研究等 ICT基盤構築・ 人工知能実装 研究事業)
モノクロタリン誘発肺高血 圧症ラットモデルを用いた PKD阻害薬の有効性の検 討	長嶺祐介	麻酔科学	100万円	(補) 委	日本心臓血管 学会 若手 支援研究助成 金(2019年度- 2020年度)
(科基)重症肺高血圧モデ ルラットを用いた肺動脈コ ンプライアンスの検討およ び治療戦略の確立	菅原 陽	麻酔科学	140万円	(補) 委	学術研究助成 基金助成金 (2019年度- 2021年度)
(科基)重症肺高血圧モデ ルラットを用いた肺動脈コ ンプライアンスの検討およ び治療戦略の確立	水野祐介	麻酔科学	10万円	(補) 委	学術研究助成 基金助成金 (2019年度- 2021年度)
(科基)重症肺高血圧モデ ルラットを用いた肺動脈コ ンプライアンスの検討およ び治療戦略の確立	古賀資和	麻酔科学	10万円	(補) 委	学術研究助成 基金助成金 (2019年度- 2021年度)
癌抑制遺伝子FLCNの代 謝および膜輸送制御に着 目した腎腫瘍化機構の解 析研究	蓮見壽史	泌尿器科学	429万円	(補) 委	文部科学省科 学研究補助基 金 基盤研究 (C)(2019-2021 年度)
腎癌抑制遺伝子とクロマチ ン再構築遺伝子群の同時 欠失を標的とする新規腎 癌治療薬の創薬基盤構築	蓮見壽史	泌尿器科学	648万円	(補) 委	TaNeDS (2018- 2020年度)
Birt-Hogg-Dube (BHD)関 連腎癌をモデルとした新 規腎癌治療薬開発のため の創薬基盤確立	蓮見壽史	泌尿器科学	300万円	(補) 委	横浜振興財団・ 推進研究助成 (平成29年度-令 和2年)
手術支援のための人腹腔 の力学シミュレーションの 高度化	楳山和秀	泌尿器科学	140万円	(補) 委	文部科学省科 学研究費助成 事業基盤研究 (B)
遺伝性ならびに稀少発症 の腎癌の腫瘍化機構解明 と診断マーカー・治療標的 の探索研究	矢尾正祐	泌尿器科学	208万円	(補) 委	基盤研究 (C)(2019-2022 年度)
ヒトiPS細胞由来ネプロン誘 導法に基づく腎細胞癌多 段階発がん機構と治療開 発基盤	矢尾正祐	泌尿器科学	10万円	(補) 委	基盤研究 (C)(2019-2022 年度)
体幹部放射線治療におけ る呼吸性移動一四次元ア ルゴリズム解析と治療法の 標準化-	幡多政治	放射線治療学	65万円(416万円)	(補) 委	文部科学省科 学研究費補助 金基盤研究(C)
高齢者のがん治療におけ る至適治療法の解明と治 療法の標準化、新規治療 法の開発に関する研究	幡多政治	放射線治療学	50万円	(補) 委	第一三共奨学 寄付プログラム

小計13件

神経再生機能分子LOTUSによるALSの治療法開発	田中章景	神経内科学・脳卒中医学	50万円	補委	文科省科学研究費基盤研究(C)(平成30年-平成32年)
プリオント病のサーベイランスと感染予防に関する調査研究	田中章景	神経内科学・脳卒中医学	110万円	補委	平成31年度厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患等政策研究事業)
運動失調症の医療基盤に関する調査研究	田中章景	神経内科学・脳卒中医学	70万円	補委	平成31年度厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患等政策研究事業)
脊髄性筋萎縮症の成人期予後把握を目的とした多施設共同コホート研究	田中章景	神経内科学・脳卒中医学	40万円	補委	日本医療研究開発機構受託研究費(AMED)
生体恒常性センターである単球系細胞の制御に基づく神経変性疾患の画期的な治療法開発	田中章景	神経内科学・脳卒中医学	15万円	補委	文科省科学研究費基盤研究(C)(平成30年-平成32年)
脊髄小脳失調症新規モデルマウスを用いた病態解明と治療法開発	田中章景	神経内科学・脳卒中医学	20万円	補委	文科省科学研究費基盤研究(C)(平成30年-平成32年)
Loss of functionモデルに基づいたUBQLN2の機能解析	田中章景	神経内科学・脳卒中医学	10万円	補委	文科省科学研究費基盤研究(C)(平成30年-平成32年)
多系統萎縮症における低尿酸血症による病態解明	田中章景	神経内科学・脳卒中医学	50万円	補委	文科省科学研究費基盤研究(C)(平成29年-平成31年)
孤発性ALS病態形成におけるDEAD box RNA helicaseの役割解明	田中章景	神経内科学・脳卒中医学	25万円	補委	文科省科学研究費基盤研究(C)(平成31年-令和3年)
生体恒常性センターである単球系細胞の制御に基づく神経変性疾患の画期的な治療法開発	竹内英之	神経内科学・脳卒中医学	80万円	補委	文科省科学研究費基盤研究(C)(平成30年-平成32年)
二次進行型多発性硬化症新規動物モデルの樹立と炎症性グリアを標的とした進行型多発性硬化症治療薬開発	竹内英之	神経内科学・脳卒中医学	77万円	補委	日本医療研究開発機構受託研究費(AMED)
神経再生機能分子LOTUSによるALSの治療法開発	竹内英之	神経内科学・脳卒中医学	20万円	補委	文科省科学研究費基盤研究(C)(平成30年-平成32年)
脊髄小脳失調症新規モデルマウスを用いた病態解明と治療法開発	竹内英之	神経内科学・脳卒中医学	15万円	補委	文科省科学研究費基盤研究(C)(平成30年-平成32年)
Loss of functionモデルに基づいたUBQLN2の機能解析	竹内英之	神経内科学・脳卒中医学	10万円	補委	文科省科学研究費基盤研究(C)(平成30年-平成32年)

小計14件

孤発性ALS病態形成におけるDEAD box RNA helicaseの役割解明	竹内英之	神経内科学・脳卒中医学	25万円	補委	文科省科学研究費基盤研究(C)(平成31年-令和3年)
脊髄小脳失調症新規モデルマウスを用いた病態解明と治療法開発	土井 宏	神経内科学・脳卒中医学	45万円	補委	文科省科学研究費基盤研究(C)(平成30年-平成32年)
神経再生機能分子LOTUSによるALSの治療法開発	土井 宏	神経内科学・脳卒中医学	20万円	補委	文科省科学研究費基盤研究(C)(平成30年-令和2年)
生体恒常性センサーである単球系細胞の制御に基づく神経変性疾患の画期的な治療法開発	土井 宏	神経内科学・脳卒中医学	15万円	補委	文科省科学研究費基盤研究(C)(平成30年-平成32年)
Loss of functionモデルに基づいたUBQLN2の機能解析	土井 宏	神経内科学・脳卒中医学	10万円	補委	文科省科学研究費基盤研究(C)(平成30年-令和2年)
リンパ浮腫におけるBiotubeを用いた新規治療法の開発	北山晋也	形成外科学	195万円	補委	科学研究費補助金事業基盤(C)(H31-R3)
カニクイザル耳介軟骨前駆細胞の特性解析と自家細胞移植による有効性評価	矢吹雄一郎	形成外科学	370万円	補委	科学研究費補助金事業基盤(C)(H28-R1)
脂肪移植による乳がん術後の乳房再建専用医療器の開発	佐武利彦	形成外科学	300万円	補委	「ライフイノベーション分野产学連携等推進事業費補助金「LIP横浜推進プロジェクト」(2017年-2019年)
乳房再建におけるアウトカム指標の確立と科学的根拠に基づいた患者意思決定支援	佐武利彦	形成外科学	32万円	補委	日本医療研究開発機構(AMED)革新的がん医療実用化研究事業(2017年-2020年)
careとcureを融合した看護薬剤学モデルの開発	佐武利彦	形成外科学	10万円	補委	日本学術振興会 基盤研究(B)(2017年-2019年)
脂肪移植による放射線照射後の乳房皮膚の改善度調査	武藤真由	形成外科学	240万円	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業 学術研究助成基金助成金 若手研究(B)(2017-2019)
全身性エリテマトーデスの革新的治療法のための転写因子IRF5阻害剤の行研究開発	伊藤秀一	小児科学	100万円	補委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)(H29-31年度)
自己炎症性疾患とその類縁疾患の全国診療体制整備、重症度分類、診察ガイドライン確立に関する研究	伊藤秀一	小児科学	50万円	補委	厚労省科学研究費補助金(難治性疾患等政策研究事業(難治性疾患性疾患政策事業)(H29-31年度)

小計13件

小児腎領域の希少・難治性疾患群の診察・研究体制の確立	伊藤秀一	小児科学	50万円	補委	厚労省科学研究費補助金(難治性疾患等政策研究事業(難治性疾患性疾患政策事業))
マルチバイタル柔軟センサと多次元機械学習の連携による予測医療に向けたスマートネットワーク基盤の構築	伊藤秀一	小児科学	152万円	補委	総務省(関東総合通信局)(2019年度)
メタボローム解析を用いた川崎病における代謝ネットワークの研究	大宅 酷	小児科学	100万	補委	JB川崎病奨励研究費、(2019年度)
糖質コルチコイド投与による動脈管リモデリングへの作用の解明	釣持孝博	小児科学	200万	補委	平成30年度学術的推進事業「研究奨励プロジェクト」・カテゴリア「若手支援型」(平成30-31年度)
母体へのベタメタゾン追加投与が動脈管閉鎖へ与える効果の検討	釣持孝博	小児科学	429万	補委	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)平成31年度若手研究、(2019-2020年度)
赤ちゃんにやさしい病院における母乳育児ベンチマークの作成	西巻 滋	小児科学	350万円	補委	科学研費助成事業 基盤研究(C)(2016-2019年)
横浜市立大学附属2病院で出生した母子の母乳率調査(母親の電子端末を使用した研究)	西巻 滋	小児科学	25万円	補委	令和元年度横浜総合医学振興財團医学・医療関連事業助成、(2019-2020年)
難治性小児急性骨髓性白血病のエピゲノム機構の解明	柴 徳生	小児科学	429万円	補委	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究(C)(2019-2021年度)
網羅的な遺伝子解析を用いた小児がんAMLにおける高精度リスク層別化の確立	柴 徳生	小児科学	300万円	補委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)革新的がん医療実用化研究事業
再発難治急性白血病におけるエピゲノム解析	柴 徳生	小児科学	100万円	補委	日本血液学会、(2019年度)
乳癌における遺伝子多型の解明及び薬剤感受性とPrecision Medicine	市川靖史	がん総合医科学	40万円	補委	文部科学省科学研究費 基盤研究◎
非扁平上皮非小細胞癌への殺細胞性抗癌剤効果予測タンパク質のプロテオミクス探索	堀田信之	呼吸器病学	20万円	補委	平成31年度科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究(C)(29-31年度)
HCV感染とNASH病態進展の違い「C型肝炎の直接作用型抗ウイルス薬による治療後の病態変化に影響を及ぼす宿主因子等の同定を目指したゲノムワイド研究(名古屋市立大学大学院医学研究科病態医科学 ウィルス学 田中靖人(代))」	中島 淳	肝胆膵消化器病学	70万円	補委	平成31年度日本医療研究開発機構(AMED)受託研究費

小計13件

職域等も含めた肝炎ウイルス検査受検率向上と陽性者の効率的なフォローアップシステムの開発・実用化に向けた研究	斎藤 聰	肝胆膵消化器病学	20万円	補委	平成31年度厚生労働科学研究費補助金(肝炎等克服政策研究事業)(H29-31)
一般集団からの効果的な膵がん・リスク疾患検出法の開発「血液バイオマーカーを用いた効率的な膵がん検診の実用化(国立がん研究センター 研究所 早期診断バイオマーカー開発部門 本田一文(代))」	加藤真吾	肝胆膵消化器病学	60万円	補委	平成31年度日本医療研究開発機構受託研究費(AMED)受託研究費
バイオマーカーの体外診断薬承認に必要な血液検体の集積「タンパク質・ペプチド修飾解析による早期がん・リスク疾患診断のための血液バイオマーカーの開発(国立がん研究センター 研究所 早期診断バイオマーカー開発部門 本田一文(代))」	加藤真吾	肝胆膵消化器病学	370万円	補委	平成31年度日本医療研究開発機構受託研究費(AMED)受託研究費
成人のCIPOの調査研究「小児期から移行期・成人期を包括する希少難治性慢性消化器疾患の医療政策に関する研究(九州大学小児外科 田口智章(代))」	中島 淳	肝胆膵消化器病学	20万円	補委	平成31年度厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患等政策研究事業)
非アルコール性脂肪性肝炎のFocal cirrhosisと肝細胞癌の関連解明	米田正人	肝胆膵消化器病学	110万円	補委	2019年度 学術研究助成基金助成金(基盤研究(C))(H30-R2年度)
オルガノイドを用いた大腸腫瘍化学予防効果の網羅的解析システムの開発	日暮琢磨	肝胆膵消化器病学	150万円	補委	2019年度 学術研究助成基金助成金(基盤研究(C))(H30-R2年度)
メトホルミンによる膵がん化学予防の検討	細野邦広	肝胆膵消化器病学	110万円	補委	2019年度 学術研究助成基金助成金(基盤研究(C))(H30-R2年度)
NAFLD病態における腸内細菌と腸内代謝物の役割解明	中島 淳	肝胆膵消化器病学	240万円	補委	2019年度 学術研究助成基金助成金(基盤研究(B))(H29-R元年度)
通常型膵癌に腫瘍浸潤T細胞を増加させる新規免疫療法の開発	加藤真吾	肝胆膵消化器病学	160万円	補委	2019年度 学術研究助成基金助成金(若手研究)(H31-R2年度)
非B非C肝発癌に対する腸内細菌を用いた予防効果の検討	結束貴臣	肝胆膵消化器病学	200万円	補委	2019年度 学術研究助成基金助成金(若手研究)(H31-R2年度)
慢性偽性腸閉塞症の新規診断法:カラーマップMRIの開発	冬木 晶子	肝胆膵消化器病学	160万円	補委	学術研究助成基金助成金(若手研究)(H31-R2年度)
非アルコール性脂肪性肝疾患を背景にした肝癌研究(新規モデルの作成および化学予防)	本多 靖	肝胆膵消化器病学	50万円	補委	2019年度 学術研究助成基金助成金(若手研究)(H30-R3年度)
NASH由来肝細胞癌における腸内細菌の役割を検討する	今城健人	肝胆膵消化器病学	100万円	補委	2019年度 学術研究助成基金助成金(基盤研究(C))(H29-R2年度)
歯周病と口腔内細菌叢に着目した非アルコール性脂肪性肝炎-膵がん発症予防法の確立	中島 淳	肝胆膵消化器病学	15万円	補委	2019年度 学術研究助成基金助成金(基盤研究(C)神奈川歯科大学三辺正人(代))(R1-R3年度)

小計14件

大腸がんの転移におけるFusobacteriumの役割解明を目指した萌芽的研究	中島 淳	肝胆膵消化器病学	250万円	補委	2019年度 学術研究助成基金助成金(挑戦的研究(萌芽))(R.1-R.2年度)
メトホルミンとアスピリンを用いた大腸癌化学予防の開発	日暮琢磨	肝胆膵消化器病学	1,170万円	補委	2019年度 学術研究助成基金助成金(国際共同研究加速基金(国際共同研究強化(A)))
難治性がんの代表である肺癌の包括的理 解と革新的治療法開発への挑戦	中島 淳	肝胆膵消化器病学	250万円	補委	学長裁量事業かもめプロジェクト(H30-R4年度)
胆汁酸性下痢症の新規診断法の開発および、陰イオン交換樹脂による革新的治療法の開発	日暮琢磨	肝胆膵消化器病学	260万円	補委	学長裁量事業かもめプロジェクト(H30-R2年度)
NAFLD/NASH病態における腸内細菌と遺伝因子	中島 淳	肝胆膵消化器病学	300万円	補委	学長裁量事業平成31年度戦略的研究推進事業 研究開発プロジェクト(H30-R元年度)
NASHモデルにおけるペマフィブロート、トホグリフロジン及びその併用効果に関する研究	中島 淳	肝胆膵消化器病学	450万円	補委	共同研究費(H30-R1年度)
慢性便秘症に対するビフィズス菌製剤の有効性を検証する単群試験	中島 淳	肝胆膵消化器病学	1,000万円	補委	受託研究費(H29-R2年度)
SGL5213の腸管バリア機能及びNASH病態進展に対する効果	中島 淳	肝胆膵消化器病学	780万円	補委	共同研究費(H30-R2年度)
Lactobacillus plantarum 22A-3のLeaky Gut Syndromeに対する効果	中島 淳	肝胆膵消化器病学	750万円	補委	共同研究費(H31-R3年度)

小計9件

2019年度戦略的研究推進事業「研究開発プロジェクト」神経・神経疾患の新しいPET診断法開発	中島 淳	肝胆脾消化器病学	18万円	補委	学長裁量事業 平成31年度戦略的研究推進事業 研究開発プロジェクト(H31-R元年度)
A proof-of-concept (POC) study to evaluate the therapeutic effect of lubiprostone in patients with non-alcoholic fatty liver disease (NAFLD)	中島 淳	肝胆脾消化器病学	1億2000万円	補委	受託研究費(H30-R3年度)
Multicenter, prospective research on unbiased prevalence and fibrosis stage distribution in Japanese NAFLD patients using with ultrasound elastography [FibroScan] and Fib4 index	小川祐二	肝胆脾消化器病学	1,270万円	補委	受託研究費(2019-2021)
インターネット調査による慢性便秘症患者における便形状とQOL調査研究	大久保秀則	肝胆脾消化器病学	100万円	補委	共同研究費(H30-H31年度)
インターネット調査による日本人成人慢性便秘症の調査研究	大久保秀則	肝胆脾消化器病学	240万円	補委	共同研究費(H30-H31年度)
糖尿病を合併した非アルコール性脂肪性肝疾患(NAFLD)患者におけるトホグリフロジンの肝脂肪化改善効果をビオグリタゾンと比較する非盲検ランダム化探索的試験	米田正人	肝胆脾消化器病学	700万	補委	受託研究費(H29-R2年度)
非アルコール性脂肪性肝炎血液診断マーカーの研究	米田正人	肝胆脾消化器病学	60万円	補委	受託研究費
低用量アスピリン服用による腸内細菌叢への影響の検討	日暮琢磨	肝胆脾消化器病学	50万円	補委	共同研究費(H30-H31年度)
喘息薬を大腸がん等の予防・治療に展開するドラッグリポジショニング	日暮琢磨	肝胆脾消化器病学	150万円	補委	受託研究費
ヒトオルガノイド細胞株を用いたがんクリニカルシェーケンス意義不明変異の機能評価法の確立	加藤真吾	肝胆脾消化器病学	100万円	補委	一般財団法人横浜総合医学振興財団 令和元年度 推進研究助成
サルコペニアマウスマodelを用いた骨格筋量が腎癌化学療法に与える影響の解析	栗田裕介	肝胆脾消化器病学	50万円	補委	一般財団法人横浜総合医学振興財団 令和元年度 わかば研究助成
フソバクテリウムが大腸がんに及ぼす影響の検証-オルガノイドを用いて-	松浦哲也	肝胆脾消化器病学	10万円	補委	2020年度 学術研究助成基金助成金(若手研究)(2020-2022年度)
超音波内視鏡下エラストグラフィによる脾実質硬度測定方法の確立	佐藤高光	肝胆脾消化器病学	270万円	補委	2020年度 学術研究助成基金助成金(若手研究)(2020-2022年度)

小計13件

肺IPMNにおける肺液オルガノイドを用いた診断法と創薬研究への応用	栗田裕介	肝胆膵消化器病学	100万円	補委	2020年度 学術研究助成基金助成金(若手研究)(2020-2022年度)
口腔内フローラを指標としたAI技術による全身疾患発症リスク予測システムの確立	中島淳	肝胆膵消化器病学	70万円	補委	2020年度 学術研究助成基金助成金(基盤研究(B)島根大学和田孝一郎(代))(2020年度)
NAFLDにおける心血管イベント発症と中性脂肪・血糖の関係	米田正人	肝胆膵消化器病学	112万円	補委	共同研究費
動脈硬化症のバイオマークの開発	石上友章	循環器・腎臓・高血圧内科学	200万円	補委	学長裁量事業LIP.横浜推進プロジェクト
尿細管慢性機序に基づく食塩感受性・高血圧症の分子病態の解明と展開	石上友章	循環器・腎臓・高血圧内科学	70万円	補委	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究(C)(平成29年度-平成31年度)
重症虚血肢に対し、近赤外線分光装置(NIRS)を使用した至適運動療法を確立する研究	石上友章	循環器・腎臓・高血圧内科学	390万円	補委	日本医療研究開発機構(AMED)受託研究費
重症患者の全身・摂食嚥下機能に応じたリハビリーションプログラム開発と効果検証	石上友章	循環器・腎臓・高血圧内科学	10万円	補委	文部科学省:科学研究費補助金 基盤研究(B)(平成29年度-平成33年度)
高リスク心筋梗塞に対する運動介入効果による加齢への影響と組織再生能評価	石上友章	循環器・腎臓・高血圧内科学	10万円	補委	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)挑戦的研究(萌芽)(平成30年度-平成32年度)
白血球・免疫細胞における受容体結合因子の病態生理学的意義	畠田一司	循環器・腎臓・高血圧内科学	130万円	補委	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)若手研究(平成31年度-平成33年度)
受容体結合性機能選択的制御蛋白の新機能に着目した腎性老化の機序解明と制御治療開発	畠田一司	循環器・腎臓・高血圧内科学	10万円	補委	科学研究費補助金 基盤研究(B)(平成30年度-平成32年度)
インスリン抵抗性を基盤とする心血管病における受容体結合因子の病態生理学的意義	大城光二	循環器・腎臓・高血圧内科学	143万円	補委	科学研究費補助金研究活動スタート支援(平成30年度-平成31年度)
T1マッピングを用いた非虚血性拡張型心筋症患者の薬物療法による左室Reverse remodelingの予測	加藤真吾	循環器・腎臓・高血圧内科学	100万円	補委	公益財団法人MSD生命科学財団研究助成生活習慣病領域(平成29年10月から2年間)
高解像度遅延造影MRIによる左房線維化評価:心房細動、心不全における臨床的意義	加藤真吾	循環器・腎臓・高血圧内科学	143万円	補委	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)若手研究(平成31年度-平成33年度)
心血管イベント一次予防戦略に用いるMRIによる非侵襲的冠動脈ハイリスクプロード診断法の臨床的有效性の検証	加藤真吾	循環器・腎臓・高血圧内科学	50万円	補委	AMED循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策実用化研究事業

小計14件

糖尿病性腎臓病・慢性腎臓病における新規血管新生因子の病態生理学的意義の検討	金岡知彦	循環器・腎臓・高血圧 内科学	143万円	補委	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究(C)(平成31年度-平成33年度)
収縮機能の保持された心不全におけるCa2+過負荷の役割と新たな治療方法の開発	上村大輔	循環器・腎臓・高血圧 内科学	174万円	補委	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)研究活動スタート支援(平成30年度-平成31年度)
収縮機能の保持された心不全におけるCa2+過負荷の病態への関与と治療ターゲットとしての可能性の探索	上村大輔	循環器・腎臓・高血圧 内科学	200万円	補委	横浜市立大学研究奨励プロジェクトカテゴリーA(平成30年度-平成31年度)
腎尿細管における受容体随伴性プロレニン(RAP)系による循環調節の解明	木野旅人	循環器・腎臓・高血圧 内科学	130万円	補委	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)若手研究(平成31年度-平成32年度)
中枢神経系における受容体結合性因子の病態生理学的意義	金口 翔	循環器・腎臓・高血圧 内科学	143万円	補委	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)研究活動スタート支援(令和元年度-令和2年度)
高齢心不全患者のフレイルに対する運動療法の効果に影響する因子の検討	小西正紹	循環器・腎臓・高血圧 内科学	208万円	補委	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)若手研究(平成31年度-32年度)
高血圧感受性遺伝子ATP2B1と動脈硬化の直接的関連の病態解明並びに治療戦略開発	小林雄祐	循環器・腎臓・高血圧 内科学	260万円	補委	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)若手研究(平成31年度-平成33年度)
アンジオテンシン受容体機能調節因子による高血圧の新規治療戦略	小林 竜	循環器・腎臓・高血圧 内科学	208万円	補委	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)若手研究(平成31年度-平成32年度)
受容体結合性機能選択性制御蛋白の新機能に着目した腎性老化の機序解明と制御治療開発	小林 竜	循環器・腎臓・高血圧 内科学	10万円	補委	科学研究費補助金 基盤研究(B)(平成30年度-平成33年度)
高血圧-脳心血管病-腎臓病の病態関連の機序解明と新規治療開発をめざした研究	田村功一	循環器・腎臓・高血圧 内科学	150万円	補委	学長裁量事業「かもめプロジェクト」(平成30-35年度)
受容体結合性機能選択性制御蛋白の新機能に着目した腎性老化の機序解明と制御治療開発	田村功一	循環器・腎臓・高血圧 内科学	442万円	補委	科学研究費補助金 基盤研究(B)(平成30年度-平成33年度)
老化にともなう心血管病における受容体結合型心血管保護分子の病態生理学的意義の検討	田村功一	循環器・腎臓・高血圧 内科学	10万円	補委	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究(C)(H29-31年度)
ドーパ神経伝達物質機構の心不全および急性腎障害における解析	田村功一	循環器・腎臓・高血圧 内科学	10万円	補委	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究(C)(H30-32年度)

ICTを活用した糖尿病腎症重症化抑制法の構築	田村功一	循環器・腎臓・高血圧内科学	470万円	補委	日本医療研究開発機構(AMED)受託研究費
シーズA116.受容体結合因子ATRAPの新たな機能を足がかりとした腎性老化の機序解明と制御治療	田村功一	循環器・腎臓・高血圧内科学	133万円	補委	日本医療研究開発機構(AMED)受託研究費
難治性副腎疾患の診療に直結するエビデンス創出	田村功一	循環器・腎臓・高血圧内科学	30万円	補委	日本医療研究開発機構(AMED)受託研究費
MMPやエクソソームによる心房細動進行の予測マーカーの探索	成川雅俊	循環器・腎臓・高血圧内科学	143万円	補委	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)研究活動スタート支援(令和元年度-令和2年度)
重症患者の全身・摂食嚥下機能に応じたリハビリテーションプログラム開発と効果検証	峯岸慎太郎	循環器・腎臓・高血圧内科学	10万円	補委	文部科学省:科学研究費補助金基盤研究(B)(平成29年度-平成33年度)
高リスク心筋梗塞に対する運動介入効果による加齢への影響と組織再生能評価	峯岸慎太郎	循環器・腎臓・高血圧内科学	10万円	補委	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)挑戦的研究(萌芽)(平成30年度-平成32年度)
老化にともなう心血管病における受容体結合型心血管保護分子の病態生理学的意義の検討	涌井広道	循環器・腎臓・高血圧内科学	156万円	補委	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究(C)(平成29年度-平成31年度)
受容体結合性機能選択性制御蛋白の新機能に着目した腎性老化の機序解明と制御治療開発	涌井広道	循環器・腎臓・高血圧内科学	10万円	補委	科学研究費補助金基盤研究(B)(平成30年度-平成33年度)
原発性リンパ浮腫患者に対する新たな治療法の開発(サイトカインを標的とした治療)	涌井広道	循環器・腎臓・高血圧内科学	5万円	補委	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究(C)(平成29年度-平成31年度)
高血圧-脳心血管病-腎臓病の病態関連の機序解明と新規治療開発をめざした研究	涌井広道	循環器・腎臓・高血圧内科学	90万円	補委	学長裁量事業「かもめプロジェクト」(平成30年度-平成35年度)
細胞外マトリックスタンパクによるインスリン感受性制御機構の解析	奥山朋子	内分泌・糖尿病内科学	208万円	補委	科学研究費若手研究(B)
細胞外マトリックスタンパクによる糖代謝制御機構の解明	奥山朋子	内分泌・糖尿病内科学	100万円	補委	日本糖尿病学会第4回若手研究助成金
細胞外マトリックスタンパクを介したインスリン感受性制御機構の解明	奥山朋子	内分泌・糖尿病内科学	200万円	補委	公益財団法人MSD生命科学財团 研究助成生活習慣病領域

小計13件

弾性線維関連蛋白 Fibulin-5によるインスリン抵抗性制御機構の解明	奥山朋子	内分泌・糖尿病内科学	50万円	補委	公益財団法人日本応用酵素協会Front Runner of Future Diabetes Researchに関する研究助成(FFDR)
膵β細胞増殖促進因子 SerpinB1の発現制御による新たな糖尿病治療法の探索	折目和基	内分泌・糖尿病内科学	286万円	補委	科学研究費研究活動スタート支援
ヒト膵島を用いた膵β細胞量増大の実現に向けた研究	白川 純	内分泌・糖尿病内科学	400万円	補委	第13回日本IDDMネットワーク1型糖尿病研究基金
細胞外マトリックスタンパクによる皮膚の代謝を介したインスリン感受性制御機構の解明	白川 純	内分泌・糖尿病内科学	150万円	補委	田辺三菱製薬グループ 医学・薬学研究活動への支援
Human stem cell-derived pancreatic beta cells for the treatment of diabetes	白川 純	内分泌・糖尿病内科学	2198万円	補委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業 戦略的国際共同研究プログラム(SICORP)
全エクソームシーケンスにより同定された遺伝性糖尿病新規原因遺伝子の機能解明	白川 純	内分泌・糖尿病内科学	100万円	補委	山口内分泌疾患研究振興財団
複数の免疫学的重篤副作用に関する遺伝学的要因及び感染症要因の同定と安全対策への応用に関する研究	相原道子	皮膚科学	42万円	補委	令和元年度日本医療研究開発機構研究費(医薬品等規制調和・評価研究事業)
官民共同による重篤副作用バイオマーカー開発	相原道子	皮膚科学	615万円	補委	令和元年度日本医療研究開発機構研究費(医薬品等規制調和・評価研究事業)
重症多形滲出性紅斑に関する調査研究	相原道子	皮膚科学	100万円	補委	令和元年度厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患等政策研究事業(難治性疾患政策研究事業)
人口知能を活用した副作用症例報告の評価支援の基盤整備と試行的評価	相原道子	皮膚科学	45万円	補委	令和元年度厚生労働科学研究費補助金 政策科学総合研究事業(臨床研究等ICT基盤構築・人口知能実装研究事業)
線維化病態におけるIRF8を介した単球・マクロファージの機能解析	山口由衣	皮膚科学	45万円	補委	令和元年度学術研究的研究推進事業研究費 若手科研費支援プロジェクト
重症薬疹の病態におけるγ-chainの役割	渡邊裕子	皮膚科学	60万円	補委	令和元年度科学研究費助成事業(学術研究助成金基金助成)若手研究(B)
Periostinによる線維化誘導メカニズムの解明	金岡美和	皮膚科学	10万円	補委	令和元年度科学研究費助成事業(学術研究助成金基金助成)若手研究(B)

細胞・血液の保存に関する研究	上條亜紀	輸血・細胞治療部	9万円	補 委	(有)サンワールド川村受託研究
難治性小児急性骨髓性白血病のエピゲノム機構の解明	柴 徳生	輸血・細胞治療部	429万円	補 委	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究(C)
網羅的な遺伝子解析を用いた小児がんAMLにおける高精度リスク層別化の確立	柴 徳生	輸血・細胞治療部	300万円	補 委	革新的がん医療実用化研究事業(AMED)
再発難治急性白血病におけるエピゲノム解析	柴 徳生	輸血・細胞治療部	100万円	補 委	日本血液学会
自家心膜のグルタルアルデヒド処理と抗石灰化処理に関する研究	益田宗孝	外科治療学	55万円	補 委	文部科学省科学研究費 基礎研究C(2018-2020年度)
大動脈瘤化および大動脈解離発生のメカニズム解明と予防治療の確立	鈴木伸一	外科治療学	110万円	補 委	文部科学省科学研究費 基礎研究C(2017-2019年度)
ヒト上皮性腫瘍の発生・進展機構の解明と新規治療標的の同定	利野 靖	外科治療学	363万円	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)次世代がん医療創生研究事業一次公募・応用研究タイプ・研究領域E・チーム型基礎研究、応用研究(2019年度)(研究代表者・油谷浩幸)
甲状腺未分化癌におけるエピジェネティクスをターゲットとした治療戦略	中山博貴	外科治療学	117万円	補 委	日本学術振興会科学研究費助成事業 基盤研究(C)(2019-2021年度)
				補 委	

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

小計8件  
計 272件

## (様式第3)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 2 論文発表等の実績

## (1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所 属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	Fujita M	脳神経外科	Autocrine Production of PDGF Stimulated by the Tenascin-C-Derived Peptide TNIIIA2 Induces Hyper-Proliferation in Glioblastoma Cells.	Int J Mol Sci, 28:20(13), 2019.	Original Article
2	Fujita M	脳神経外科	Aggressive Progression in Glioblastoma Cells through Potentiated Activation of Integrin $\alpha 5 \beta 1$ by the Tenascin-C-Derived Peptide TNIIIA2.	Mol Cancer Ther, 18: 1649–1658, 2019.	Original Article
3	Koizumi T	口腔外科学	Retrograde superselective intra-arterial chemoradiotherapy for squamous cell carcinoma of the buccal mucosa. superselective intra-arterial chemoradiotherapy	Int J Radiat Res, 17(2): 283–291, 2019	Original Article
4	Ohashi N	口腔外科学	Swallowing function in advanced tongue cancer patients before and after bilateral neck dissection following superselective intra-arterial chemoradiotherapy for organ preservation: a case-control study	Oral Radiol, 35(3): 230–238, 2019	Original Article
5	Kato H	血液・免疫・感染症内科学	Diagnosis and treatment of <i>Pneumocystis jirovecii</i> pneumonia in HIV-infected or non-HIV-infected patients - difficulties in diagnosis and adverse effects of trimethoprim-sulfamethoxazole	J Infect Chemother, 25(11): 920–924, 2019	Original Article 小計5件

6	Kato H	血液・免疫・感染症内科学	Mortality and risk factor analysis for Candida blood stream infection: a multicenter study	J Infect Chemother. 25(5):341–5, 2019	Original Article
7	Koyama S	血液・免疫・感染症内科学	Septicemia from Lactobacillus rhamnosus GG, from a Probiotic Enriched Yogurt, in a Patient with Autologous Stem Cell Transplantation	Probiotics and Antimicrobial Proteins. 11(1): 295–298, 2019	Original Article
8	Tsuchida N	血液・免疫・感染症内科学	Haploinsufficiency of A20 caused by a novel nonsense variant or entire deletion of TNFAIP3 is clinically distinct from Behçet's disease	Arthritis research & therapy, 21(1):137, 2019	Original Article
9	Asano R	産婦人科学	Expression of erythropoietin messenger ribonucleic acid in wild-type MED12 uterine leiomyomas under estrogenic influence: new insights into related growth disparities	Fertil Steril, 111(1): 178–185, 2019	Original Article
10	Asano R	産婦人科学	Massive Subcutaneous Emphysema Extending to the Face during Total Laparoscopic Hysterectomy	J Minim Invasive Gynecol, 26(4): 589–590, 2019	Original Article
11	Ishidera Y	産婦人科学	Analysis of uterine corporeal mesenchymal tumors occurring after menopause	BMC Womens Health, 19(1): 13, 2019	Original Article 小計6件

12	Suzuki Y	産婦人科学	Current knowledge of and attitudes toward human papillomavirus-related disease prevention among Japanese: A large-scale questionnaire study	J Obstet Gynaecol Res, 45(5): 994–1005, 2019	Original Article
13	Yoshikata H	産婦人科学	25-Hydroxyvitamin D profiles and maternal bone mass during pregnancy and lactation in Japanese women	J Bone Miner Metab, 38(1): 99–108, 2020	Original Article
14	Fujita M	脳神経外科学	Autocrine Production of PDGF Stimulated by the Tenascin-C-Derived Peptide TNIIIA2 Induces Hyper-Proliferation in Glioblastoma Cells	Int J Mol Sci, 28:20(13), 2019	Original Article
15	Fujita M.	脳神経外科学	Aggressive Progression in Glioblastoma Cells through Potentiated Activation of Integrin $\alpha 5 \beta 1$ by the Tenascin-C-Derived Peptide TNIIIA2	Mol Cancer Ther, 18: 1649–1658, 2019	Original Article
16	Hosoo H	脳神経外科学	The Visualization Methods of Occluded Dural Sinus for Safe Transvenous Embolization of Dural AVFs	World Neurosurg, 127: e337–e345, 2019	Original Article
17	Matsumura H	脳神経外科学	Vestibular schwannoma extending into the tympanic cavity and jugular fossa by invasion of the petrous bone	Br J Neurosurg, 11:1–3, 2019	Original Article 小計6件

18	Ikegaya N	脳神経外科学	Spatiotemporal dynamics of auditory and picture naming-related high-gamma modulations: A study of Japanese-speaking patients	Clin Neurophysiol, 130(8):1446–1454, 2019	Original Article
19	Jiang X	脳神経外科学	Post-stroke administration of omega-3 polyunsaturated fatty acids promotes neurovascular restoration after ischemic stroke in mice: Efficacy declines with aging	Neurobiol Dis, 126:62–75, 2019	Original Article
20	Kimura Y	脳神経外科学	Radiologic and Pathologic Features of the Transmantle Sign in Focal Cortical Dysplasia: The T1 Signal Is Useful for Differentiating Subtypes	AJNR Am J Neuroradiol, 40(6):1060–1066, 2019	Original Article
21	Kishimoto M	脳神経外科学	Oxidative stress-responsive apoptosis inducing protein (ORAIP) plays a critical role in cerebral ischemia/reperfusion injury.	Scientific Reports, 9(1):13512, 2019. Doi: 10.1038/s41598-019-50073-8	Original Article
22	Manaka H	脳神経外科学	Aortic and internal carotid atherosclerosis in patients with carotid stenosis: Semiautomatic volumetric analysis of low-attenuation plaque on curved planar reformations using MDCT angiographic data	BioMed Research International, 2019: Article ID 5817534, 2019	Original Article
23	Matsuzawa R	脳神経外科学	Autologous transfusion of blood aspirated during suction decompression in clipping of large or giant cerebral aneurysm	Neurologia Medico-Chirurgica(Tokyo), 59(9): 351–356, 2019	Original Article 小計6件

24	Matsuzawa R	脳神経外科学	Traumatic Subacute Pre-Pontine Hematoma in a Hemophilia Patient	No Shinkei Geka, 47(2): 225-229, 2019	Original Article
25	Miyake S	脳神経外科学	TB-04 tert promoter mutation as a susceptible molecular marker OF BCNU local therapy	Neuro-Oncology, 1( Suppl 2): ii10-ii11, 2019	Original Article
26	Miyake Y	脳神経外科学	TERT promoter methylation is significantly associated with TERT upregulation and disease progression in pituitary adenomas	J Neurooncol, 141(1): 131-138, 2019	Original Article
27	Nakamura T	脳神経外科学	Genome-wide DNA methylation profiling shows molecular heterogeneity of anaplastic pleomorphic xanthoastrocytoma	Cancer Sci, 110(2):828-832, 2019	Original Article
28	Nishimura A	脳神経外科学	J-ASPECT study collaborators. Development of Quality Indicators of Stroke Centers and Feasibility of Their Measurement Using a Nationwide Insurance Claims Database in Japan— J-ASPECT Study —	Circ J, 83(11): 2292-2302, 2019	Original Article
29	Sato M	脳神経外科学	Three-dimensional multimodality fusion imaging as an educational and planning tool for deep-seated meningiomas	Br J Neurosurg, 32:509-515, 2019	Original Article 小計6件

30	Sato TR	脳神経外科学	Interhemispherically dynamic representation of an eye movement-related activity in mouse frontal cortex	Elife, 8: e50855, 2019	Original Article
31	Takayama Y	脳神経外科学	Is intracranial electroencephalography useful for planning resective surgery in intractable epilepsy with ictal myoclonia?	J Neurosurg, 25:1-6, 2019	Original Article
32	Tanaka T	脳神経外科学	Human recombinant erythropoietin improves motor function in rats with spinal cord compression-induced cervical myelopathy	PLoS One, 14(12): e0214351, 2019. doi:10.1371/journal.pone.0214351. eCollection	Original Article
33	Tateishi K	脳神経外科学	PI3K/AKT/mTOR Pathway Alterations Promote Malignant Progression and Xenograft Formation in Oligodendroglial Tumors	Clinical Cancer Research, 25(14):4375-4388, 2019	Original Article
34	Tateishi K	脳神経外科学	Molecular genetics and therapeutic targets of pediatric low-grade gliomas	Brain Tumor Pathol, 36(2):74-83, 2019	Original Article
35	Tsurubuchi T	脳神経外科学	Subependymal giant cell astrocytoma harboring a PRRC2B-ALK fusion: A case report	Pediatr Blood Cancer, 66: e27995, 2019	Case report 小計6件

36	Abe H	病理診断科・病理部	The Usefulness of Straight Chemotherapy for Dermal Exposed Anaplastic Lymphoma Kinase Fusion-Positive Anaplastic Large-Cell Lymphoma with Intracranial Invasion	Asian J Neurosurg, 14(4): 1218-1221, 2019	Original Article
37	Tateishi K	病理診断科・病理部	I3K/AKT/mTOR Pathway Alterations Promote Malignant Progression and Xenograft Formation in Oligodendroglial Tumors	Clin Cancer Res, 25(14): 4375-4387, 2019	Original Article
38	Harada F	病理診断科・病理部	Outcomes of surgery for 2010 WHO classification-based intraductal papillary neoplasm of the bile duct: Case-control study of a single Japanese institution's experience with special attention to mucin expression patterns	Eur J Surg Oncol, 45(5): 761-768, 2019	Original Article
39	Takagi Y	病理診断科・病理部	Clinical features of isolated proximal-type immunoglobulin G4-related sclerosing cholangitis. Dig Endosc	31(4): 422-430, 2019	Original Article
40	Wada-Shimosato Y	病理診断科・病理部	Intraventricular Rituximab in Pediatric CD20-positive Refractory Primary Central Nervous System Lymphoma	J Pediatr Hematol Oncol, 41(7): 571-573, 2019	Original Article
41	Watanabe K	病理診断科・病理部	Secondary organizing pneumonia due to Mycobacterium abscessus lung disease: Case report and review of the literature	Int J Mycobacteriol, 8(4): 397-399, 2019	Case report
42	Hibiya T	病理診断科・病理部	An NRAS mutation in primary malignant melanoma of the lung. a case report	Diagn Pathol, 15(1): 11, 2020	Case report

小計7件

43	Hibiya T	病理診断科・病理部	An NRAS mutation in primary malignant melanoma of the lung. a case report	Diagn Pathol. 15(1): 11, 2020	Case report
44	Kataoka T	病理診断科・病理部	Unique expression profiles of mucin proteins in interstitial pneumonia-associated lung adenocarcinomas	Histol Histopathol. 34(11):1243-1254, 2019	Original Article
45	Matsumura M	病理診断科・病理部	Specific expression of MUC21 in micropapillary elements of lung adenocarcinomas - Implications for the progression of EGFR-mutated lung adenocarcinomas	PLoS One. 14(4):e0215237, 2019	Original Article
46	Endo I	消化器・腫瘍外科学	Looking for the Best Practice for Acute Cholecystitis	Ann Gastroenterol Surg, 3(3): 228-230, 2019	Original Article
47	Homma Y	消化器・腫瘍外科学	Pure laparoscopic right posterior sectionectomy using the caudate lobe-first approach	Surgical Endoscopy, 33(11): 3851-3857, 2019	Original Article
48	Sato S	消化器・腫瘍外科学	Curative-Intent Surgery for Stage IV Advanced Gastric Cancer: Who Can Undergo Surgery and What Are the Prognostic Factors for Long-Term Survival?	Ann Surg Oncol, 26(13): 4452-4463, 2019	Original Article 小計6件

49	Suzuki S	消化器・腫瘍外科学	The short-term outcomes of laparoscopic-endoscopic cooperative surgery for colorectal tumors (LECS-CR) in cases involving endoscopically unresectable colorectal tumors	Surgery Today, 49(12): 1051–1057, 2019	Original Article
50	Suzuki S	消化器・腫瘍外科学	ASO Author Reflections: Comparison of Prognostic Impact of Various Systemic Inflammatory Markers for Stage II/III Colon Cancer	Annals of Surgical Oncology, 27(3): 853–854, 2020	Original Article
51	Shimizu Y	消化器・腫瘍外科学	Heat shock protein 105 peptide vaccine could induce antitumor immune reactions in a phase I clinical trial	Cancer Science, 110(10): 3049–3060, 2019	Original Article
52	Shimizu Y	消化器・腫瘍外科学	Next-Generation Cancer Immunotherapy Targeting Glypican-3	Frontiers in Oncology, 9: 248, 2019	Original Article
53	Shimizu Y	消化器・腫瘍外科学	Plasma and tumoral glypican-3 levels are correlated in patients with hepatitis C virus-related hepatocellular carcinoma	Cancer Science, 111(2): 334–342, 2019	Original Article
54	Miyake K	消化器・腫瘍外科学	Tumor-targeting <i>Salmonella typhimurium</i> A1-R overcomes nab-paclitaxel resistance in a cervical cancer PDOX mouse model	Arch Gynecol Obstet, 299(6): 1683–1690, 2019	Original Article 小計6件

55	Miyake K	消化器・腫瘍外科学	The combination of gemcitabine and docetaxel arrests a doxorubicin-resistant dedifferentiated liposarcoma in a patient-derived orthotopic xenograft model	Biomedicine & Pharmacotherapy, 117: 109093, 2019	Original Article
56	Sahara K	消化器・腫瘍外科学	Long-term outcome and prognostic factors for patients with para-aortic lymph node dissection in left-sided colorectal cancer	Int J Colorectal Dis, 34(6): 1121-1129, 2019	Original Article
57	Sahara K	消化器・腫瘍外科学	Conditional disease-free survival after curative-intent liver resection for neuroendocrine liver metastasis	J Surg Oncol, 120(7): 1087-1095, 2019	Original Article
58	Sahara K	消化器・腫瘍外科学	Potential disease burden of patients with substance abuse undergoing major abdominal surgery: A propensity score-matched analysis	Surgery, 166(6): 1181-1187, 2019	Original Article
59	Sahara K	消化器・腫瘍外科学	Evaluation of the ACS NSQIP Surgical Risk Calculator in Elderly Patients Undergoing Hepatectomy for Hepatocellular Carcinoma	J Gastrointest Surg, 24(3), 551-559, 2019	Original Article
60	Sahara K	消化器・腫瘍外科学	A novel online prognostic tool to predict long-term survival after liver resection for intrahepatic cholangiocarcinoma: The “metro-ticket” paradigm	J Surg Oncol, 120(2): 223-230, 2019	Original Article 小計6件

61	Sahara K	消化器・腫瘍外科学	Therapeutic Index Associated with Lymphadenectomy Among Patients with Intrahepatic Cholangiocarcinoma: Which Patients Benefit the Most from Nodal Evaluation?	Ann Surg Oncol, 26(9): 2959–2968, 2019	Original Article
62	Sahara K	消化器・腫瘍外科学	Trends in the Number of Lymph Nodes Evaluated Among Patients with Pancreatic Neuroendocrine Tumors in the United States: A Multi-Institutional and National Database Analysis	Ann Surg Oncol, 27(4), 1203–1212 , 2019	Original Article
63	Wu L	消化器・腫瘍外科学	Therapeutic index of lymphadenectomy among patients with pancreatic neuroendocrine tumors: A multi-institutional analysis	Journal of Surgical Oncology, 120(7): 1080–1086, 2019	Original Article
64	Oshi M	消化器・腫瘍外科学	Novel Breast Cancer Brain Metastasis Patient-Derived Orthotopic Xenograft Model for Preclinical Studies	Cancers (Basel), 12(2): 444–459, 2020	Original Article
65	Yamada A	消化器・腫瘍外科学	Long-Term Outcomes of Immediate Autologous Breast Reconstruction for Breast Cancer Patients	J Surg Res, 251, 78–84, 2020	Original Article
66	Sahara K	消化器・腫瘍外科学	Long-Term Outcomes After Spleen-Preserving Distal Pancreatectomy for Pancreatic Neuroendocrine Tumors: Results From the US Neuroendocrine Study Group	Neuroendocrinology, doi: 10.1159/000506399[Online ahead of print], 2020	Original Article 小計6件

67	Sahara K	消化器・腫瘍外科学	Survival Benefit of Lymphadenectomy for Gallbladder Cancer Based on the Therapeutic Index: An Analysis of the US Extrahepatic Biliary Malignancy Consortium	J Surg Oncol, 121(3): 503-510, 2020	Original Article
68	Iizuka H	放射線診断学	Contrast Enhancement Boost Technique at Aortic Computed Tomography Angiography: Added Value for the Evaluation of Type II Endoleaks After Endovascular Aortic Aneurysm Repair	Acad Radiol, 26(11): 1435-1440, 2019	Original Article
69	Tsurusaki Y	放射線診断学	Novel /USP9X/ variants in two patients with X-linked intellectual disability	Hum Genome Var, 6: 49, 2019	Original Article
70	Ohashi I	放射線診断学	A severe form of Ellis-van Creveld syndrome caused by novel mutations in /EVC2/	Hum Genome Var, 6: 40, 2019	Original Article
71	Nozawa K	放射線診断学	Imaging of Cystic Lung Lesions in Infants Using Pointwise Encoding Time Reduction with Radial Acquisition (PETRA)	Magn Reson Med Sci, 18(4): 299-300, 2019	Original Article
72	Ichikawa K	放射線診断学	Serial Magnetic Resonance Imaging and <sup>1</sup> H-Magnetic Resonance Spectroscopy in GABA Transaminase Deficiency, A Case Report	JIMD Rep, 43: 7-12, 2019	Case report 小計6件

73	Nakagawa M	放射線診断学	Machine Learning to Differentiate T2-Weighted Hyperintense Uterine Leiomyomas from Uterine Sarcomas by Utilizing Multiparametric Magnetic Resonance Quantitative Imaging Features	Acad Radiol, 26(10): 1390-1399, 2019	Original Article
74	Oda S	放射線診断学	Clinical potential of dual-energy cardiac CT in cardiac amyloidosis	Amyloid, 26(sup1): 91-92, 2019	Original Article
75	Marume K	放射線診断学	Combination of commonly examined parameters is a useful predictor of positive <sup>99m</sup> tc-labeled pyrophosphate scintigraphy findings in elderly patients with suspected transthyretin cardiac amyloidosis	Circ J, 83(8): 1698-1708	Original Article
76	Iyama A	放射線診断学	Spiral flow-generating tube for saline chaser improves aortic enhancement in Gd-EOB-DTPA-enhanced hepatic MRI	Eur Radiol, 29(4): 2009-2016, 2019	Original Article
77	Nagayama Y	放射線診断学	Dual-layer dual-energy computed tomography for the assessment of hypovascular hepatic metastases: impact of closing k-edge on image quality and lesion detectability	Eur Radiol, 29(6): 2837-2847, 2019	Original Article
78	Nagayama Y	放射線診断学	Epicardial fat volume measured on nongated chest CT is a predictor of coronary artery disease	Eur Radiol, 29(7): 3638-3646, 2019	Original Article 小計6件

79	Kato S	放射線診断学	Coronary Flow Reserve by Cardiac Magnetic Resonance Imaging in Patients With Diabetes Mellitus	JACC Cardiovasc Imaging, 12(12): 2579–2580, 2019	Original Article
80	Kato S	放射線診断学	Three-dimensional analysis of pancreatic fat by fat-water magnetic resonance imaging provides detailed characterization of pancreatic steatosis with improved reproducibility	PLoS One, 14(12): e0224921, 2019	Original Article
81	Iizuka H	放射線診断学	Harmonization of standardized uptake values between two scanners, considering repeatability and magnitude of the values in clinical fluorine-18-fluorodeoxyglucose PET settings: a phantom study	Nucl Med Commun, 40(8): 857–864, 2019	Original Article
82	Koike Y	放射線診断学	CT-Guided Percutaneous Needle Biopsy in Patients with Suspected Retroperitoneal Fibrosis: A Retrospective Cohort Study	Cardiovasc Intervent Radiol, 42(10): 1434–1440, 2019	Original Article
83	Fujisawa, T	放射線診断学	Nationwide cloud-based integrated database of idiopathic interstitial pneumonias for multidisciplinary discussion	Eur Respir J, 53(5): 1802243, 2019. doi: 10.1183/13993003.02243 –2018	Original Article
84	Sekine A	放射線診断学	Rapid effect of osimertinib re-challenge on brain metastases developing during salvage cytotoxic chemotherapy after osimertinib treatment failure. A case report	Mol Clin Oncol, 10(4): 451–453, 2019. doi: 10.3892/mco.2019.1818	Case report 小計6件

85	Ikeda S	放射線診断学	Negative impact of anorexia and weight loss during prior pirfenidone administration on subsequent nintedanib treatment in patients with idiopathic pulmonary fibrosis	BMC Pulm Med, 19(1): 78, 2019. doi: 10.1186/s12890-019-0841-7	Original Article
86	Yamakawa H	放射線診断学	Evaluation of changes in the serum levels of Krebs von den Lungen-6 and surfactant protein-D over time as important biomarkers in idiopathic fibrotic nonspecific interstitial pneumonia	Respir Investig, 57(5): 422-429, 2019. doi: 10.1016/j.resinv.2019.03.006	Original Article
87	Iwasawa T	放射線診断学	Computer-aided Quantification of Pulmonary Fibrosis in Patients with Lung Cancer: Relationship to Disease-free Survival	Radiology, 292(2): 489-498, 2019. doi: 10.1148/radiol.2019182466	Original Article
88	Chino H	放射線診断学	Interstitial Lung Disease with Anti-melanoma Differentiation-associated Protein 5 Antibody: Rapidly Progressive Perilobular Opacity	Intern Med, 58(18): 2605-2613, 2019	Original Article
89	Yoshida M	放射線診断学	Prevalence of extracardiac findings in patients undergoing coronary computed tomography and additional low-dose whole-body computed tomography	Jpn J Radiol, 38(2): 144-153, 2020	Original Article
90	Hirata K	放射線診断学	Machine Learning to Predict the Rapid Growth of Small Abdominal Aortic Aneurysm	J Comput Assist Tomogr, 44(1): 37-42, 2020	Original Article 小計6件

91	Inoue T	放射線診断学	Usefulness of Virtual Monochromatic Dual-Layer Computed Tomographic Imaging for Breast Carcinoma	J Comput Assist Tomogr, 44(1): 78-82, 2020	Original Article
92	Alkanaq AN	遺伝子診療科	Comparison of mitochondrial DNA variants detection using short- and long-read Sequencing	J Hum Genet, 64(11): 1107-1116, 2019	Original Article
93	Aoi H	遺伝子診療科	Comprehensive genetic analysis Of 57 families with clinically suspected Cornelia de Lange syndrome	J Hum Genet, 64(10): 967-978, 2019	Original Article
94	Den K	遺伝子診療科	A novel de novo frameshift variant in SETD1B causes epilepsy	J Hum Genet, 64(8):821-827, 2019.	Others
95	Den K	遺伝子診療科	Recurrent NUS1 canonical splice donor site mutation in two unrelated individuals with epilepsy, myoclonus, ataxia and scoliosis - a case report	BMC Neurol, 19(1):253, 2019	Case report
96	Fujita A	遺伝子診療科	Pathogenic variants of DYNC2H1, KIAA0556, and PTPN11 associated with hypothalamic hamartoma	Neurology, 93(3):e237-e251, 2019	Original Article
97	Hamanaka K	遺伝子診療科	RNA sequencing solved the most common but unrecognized NEB pathogenic variant in Japanese nemaline myopathy	Genet Med, 21(7):1629-1638, 2019	Original Article 小計7件

98	Hamanaka K	遺伝子診療科	De novo truncating variants in PHF21A cause intellectual disability and craniofacial anomalies	Eur J Hum Genet, 27(3): 378-383, 2019	Original Article
99	Hamanaka K	遺伝子診療科	MYRF haploinsufficiency causes 46,XY and 46,XX disorders of sex development: bioinformatics consideration	Hum Mol Genet, 28(14): 2319-2329, 2019	Original Article
100	Hashiguchi S	遺伝子診療科	Ataxic phenotype with altered CaV3.1 channel property in a mouse model for spinocerebellar ataxia 42	Neurobiol Dis, 130:104516, 2019	Original Article
101	Ikeda J	遺伝子診療科	Whole transcriptome sequencing reveals a KMT2A-USP2 fusion in infant acute myeloid leukemia	Genes Chromosomes Cancer, 58(9):669-672, 2019	Case report
102	Iwama K	遺伝子診療科	Genetic landscape of Rett syndrome-like phenotypes revealed by whole exome sequencing	J Med Genet, 56(6):396-407, 2019	Original Article
103	Mizuguchi T	遺伝子診療科	A novel homozygous truncating variant of NECAP1 in early infantile epileptic encephalopathy:the second case report of EIEE21	J Hum Genet, 64(4):347-350, 2019	Others
104	Mizuguchi T	遺伝子診療科	A 12-kb structural variation in progressive myoclonic epilepsy was newly identified by long-read whole-genome sequencing	J Hum Genet, 64(5):359-368, 2019	Original Article
105	Okubo M	遺伝子診療科	GGC repeat expansion of NOTCH2NLC in adult patients with leukoencephalopathy	Ann Neurol, 86(6):962-968, 2019	Others 小計8件

106	Saida K	遺伝子診療科	Hemorrhagic stroke and renovascular hypertension with Grange syndrome arising from a novel pathogenic variant in YY1AP1	J Hum Genet, 64(9): 885-890, 2019	Original Article
107	Sekiguchi F	遺伝子診療科	Genetic abnormalities in a large cohort of Coffin-Siris syndrome patients	J Hum Genet, 64(12): 1173-1186, 2019	Original Article
108	Takata A	遺伝子診療科	Comprehensive analysis of coding variants highlights genetic complexity in developmental and epileptic encephalopathy	Nat Commun, 10(1): 2506, 2019	Original Article
109	Tsuchida N	遺伝子診療科	Haploinsufficiency of A20 caused by a novel nonsense variant or entire deletion of TNFAIP3 is clinically distinct from Behcet's disease	Arthritis Res Ther, 21(1):137, 2019	Original Article
110	Uchiyama Y	遺伝子診療科	Primary immunodeficiency with chronic enteropathy and developmental delay in a boy arising from a novel homozygous RIPK1	J Hum Genet, 64(9):955-960, 2019	Others
111	Shimosato Y	遺伝子診療科	Bone Marrow Transplantation versus Peripheral Blood Stem Cell Transplantation for Hematologic Malignancies in Children: A Systematic Review and Meta-Analysis	Biol Blood Marrow Transplant, 26(1):88-93, 2020	Original Article
112	Miyake N	遺伝子診療科	Gain-of-Function MN1 Truncation Variants Cause a Recognizable Syndrome with Craniofacial and Brain Abnormalities	Am J Hum Genet, 106(1):13-25, 2020	Original Article 小計7件

113	Ohno T	眼科学	Association Study of ARMC9 Gene Variants with Vogt-Koyanagi-Harada Disease in Japanese Patients	Ocul Immunol Inflamm, 27(5): 699–705, 2019	Original Article
114	Takeuchi M	眼科学	Real-world evidence of treatment for relapse of noninfectious uveitis in tertiary centers in Japan: A multicenter study	Medicine (Baltimore), 98(9): e14668, 2019	Original Article
115	Mizuki Y	眼科学	The influence of HLA-B51 on clinical manifestations among Japanese patients with Behçet's disease: a nationwide survey	Mod Rheumatol, 6: 1–7, 2019	Original Article
116	Okazaki S	眼科学	Common variants in the COL2A1 gene are associated with lattice degeneration of the retina in a Japanese population	Mol Vis, 25: 843–850, 2019	Original Article
117	Arai Y	耳鼻咽喉科	Sphenoid sinus development in patients with acquired middle ear cholesteatoma	Auris Nasus Larynx, 2019 [Epub ahead of print]	Original Article
118	Isono Y	耳鼻咽喉科	FLCN alteration drives metabolic reprogramming towards nucleotide synthesis and cyst formation in salivary gland	Biochem Biophys Res Commun, 2019 [Epub ahead of print]	Original Article
119	Nakayama M	耳鼻咽喉科	Endoscopic Transoral Hybrid Supracricoid Partial Laryngectomy with Cricohyoidopiglottoplasty	Ann Otol Rhinol Laryngol, 2019 [Epub ahead of print]	Original Article
120	Nishimura G	耳鼻咽喉科	A prospective clinical trial of the second-look procedure for transoral surgery in patients with T1 and T2 laryngeal, oropharyngeal, and hypopharyngeal cancer	Cancer Med, 8(17): 7197–7206, 2019	Original Article 小計8件

121	Sano D	耳鼻咽喉科	Real-world treatment outcomes of the EXTREME regimen as first-line therapy for recurrent/metastatic squamous cell carcinoma of the head and neck: a multi-center retrospective cohort study in Japan	Anticancer Res, 39(12): 6819–6827, 2019	Original Article
122	Sano D	耳鼻咽喉科	Addition of S-1 to radiotherapy for treatment of T2N0 glottic cancer: Results of the multiple-center retrospective cohort study in Japan with a propensity score analysis	Oral Oncol, 99: 104454, 2019	Original Article
123	Takahashi H	耳鼻咽喉科	Phase II trial of trastuzumab and docetaxel in patients with human epidermal growth factor receptor 2-positive salivary duct carcinoma	J Clin Oncol, 37(2): 125–134, 2019	Original Article
124	Takahashi M	耳鼻咽喉科	A postimplant cholesteatoma after modified radical mastoidectomy	IJOHNS, 8(1): 25–31, 2019	Original Article
125	Ebuchi K	麻醉科学	Measurement of the aortic annulus area and diameter by three-dimensional transesophageal echocardiography in transcatheter aortic valve replacement	Journal of cardiothoracic and vascular anesthesia, 33(9) ;2387–2393, 2019	Original Article
126	Okamura K	麻醉科学	Pre-anesthetic ultrasonographic assessment of the internal jugular vein for prediction of hypotension during the induction of general anesthesia	Journal of Anesthesia, 33 (5) : 612–619, 2019	Original Article
127	Kanemaru E	麻醉科学	Comparison of right ventricular function between patients with and without pulmonary hypertension due to left-sided heart disease: assessment based on right ventricular pressure-volume curves	Journal of cardiothoracic and vascular anesthesia, 34(1) ;143–150, 2020	Original Article 小計7件

128	Kamikado Y	麻醉科学	Anesthetic management of a pediatric patient with Loeys–Dietz syndrome: A case report	Paediatr Anaesth, 29(8):875–877. 2019. doi: 10.1111/pan.13673. Epub 2019 Jun 19	Case report
129	Kariya T	麻醉科学	Behavior of Anesthesiology Residents in a Situation of Intravenous Route Occlusion During Syringe Pump Use in a Simulated Intensive Care Unit	J Patient Saf, 2019, 12, 15(4):290–292. doi: 10.1097/PTS.0000000000000023	Original Article
130	Kawakami H	麻醉科学	Effectiveness of Magnesium in Preventing Shivering in Surgical Patients: A Systematic Review and Meta-analysis	Anesth Analg, 2019, 9, 129(3):689–700. doi: 10.1213/ANE.00000000000040424	Original Article
131	Kikuchi M	麻醉科学	Anterior quadratus lumborum block for postoperative recovery after total hip arthroplasty: a study protocol for a single-center, double-blind, randomized controlled trial	Trials, 2020, 2, 21(1):142. doi: 10.1186/s13063-020-4090-0	Original Article
132	Goshima Y	麻醉科学	Immunoreactivity of a G protein-coupled l-DOPA receptor GPR143, in Lewy bodies	Neurosci Res, 148: 49–53, 2019	Original Article
133	Sasaki M	麻醉科学	Simulation of pressure support for spontaneous breathing trials in neonates	Intensive Care Med Exp, 7(1):10,2019 doi: 10.1186/s40635-019-0223-8	Original Article
134	Sugawara Y	麻醉科学	Effects of vasopressin during a pulmonary hypertensive crisis induced by acute hypoxia in a rat model of pulmonary hypertension	Br J Anaesth, 122(4):437–447,2019 doi: 10.1016/j.bja.2019.01.014	Original Article 小計7件

135	Tamada N	麻醉科学	Necrosis Rather Than Apoptosis is The Dominant form of Alveolar Epithelial Cell Death In Lipopolysaccharide-Induced Experimental Acute Respiratory Distress Syndrome Model	Shock, 54(1):128–139, 2020. 2019, 7. doi: 10.1097/SHK.00000000000001425. [Epub ahead of print]	Original Article
136	Tojo A	麻醉科学	Desflurane impairs hippocampal learning on day 1 of exposure: a prospective laboratory study in rats	BMC Anesthesiol, 19(1):119, 2019. doi: 10.1186/s12871-019-0793-8	Original Article
137	Tojo K	麻醉科学	Effects of intraoperative tidal volume on incidence of acute kidney injury after cardiovascular surgery: A retrospective cohort study	J Crit Care, 2020, 4. 56:152–156. doi: 10.1016/j.jcrc.2019.12.020. Epub, 2019, 12	Original Article
138	Nakajima D	麻醉科学	Effectiveness of intravenous lidocaine in preventing postoperative nausea and vomiting in pediatric patients: A systematic review and meta-analysis	PLoS One, 2020, 1. 15(1):e0227904. doi: 10.1371/journal.pone.0227904. eCollection 2020	Original Article
139	Fujimoto H	麻醉科学	Effect of posterior quadratus lumborum blockade on the quality of recovery after major gynaecological laparoscopic surgery: A randomized controlled trial	Anaesth Intensive Care, 47(2): 146–151, 2019	Original Article
140	Mihara T	麻醉科学	Comparison of the clinical performance of i-gel and Ambu AuraGain in children: A randomised noninferiority clinical trial	Eur J Anaesthesiol, 36(6):411–417, 2019 doi: 10.1097/EJA.0000000000000987	Original Article
141	Yamaguchi Y	麻醉科学	Point-of-care lung ultrasound to evaluate lung isolation during one-lung ventilation in children: A case report	Saudi journal of anaesthesia, 13:243–245, 2019, 6	Original Article 小計7件

142	Yamamoto N	麻醉科学	Airway management strategy for accidental tracheal extubation in the prone position: A simulation study	J Clin Anesth, 2020, 63:109786. doi: 10.1016/j.jclinane.2020.109786	Original Article
143	Yokose M	麻醉科学	The perfusion index measured by the pulse oximeter affects the agreement between ClearSight and the arterial catheter-based blood pressures: A prospective observational study	PLoS One, 14(7):e0219511, 2019. doi: 10.1371/journal.pone.0219511. eCollection 2019	Original Article
144	Yokoyama N	麻醉科学	A question is "what are the optimal targets for anticoagulant therapies?"	J Intensive Care, 2020, 8:17. doi: 10.1186/s40560-020-0434-9. eCollection 2020	Original Article
145	Tatenuma T	泌尿器科学	The Pretherapeutic Neutrophil-to-Lymphocyte Ratio for Docetaxel-Based Chemotherapy Is Useful for Predicting the Prognosis of Japanese Patients with Castration-Resistant Prostate Cancer	Biomed Res Int, 2019: ID2535270, 2019	Original Article
146	Tatenuma T	泌尿器科学	Outcome of Palliative Urinary Diversion and Observation for Malignant Extrinsic Ureteral Obstruction	J Palliat Med. 2020 Feb;23(2):254–258	Original Article
147	Mukai Y	放射線治療学	Outcome of postoperative radiation therapy for cholangiocarcinoma and analysis of dose-volume histogram of remnant liver	Medicine, 98(31): e16673, 2019	Original Article
148	Mukai Y	放射線治療学	Radiation therapy for uterine cervical cancer with lung metastases including oligometastases	In Vivo, 33(5): 1677–1684, 2019	Original Article 小計7件

149	Takano S	放射線治療学	Intensity-modulated radiation therapy using TomoDirect for postoperative radiation of left-sided breast cancer including lymph node area: comparison with TomoHelical and three-dimensional conformal radiation therapy	J Radiat Res, 60(5): 694–704, 2019	Original Article
150	Komiya H	神経内科学・脳卒中医学	Adjustment of Subthalamic Deep Brain Stimulation Parameters Improves Wheeze and Dyspnea in Parkinson's Disease	Front Neurol, 10:1317, 2019	Original Article
151	Hashiguchi S	神経内科学・脳卒中医学	Ataxic phenotype with altered CaV3.1 channel property in a mouse model for spinocerebellar ataxia 42	Neurobiol Dis, 130:104516, 2019	Original Article
152	Okubo M	神経内科学・脳卒中医学	GGC Repeat Expansion of NOTCH2NLC in Adult Patients with Leukoencephalopathy	Ann Neurol, 86: 962–968, 2019	Original Article
153	Nakamura H	神経内科学・脳卒中医学	Adult-onset vocal cord paralysis in slow-channel congenital myasthenic syndrome	Neurology Clinical Practice, 9(5): e45–e47, 2019	Original Article
154	Fukai R	神経内科学・脳卒中医学	Non-traumatic Acute Epidural Hematoma in Multiple Sclerosis Treated With Fingolimod	Front Neurol, 10: 763, 2019	Original Article
155	Takahashi K	神経内科学・脳卒中医学	Adduction–Abduction Asymmetry in Saccades During Video–Oculographic Monocular Recording: A Word of Caution	Neuroophthalmology, 43(5): 284–288, 2019	Original Article 小計7件

156	Johkura K	神経内科学・脳卒中医学	Differential diagnosis of apogeotropic positional nystagmus in the emergency room	J Neurol Sci, 400:180–181, 2019	Original Article
157	Sugawara E	神経内科学・脳卒中医学	Pitfall of light transmission aggregometry-based assessment of platelet function in acute ischemic stroke patients	J Stroke Cerebrovasc Dis, 29(1): 104496, 2020	Original Article
158	Miyaji Y	神経内科学・脳卒中医学	A new method to define cutoff values in nerve conduction studies for carpal tunnel syndrome considering the presence of false-positive cases	Neurol Sci, 41(3):669–677, 2020	Original Article
159	Satake T	形成外科学	Contralateral unaffected breast augmentation using zone IV as a SIEA flap during unilateral DIEP flap breast reconstruction	J Plast Reconstr Aesthet Surg, 72(9):1537–1547, 2019	Original Article
160	Mikami T	形成外科学	Pathological changes in the lymphatic system of patients with secondary upper limb lymphoedema	Sci Rep, 9(1): 8499, 2019	Original Article
161	Kemmotsu T	小児科学	Antenatal Administration of Betamethasone Contributes to Intimal Thickening of the Rat Ductus Arteriosus	Circ J, 83(3): 654–661, 2019	Original Article
162	Shiba N	小児科学	Transcriptome analysis offers a comprehensive illustration of the genetic background of pediatric acute myeloid leukemia	Blood Adv, 3(20): 3157–3169, 2019	Original Article 小計7件

163	Shimosato Y	小児科学	Allogeneic Bone Marrow Transplantation versus Peripheral Blood Stem Cell Transplantation for Hematologic Malignancies in Children: A Systematic Review and Meta-Analysis	Biol Blood Marrow Transplant, 26(1):88–93, 2020. (TanoshimaはCo-first author)	Original Article
164	Tanoshima R	小児科学	Effectiveness of antiplatelet therapy for Kawasaki disease: a systematic review	Eur J Pediatr, 178(6): 947–955, 2019	Original Article
165	Tanoshima R	小児科学	The incidence of symptomatic osteonecrosis after allogeneic haematopoietic stem cell transplantation in children with acute lymphoblastic leukaemia - controversy on dexamethasone as a risk factor	Br J of Haematol, 185(5): 958–959, 2019	Original Article
166	Takeuchi M	小児科学	Pharmacogenomics J	20(2):306–319, 2020	Original Article
167	Narui K	がん総合医科学	Anthracycline could be essential for triple-negative breast cancer: A randomised phase II study by the Kanagawa Breast Oncology Group (KBOG) 1101	The Breast, 47: 1–9, 2019	Original Article
168	Kato S	がん総合医科学	Three-dimensional analysis of pancreatic fat by fat-water magnetic resonance imaging provides detailed characterization of pancreatic steatosis with improved reproducibility	PLoS One, 14(12), 2019	Original Article 小計6件

169	Ohkubo H	がん総合医科学	Relationship between StoolForm and Quality of Life in Patients with Chronic Constipation: An Internet Questionnaire Survey	Digestion, 1:1-8, 2019	Original Article
170	Suzuki K	がん総合医科学	Neuroendocrine Tumor Treated with Arterial Chemoembolization Using DEB-TACE	Intern Med, 58(19):2895-2896, 2019	Original Article
171	Honda Y	がん総合医科学	Autotaxin is a valuable biomarker for the prediction of liver fibrosis in patients with non-alcoholic fatty liver disease	Hepatol Res, 49(10):1136-1146, 2019	Original Article
172	Yoshida T	がん総合医科学	Surgery for Pancreatic Neuroendocrine Tumor G3 and Carcinoma G3 Should be Considered Separately	Ann Surg Oncol, 26(5):1385-1393, 2019	Original Article
173	Takeda Y	がん総合医科学	Differences in Concepts between Hospital Oncologists and Home Physicians	Gan To Kagaku Ryoho, 46(Suppl 1):115-117., 2019	Original Article
174	Misawa N	がん総合医科学	Clinical impact of evaluation of frailty in endoscopic submucosal dissection for early gastric cancer in elderly patients	Geriatr Gerontol Int, 20(5):461-466, 2020	Original Article
175	Ozaki A	がん総合医科学	Comparing the effectiveness of magnesium oxide and naldemedine in preventing opioid-induced constipation: a proof of concept, single institutional, two arm, open-label, phase II, randomized controlled trial: the MAGNET study	Trials. 1;21(1): 453, 2020 Jun	Original Article 小計7件

176	Hiroshima Y	がん総合医科学	Novel targets identified by integrated cancer-stromal interactome analysis of pancreatic adenocarcinoma	Cancer Lett, 469: 217–227, 2020 Jan	Original Article
177	Sano D	がん総合医科学	Real-world Treatment Outcomes of the EXTREME Regimen as First-line Therapy for Recurrent/Metastatic Squamous Cell Carcinoma of the Head and Neck: A Multi-center Retrospective Cohort Study in Japan	Anticancer Res, 39(12):6819–6827, 2019 Dec	Original Article
178	Kato H	呼吸器病学	HLA-A26 is a risk factor for Behçet's disease ocular lesions	Mod Rheumatol, 4: 1–5, 2020	Original Article
179	Murohashi K	呼吸器病学	Diffuse alveolar hemorrhage complicating acute exacerbation of IPF	Respir Med Case Rep, 29: 101022, 2020	Original Article
180	Teranishi S	呼吸器病学	Reproducibility of the T-SPOT.TB test for screening Mycobacterium tuberculosis infection in Japan	J Infect Chemother, 26: 194–198, 2020	Original Article
181	Shibata Y	呼吸器病学	The clinical significance of CXCL16 in the treatment of advanced non-small cell lung cancer	Thorac Cancer, 11: 1258–1264, 2020	Original Article
182	Chin K	呼吸器病学	A complete spontaneous regression of lung cancer with variations in size over 38 months	J Jpn Soc Respir Endoscopy, 41: 289–292, 2019	Original Article 小計7件

183	Ito M	呼吸器病学	Carboplatin plus pemetrexed for the elderly incurable chemo-naïve nonsquamous non-small cell lung cancer: meta-analysis	Asia Pac J Clin Oncol, 15: e3–e10, 2019	Original Article
184	Katakura S	呼吸器病学	Non-small cell lung cancer with mesenchymal–epithelial transition gene exon 14 skipping mutation treated with crizotinib	Respirol Case Rep, 7: e00453, 2019	Original Article
185	Kubo S	呼吸器病学	Computed tomography imaging-based observation of the aggressive growth of angiosarcoma: a case study	Respirol Case Rep, 7: e00479, 2019	Case report
186	Murohashi K	呼吸器病学	Clinical significance of Charlson comorbidity index as a prognostic parameter for patients with acute or subacute idiopathic interstitial pneumonias and acute exacerbation of collagen vascular diseases-related interstitial pneumonia	J Thorac Dis, 11: 2448–2457, 2019	Original Article
187	Narita A	呼吸器病学	Stereotactic body radiotherapy for primary non-small cell lung cancer patients with clinical T3–4N0M0 (UICC 8th edition): outcomes and patterns of failure	J Radiat Res, 60: 639–649, 2019	Original Article
188	Kaneko T	呼吸器病学	Clinical features of early-stage possible Behçet's disease patients with a variant-type major organ involvement in Japan	Mod Rheumatol, 29: 640–646, 2019	Original Article
189	Takeda A	呼吸器病学	Questionnaire survey comparing surgery and stereotactic body radiotherapy for lung cancer: lessons from patients with experience of both modalities	J Thorac Dis, 11: 2479–2489, 2019	Original Article 小計7件

190	Tashiro K	呼吸器病学	Hepcidin exerts a negative immunological effect in pulmonary tuberculosis without HIV co-infection, prolonging the time to culture-negative	Int J Infect Dis, 86: 47–54, 2019	Original Article
191	Watanabe K	呼吸器病学	Secondary organizing pneumonia due to Mycobacterium abscessus lung disease: case report and review of the literature	Int J Mycobacteriol, 8: 397–399, 2019	Original Article
192	Watanabe K	呼吸器病学	Renal metastasis of lung cancer mimicking renal infarction	Indian J Cancer, 56: 185, 2019	Original Article
193	Yagyu H	呼吸器病学	Giant solitary fibrous tumor of pleura presenting both benign and malignant features	Am J Case Rep, 20: 1755–1759, 2019	Original Article
194	Nakajima A	肝胆脾消化器病学	Efficacy, long-term safety, and impact on quality of life of elobixibat in more severe constipation: Post hoc analyses of two phase 3 trials in Japan	Neurogastroenterol Motil, 31(5):e13571. 2019	Original Article
195	Yoneda M	肝胆脾消化器病学	Nonalcoholic fatty liver disease with advanced fibrosis as a multi-systemic disease proceed with caution	Hepatobiliary Surgery and Nutrition, 8(2):170–172, 2019	Original Article
196	Nogami A	肝胆脾消化器病学	Assessment of 10-year changes in liver stiffness using vibration-controlled transient elastography in nonalcoholic fatty liver disease	Hepatology Research, 49(8):872–880, 2019	Original Article 小計7件

197	Nakajima A	肝胆胰消化器病学	Polyethylene glycol 3350 plus electrolytes for chronic constipation: a 2-week, randomized, double-blind, placebo-controlled study with a 52-week open-label extension	Journal of Gastroenterology, 54(9):792–803,2019	Original Article
198	Kurita Y	肝胆胰消化器病学	Diagnostic ability of artificial intelligence using deep learning analysis of cyst fluid in differentiating malignant from benign pancreatic cystic lesions	Scientific Reports,9(1):6893,2019	Original Article
199	Honda Y	肝胆胰消化器病学	Autotaxin is a valuable biomarker for the prediction of liver fibrosis in patients with non-alcoholic fatty liver disease	Hepatology Research,49(10) : 1136–1146,2019	Original Article
200	Suzuki K	肝胆胰消化器病学	Neuroendocrine Tumor Treated with Arterial Chemoembolization Using DEB-TACE	Internal Medicine, 58(19): 2895–2896,2019	Original Article
201	Matsuura T	肝胆胰消化器病学	Organoid-based ex vivo reconstitution of Kras-driven pancreatic ductal carcinogenesis	Carcinogenesis, doi: 10.1093/carcin/bgz122, 2019	Original Article
202	Chiba H	肝胆胰消化器病学	Predictive Factors of Mild and Severe Fibrosis in Colorectal Endoscopic Submucosal Dissection	Digestive Diseases and Sciences,65(1): 232–242,2019	Original Article
203	Kurita Y	肝胆胰消化器病学	Features of chronic pancreatitis by endoscopic ultrasound influence the diagnostic accuracy of endoscopic ultrasound-guided fine-needle aspiration of small pancreatic lesions	Digestive Endoscopy,32(3):399–408,2019	Original Article 小計7件

204	Ohkubo H	肝胆脾消化器病学	Relationship between StoolForm and Quality of Life in Patients with Chronic Constipation: An Internet Questionnaire Survey	Digestion, [Online ahead of print]:1–8. doi:10.1159/000502815,2019	Original Article
205	Kato S	肝胆脾消化器病学	Three-dimensional analysis of pancreatic fat by fat-water magnetic resonance imaging provides detailed characterization of pancreatic steatosis with improved reproducibility	PLoS One,14(12):e0224921,2019	Original Article
206	Niikura T	肝胆脾消化器病学	A Coronary Artery Disease is More Severe in Patients with Non-Alcoholic Steatohepatitis than Fatty Liver	Diagnostics(Basel),10(3): pii:E129.doi:10.3390/diagnostics1003129.PubMed PMID:32111021., 2020 Feb 26	Original Article
207	Kurita Y	肝胆脾消化器病学	Comparison of prognosis between observation and surgical resection groups with small sporadic non-functional pancreatic neuroendocrine neoplasms without distant metastasis	J Gastroenterol,55(5):543–552. doi: 10.1007/s00535-019-01655-w. Epub 2019 Dec 19. PubMed PMID: 31858231,2019	Original Article
208	Ozaki A	肝胆脾消化器病学	Effect of tofogliflozin and pioglitazone on hepatic steatosis in non-alcoholic fatty liver disease patients with type 2 diabetes mellitus: A randomized, open-label pilot study (ToPiND study)	Contemp Clin Trials Commun,doi: 10.1016/j.conctc.2019.100516.PubMed PMID:31956725;PubMed Central PMCID: PMC6956674,2019	Original Article
209	Gohbara M	循環器・腎臓・高血圧内科学	Low activities of daily living associated with increased cardiovascular disease mortality in Japan	–Analysis of health records from a nationwide claim-based database, JROAD-DPC. Circ Rep, 1(1): 20–28, 2019	Original Article 小計6件

210	Minegishi S	循環器・腎臓・高血圧内科学	Native T1 time and extracellular volume fraction in differentiation of normal myocardium from non-ischemic dilated and hypertrophic cardiomyopathy myocardium: A systematic review and meta-analysis	Int J Cardiol Heart Vasc, 25: 100422, 2019. doi: 10.1016/j.ijcha.2019.100422. eCollection 2019	Original Article
211	Narikawa M	循環器・腎臓・高血圧内科学	Doxorubicin induces trans-differentiation and MMP1 expression in cardiac fibroblasts via cell death-independent pathways	PLoS One, 14(9): e0221940, 2019. doi: 10.1371/journal.pone.0221940. eCollection 2019	Original Article
212	Taguchi Y	循環器・腎臓・高血圧内科学	Successful screening of sleep-disordered breathing using a pacemaker-based algorithm in Japan	J Cardiol, 73: 394–400, 2019	Original Article
213	Konishi M	循環器・腎臓・高血圧内科学	Impact of population density on mortality in patients hospitalized for heart failure—JROAD-DPC Registry Analysis	JCardiol, 75(4):447–453,2020	Original Article
214	Aoki K	内分泌・糖尿病内科学	Usefulness of alpha glucosidase inhibitor as antidiabetic drug focusing on gut hormones and timing of administration	Endocr J. 66(5): 395–401, 2019	Original Article
215	Aroda VR	内分泌・糖尿病内科学	PIONEER 1 investigators. PIONEER 1: Randomized clinical trial comparing the efficacy and safety of oral semaglutide monotherapy with placebo in patients with type 2 diabetes	Diabetes Care. 42(9): 1724–1732, 2019	Original Article
216	Goto A	内分泌・糖尿病内科学	Diabetes and cancer risk: A Mendelian randomization study	Int J Cancer. 146(3):712–719, 2019	Original Article 小計7件

217	Goto A	内分泌・糖尿病内科学	Causes of death and estimated life expectancy among people with diabetes: A retrospective cohort study in a diabetes clinic	J Diabetes Investig. 11(1): 52-54, 2020	Original Article
218	Itoh H	内分泌・糖尿病内科学	Achieving LDL-C target levels less than 70 mg/dL may provide extra cardiovascular protection in high-risk patients: Exploratory analysis of the standard versus intensive statin therapy for patients with hypercholesterolemia and diabetic retinopathy study	Diabetes Obes Metab. 21(4): 791-800, 2019	Original Article
219	Iijima T	内分泌・糖尿病内科学	Comparison of lipid-lowering effects of anagliptin and miglitol in patients with type 2 diabetes: A randomized trial	J Clin Med Res. 12(2): 73-78, 2020	Original Article
220	Ito Y	内分泌・糖尿病内科学	The beneficial effects of a muscarinic agonist on pancreatic $\beta$ -cells	Sci Rep. 9(1): 16180, 2019	Original Article
221	Iwata W	内分泌・糖尿病内科学	Podocyte-specific deletion of tubular sclerosis complex 2 promotes focal segmental glomerulosclerosis and progressive renal failure	PLoS One. 2020 Mar 19;15(3):e0229397	Original Article
222	Ji Y	内分泌・糖尿病内科学	Toll-like receptors TLR2 and TLR4 block the replication of pancreatic $\beta$ cells in diet-induced obesity	Nat Immunol. 20(6):677-686, 2019	Original Article
223	Jungtrakoon P	内分泌・糖尿病内科学	Loss-of-function mutation in thiamine transporter 1 in a family with autosomal dominant diabetes	Diabetes. 68(5):1084-1093, 2019	Original Article 小計7件

224	Kinguchi S	内分泌・糖尿病内科学	Improved home BP profile with dapagliflozin is associated with amelioration of albuminuria in Japanese patients with diabetic nephropathy: The Yokohama Add-on Inhibitory efficacy of Dapagliflozin on Albuminuria in Japanese patients with type 2 diabetes study (Y-AIDA study)	Cardiovasc Diabetol. 18(1): 110, 2019	Original Article
225	Koike Y	内分泌・糖尿病内科学	Effect of canagliflozin on the overall clinical state including insulin resistance in Japanese patients with Type 2 diabetes mellitus	Diabetes Res Clin Pract. 149: 140–146, 2019	Original Article
226	Konishi H	内分泌・糖尿病内科学	Association between hyperglycemia and mTOR inhibitors in the Japanese Adverse Drug Event Report Database	Endocr J. 66(6): 571–574, 2019	Original Article
227	Matsuba I	内分泌・糖尿病内科学	Effects of ipragliflozin on development and progression of kidney disease in patients with type 2 diabetes: an analysis from the multicenter prospective intervention study	J Diabetes Investig. 2020 Mar 9. doi: 10.1111/jdi.13248. [Epub ahead of print]	Original Article
228	Matsuba I	内分泌・糖尿病内科学	Canagliflozin Increases Calorie Intake in Type 2 Diabetes Without Changing the Energy Ratio of the Three Macronutrients: CANA-K Study	Diabetes Technol Ther. 22(3): 228–234, 2020	Original Article
229	Minami T	内分泌・糖尿病内科学	The effect of long-term past glycemic control on executive function among patients with type 2 diabetes mellitus	Diabetol Int. 11(2): 114–120, 2019	Original Article
230	Miya A	内分泌・糖尿病内科学	Correlation between serum proinsulin levels and fatty liver: the DOSANCO Health Study	J Diabetes Investig. 2020 Jan 30. doi: 10.1111/jdi.13221. [Epub ahead of print]	Original Article 小計7件

231	Miyazaki T	内分泌・糖尿病内科学	Influence of timing of insulin initiation on long-term glycemic control in Japanese patients with type 2 diabetes: A retrospective cohort study	Intern Med. 58(23): 3361-3367, 2019	Original Article
232	Shinoda M	内分泌・糖尿病内科学	PREVALENCE OF OBSTRUCTIVE SLEEP APNEA DETERMINED BY THE WATCHPAT IN NONOBESIVE JAPANESE PATIENTS WITH POOR GLUCOSE CONTROL AND TYPE 2 DIABETES	Endocr Pract. 25(2): 170-177, 2019	Original Article
233	Shirakawa J	内分泌・糖尿病内科学	Luseogliflozin increases beta cell proliferation through humoral factors that activate an insulin receptor- and IGF-1 receptor-independent pathway.	Diabetologia. 63(3):577-587, 2020	Original Article
234	Shirakawa J	内分泌・糖尿病内科学	Potential linkage between DPP-4 inhibitor use and the risk of pancreatitis/pancreatic cancer	J Diabetes Investig. 2019 Nov 27. doi: 10.1111/jdi.13192	Original Article
235	Shirakawa J	内分泌・糖尿病内科学	Newer perspective on the coupling between glucose-mediated signaling and $\beta$ -cell functionality	Endocr J. 67(1): 1-8, 2020	Original Article
236	Suzuki J	内分泌・糖尿病内科学	Efficacy and safety of insulin degludec and insulin glargine in hospitalized patients with type 2 diabetes: An open-label, randomized controlled study	Endocr J. 66(11): 971-982, 2019	Original Article
237	Takai M	内分泌・糖尿病内科学	Efficacy and Safety of Adding Sitagliptin in Type 2 Diabetes Patients on Insulin: Age-Stratified Comparison at One Year in the ASSIST-K Study	J Clin Med Res. 11(5): 311-320, 2019	Original Article 小計7件

238	Takihata M	内分泌・糖尿病内科学	The efficacy and safety of luseogliflozin and sitagliptin depending on the sequence of administration in patients with type 2 diabetes mellitus: a randomized controlled pilot study	Expert Opin Pharmacother. 20(17): 2185–2194, 2019	Original Article
239	Terauchi Y	内分泌・糖尿病内科学	Long-term safety and efficacy of the sodium glucose cotransporter 2 inhibitor tofogliflozin added on glucagon-like peptide-1 receptor agonist in Japanese patients with type 2 diabetes mellitus (J-STEP/GLP): a 52-week open-label, multicenter, post-marketing clinical study	J Diabetes Investig. 10(6): 1518–1526, 2019	Original Article
240	Terauchi Y	内分泌・糖尿病内科学	Safety and efficacy of empagliflozin as add-on therapy to GLP-1 receptor agonist (liraglutide) in Japanese patients with type 2 diabetes mellitus: a randomized double-blind, parallel-group phase 4 study	Diabetes Therapy 10(3): 951–963, 2019	Original Article
241	Terauchi Y	内分泌・糖尿病内科学	Humanistic and economic burden of cardiovascular disease related comorbidities and hypoglycaemia among patients with type 2 diabetes in Japan	Diabetes Res Clin Pract. 149: 115–125, 2019	Original Article
242	Watada H	内分泌・糖尿病内科学	GPR119 Agonist DS-8500a Effects on Pancreatic $\beta$ -Cells in Japanese Type 2 Diabetes Mellitus Patients	J Diabetes Investig. 10(1): 84–93, 2019	Original Article
243	Yamakawa T	内分泌・糖尿病内科学	Dietary survey in Japanese patients with type 2 diabetes and influence of dietary carbohydrate on hemoglobin A1c: The Soreka study	J Diabetes Investig. 10(2): 309–317, 2019	Original Article 小計6件

244	Inomata N	皮膚科学	Bird-egg syndrome induced by $\alpha$ -livetin sensitization in a budgerigar keeper: Successful induction of tolerance by avoiding exposure to avians	Allergol Int, 68(2): 282–284, 2019	Original Article
245	Miyakawa M	皮膚科学	A case of allergic finger and facial contact dermatitis induced by cigarette smoking	Contact Dermatitis, 81(6): 473–474, 2019	Original Article
246	Ototake Y	皮膚科学	Varied responses to and efficacies of hydroxychloroquine treatment according to cutaneous lupus erythematosus subtypes in Japanese patients	J Dermatol, 46(4): 285–289, 2019	Original Article
247	Asai C	皮膚科学	A case of toxic epidermal necrolysis occurring after bone marrow transplantation accompanied with engraftment failure	J Dermatol, 46(6): 540–543, 2019	Case report
248	Totsuka M	皮膚科学	A case of severe bullous erythema including intertrigo-like eruptions with angioedema induced by pegylated liposomal doxorubicin	J Dermatol, 46(6): 535–539, 2019	Case report
249	Abe H	輸血・細胞治療部	The Usefulness of Straight Chemotherapy for Dermal Exposed Anaplastic Lymphoma Kinase Fusion-Positive Anaplastic Large-Cell Lymphoma with Intracranial Invasion	Asian J Neurosurg, 14(4): 1218–1221, 2019	Original Article
250	Shiba N	輸血・細胞治療部	Transcriptome analysis offers a comprehensive illustration of the genetic background of pediatric acute myeloid leukemia	Blood Adv, 3(20): 3157–3169, 2019	Original Article
251	Ikeda J	輸血・細胞治療部	Whole transcriptome sequencing reveals a KMT2A-USP2 fusion in infant acute myeloid leukemia	Genes Chromosomes Cancer, 58(9): 669–672, 2019	Original Article 小計8件

252	Wada-Shimosato Y	輸血・細胞治療部	Effectiveness of acyclovir prophylaxis against varicella zoster virus disease after allogeneic hematopoietic cell transplantation: A systematic review and meta-analysis	Transpl Infect Dis, 21(3): e13061, 2019	Original Article
253	Nakamura T	輸血・細胞治療部	Genome-wide DNA methylation profiling shows molecular heterogeneity of anaplastic pleomorphic xanthoastrocytoma	Cancer Sci, 110(2): 828-832, 2019	Original Article
254	Wada-Shimosato Y	輸血・細胞治療部	Intraventricular Rituximab in Pediatric CD20-positive Refractory Primary Central Nervous System Lymphoma	J Pediatr Hematol Oncol, 41(7): 571-573, 2019	Original Article
255	Toida C	救急医学	The Imbalance in Medical Demand and Supply for Pediatric Victims in an Earthquake	Disaster Med Public Health Prep, 13(4): 672-676	Original Article
256	Kimura K	救急医学	JCS 2018 Guideline on Diagnosis and Treatment of Acute Coronary Syndrome	Circ J, 83(5): 1085-1196, 2019	Original Article
257	Maruhashi T	救急医学	The Tsukui (Japan) Yamayuri-en Facility Stabbing Mass-Casualty Incident	Prehosp Disaster Med, 34(2):203-208, 2019	Original Article
258	Ogawa F	救急医学	A case report: Veno-venous extracorporeal membrane oxygenation for severe blunt thoracic trauma	J Cardiothorac Surg, 14(1):88, 2019	Case report 小計7件

259	Higashi T	救急医学	Analysis of the risk factors for tracheostomy and decannulation after traumatic cervical spinal cord injury in an aging population	Spinal Cord, 57(10):843-849, 2019	Original Article
260	Yasufumi O	救急医学	Quantitative capillary refill time predicts sepsis in patients with suspected infection in the emergency department: an observational study	J Intensive Care, 7: 29, 2019	Original Article
261	Muguruma T	救急医学	Effects of establishing a trauma center on the mortality rate among injured pediatric patients in Japan	PLoS One, 14(5): e0217140, 2019	Original Article
262	Muguruma T	救急医学	Validation of the Pediatric Physiological and Anatomical Triage Score in Injured Pediatric Patients	Prehosp Disaster Med, 34(4): 363-369, 2019	Original Article
263	Nakajima K	救急医学	Does the conventional landmark help to place the tip of REBOA catheter in the optimal position? A non-controlled comparison study	World J Emerg Surg, 14:35, 2019	Original Article
264	Yogo N	救急医学	Successful Management of Airway and Esophageal Foreign Body Obstruction in a Child	Case Rep Emerg Med, 24; 6858171, 2019	Original Article
265	Oi Y	救急医学	Quantitative capillary refill time predicts sepsis in patients with suspected infection in the emergency department: an observational study	J Intensive Care, 7: 1-9, 2019	Original Article
266	Kaneko S	外科治療学	Tracheo-innominate artery fistula with continuous bleeding successfully treated through the suprasternal approach: a case report	Journal of Cardiothoracic Surgery, 15(1):41, 2020. Feb	Case report 小計8件

267	Tamagawa H	外科治療学	The Impact of Intraoperative Blood Loss on the Long-term Prognosis after Curative Resection for Borrmann Type IV Gastric Cancer: A Retrospective Multicenter Study	Anticancer Research, 40(1):405–412, 2020. Jan	Original Article
268	Tamagawa H	外科治療学	The Impact of Intraoperative Blood Loss on the Survival of Patients With Stage II/III Pancreatic Cancer	In Vivo, 34(3):1469–1474, 2020. Feb	Original Article
269	Hara K	外科治療学	The Prognostic Value of the Perioperative Systemic Inflammation Score for Patients With Advanced Gastric Cancer	Anticancer Research, 40(3):1503–1512, 2020. Jan	Original Article
270	Aoyama T	外科治療学	Clinical Influence of Anastomotic Leakage on Esophageal Cancer Survival and Recurrence	Anticancer Research, 40(1):443–449, 2020. Jan	Original Article
271	Aoyama T	外科治療学	The Short- and Long-term Outcomes of Esophagectomy for Esophageal Cancer in Patients Older than 75 Years	Anticancer Research, 40(2):1087–1093, 2020. Feb	Original Article
272	Kazama K	外科治療学	Distribution of Regulatory T-Cells and Other Phenotypes of T-Cells in Tumors and Regional Lymph Nodes of Colorectal Cancer Patients	In Vivo, 34(2):849–856, 2020. Mar	Original Article
273	Aoyama T	外科治療学	The postoperative lean body mass loss at one month leads to a poor survival in patients with locally advanced gastric cancer	Journal of Cancer, 10(11):2450–2456, 2019	Original Article 小計7件

274	Aoyama T	外科治療学	Clinical impact of perioperative oral/dental care on cancer surgery outcomes	Anticancer research, 39(6):2711-2714, 2019	Original Article
275	Numata M	外科治療学	D3 lymph node dissection reduces recurrence after primary resection for elderly patients with colon cancer	International Journal of Colorectal Disease, 34(4):621-628, 2019	Original Article
276	Numata M	外科治療学	Laparoscopic surgery in patients diagnosed with clinical N2 colon cancer	Surgery Today, 49(6):507-512, 2019	Original Article
277	Isaka T	外科治療学	Efficacy of Platinum-Based Adjuvant Chemotherapy on Prognosis of Pathological Stage II/III Lung Adenocarcinoma based on EGFR Mutation Status: A Propensity Score Matching Analysis	Molecular diagnosis & therapy, 23(5):657-667, 2019	Original Article 小計4件

(注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。

- 2 報告の対象とすることは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限ること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)
- 3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet alとする。
- 4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。
- 5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名・出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない); 卷数: 該当ページ」の形式で記載すること  
(出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。

記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)

- 6 「論文種別」欄には、Original Article、Case report、Review、Letter、Othersから一つ選択すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	筆頭著者の 発表者氏名	特定機能病院における所 属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1					Original Article
2					Case report
3					
～					

計 件

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

## (様式第3)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

## (1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	<input checked="" type="radio"/> 有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	<input checked="" type="radio"/> 有・無
<ul style="list-style-type: none"> <li>手順書の主な内容</li> </ul> <p>委員会の設置、研究機関長、研究者及び研究責任者の業務及び責務、研究責任者による研究実施の準備及び研究の管理に関する業務 など</p>	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年12回

(注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。  
 2 前年度の実績を記載すること。

## (2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適當な管理措置について検討するための委員会の設置状況	<input checked="" type="radio"/> 有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	<input checked="" type="radio"/> 有・無
<ul style="list-style-type: none"> <li>規定の主な内容</li> </ul> <p>公立大学法人横浜市立大学臨床研究利益相反委員会実施要綱により委員会の設置、所掌事務、組織、自己申告書の審査及び本学が設定する基準額を超える利益関係についてのマネジメントについて定めている。</p>	
③ 利益相反を審査し、適當な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年19回

(注) 前年度の実績を記載すること。

## (3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年4回
<ul style="list-style-type: none"> <li>研修の主な内容</li> </ul> <p>「研究不正防止対策とCOI適正管理」</p>	

「研究倫理の近年の動向と課題」

「個人情報の取扱いと研究：なぜ“保護”が必要なのか？」

「臨床研究の適正な実施のために～臨床研究法と医学系指針の相違を中心に～」

(注) 前年度の実績を記載すること。



(様式第4)

## 高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

### 1 研修の内容

本学は20を超す多彩なプログラムを有しており、大学病院の専門診療科及び専門別センターで高度で質の高い医療に従事することができる。また、協力病院をはじめとした地域医療機関での研修によって、臨床研修に引き続きプライマリ・ケアを含めた幅広い研修も行うことができる。研修期間は原則3年間であり、専門医取得に向けた大きな一步となっている。

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

### 2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	90 人
-------------	------

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

### 3 研修統括者

研修統括者氏名	診 療 科	役 職 等	臨 座 経 験 年 数	特記事項
中島 秀明	血液・リウマチ・感染症内科	教授	34 年	
田村 功一	腎臓・高血圧内科	教授	33 年	
田中 章景	脳神経内科・脳卒中科	教授	34 年	
寺内 康夫	内分泌・糖尿病内科	教授	32 年	
前田 慎	消化器内科	教授	28 年	
中島 淳	消化器内科(肝胆膵)	教授	32 年	
市川 靖史	臨床腫瘍科	教授	35 年	
菱本 明豊	精神科	助教	25 年	
伊藤 秀一	小児科	教授	28 年	
益田 宗孝	心臓血管外科	教授	34 年	
遠藤 格	消化器・肝移植外科	教授	36 年	
稻葉 裕	整形外科	教授	32 年	
猪又 直子	皮膚科	教授	27 年	
矢尾 正祐	泌尿器科	教授	39 年	
宮城 悅子	産婦人科	教授	33 年	
水木 信久	眼科	教授	32 年	
折館 伸彦	耳鼻咽喉科	教授	33 年	
幡多 政治	放射線科	教授	28 年	
光藤 健司	歯科・口腔外科・矯正歯科	教授	32 年	
後藤 隆久	麻酔科	教授	34 年	
山本 哲哉	脳神経外科	教授	32 年	
中村 健	リハビリテーション科	教授	28 年	
前川 二郎	形成外科	教授	35 年	
竹内 一郎	救急科	教授	24 年	
大橋 健一	病理部	教授	35 年	
山崎 悅子	臨床検査部	准教授	29 年	
太田 光泰	総合診療科	教授	28 年	

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている

診療科については、必ず記載すること。

- (注) 2 内科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。
- (注) 3 外科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

## (様式第5)

## 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画 (2) 現状
管理責任者氏名	医療情報部長 根本 明宜
管理担当者氏名	医事課長 深澤 博 / 総務課長 斎藤 龍也

診療に関する諸記録	規則項目第十二条の三第二項に掲げ	保管場所	管理方法
	病院日誌	総務課	総務課サーバー室内的 サーバーに電子データとして保存している。
	各科診療日誌	各科	
	処方せん	総務課・薬剤部	
	手術記録	総務課	
	看護記録	総務課	
	検査所見記録	総務課	
	エックス線写真	総務課	
	紹介状	総務課	
	退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	総務課	診療録(個人情報)を病院外に持ち出す際の取扱いについて、原則持ち出し禁止であるが、やむを得ず出す場合は、(1)所属長の承認を受ける。(2)特定の個人が識別できないようにする等の対策を行う。
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則項目第十二条の三第三項に掲げる	従業者数を明らかにする帳簿	職員課
		高度の医療の提供の実績	医事課(病歴室)
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	各診療科
		高度の医療の研修の実績	各診療科
		閲覧実績	各関係部署
		紹介患者に対する医療提供の実績	医事課(病歴室)
		入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	総務課・薬剤部
	規則項目第十二条の三第一項に掲げる	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療の質向上・安全管理室
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療の質向上・安全管理室
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療の質向上・安全管理室
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善の方策の状況	医療の質向上・安全管理室

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	感染制御部
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染制御部
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染制御部
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善の方策の実施状況	感染制御部
		医薬品安全管理責任者の配置状況	職員課
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況	薬剤部
		医療機器安全管理責任者の配置状況	職員課
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	総務課
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	総務課
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況	総務課

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録  規則第九条の二十一の二第一項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	職員課	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	職員課	
	医薬品安全管理責任者の業務実施状況	薬剤部	
	医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	総務課	
	診療録等の管理に関する責任者の選任状況	職員課	
	医療安全管理部門の設置状況	職員課	
	高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	総務課	
	未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	総務課	
	監査委員会の設置状況	総務課	
	入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医療の質・安全管理室	
	他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医療の質・安全管理室	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医事課	
	医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	八景キャンパス総務課	
	職員研修の実施状況	職員課	
	管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	総務課	
	管理者が有する権限に関する状況	職員課	
	管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	八景キャンパス総務課	
	開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	八景キャンパス企画財務課	

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画	②. 現状
閲覧責任者氏名	医療情報部長	根本 明宣
閲覧担当者氏名	医事課長	深澤 博 / 総務課長 齋藤 龍也
閲覧の求めに応じる場所	会議室	病歴室(閲覧室)
閲覧の手続の概要		
医療スタッフの閲覧は「横浜市立大学附属病院 診療録等管理実施要綱」「診療録等の閲覧・貸出要綱」に基づき手続きを行う。		
患者側からの個人情報開示の請求があった場合、「横浜市立大学附属病院における診療情報の提供に関する実施要綱」「横浜市立大学附属病院における診療情報の提供に関する事務処理要領」に基づき手続きを行う。		
公的監査における診療録の閲覧については、指定を受けた記録について該当記録・書類を病院職員立ち合いのもと開示する。		
カルテレビュー形式で閲覧する場合は、会議室に電子カルテ閲覧の環境を設置する。病院職員が操作し指定の記録あるいは診療内容について開示する。		

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0	件
閲覧者別	医師	延	0 件
	歯科医師	延	0 件
	国	延	0 件
	地方公共団体	延	0 件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

## 規則第1条の11第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	(有)・無
<ul style="list-style-type: none"><li>指針の主な内容：<ol style="list-style-type: none"><li>医療安全管理の基本方針</li><li>医療安全管理のための組織体制</li><li>報告及び再発防止、医療事故発生時の対応</li><li>高難度新規医療技術を用いた医療提供及び未承認新規医薬品等を用いた医療の提供</li><li>説明同意による患者・家族と医療従事者間の情報共有</li><li>患者からの相談等への対応</li><li>医療安全のための職員教育・研修</li><li>外部監査、内部通報制度</li><li>その他医療安全の推進</li></ol></li></ul>	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
設置の有無 (有・無)	
<ul style="list-style-type: none"><li>開催状況：年 23 回</li><li>活動の主な内容：<p>安全管理対策委員会：院内医療安全の方針を協議決定 リスクマネジャー会議：安全管理対策委員会の方針周知 リスクマネジャーによるグループワーク 安全課題検討</p></li></ul>	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年240回
<ul style="list-style-type: none"><li>研修の内容（すべて）：別添①参照</li></ul>	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善の方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"><li>医療機関内における事故報告等の整備 (有・無)</li><li>その他の改善の方策の主な内容：<ol style="list-style-type: none"><li>インシデントシステムを用いた院内のインシデント報告の収集を実施</li><li>収集したインシデントの問題点を分析し対応を行う</li><li>職種横断的な対応が必要な案件は複数のリスクマネジャーによる事例の検討を行う</li><li>インシデントの件数、事故報告等は医療機能評価機構へ報告し、広く情報共有する</li></ol></li></ul>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第1号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
・ 指針の主な内容 :	
1. 院内感染対策に関する基本的考え方 2. 委員会等の組織に関する基本的事項 3. 職員研修に関する基本方針 4. 感染症の発生状況の報告に関する基本方針 5. 院内感染発生時の対応に関する基本方針 6. 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針 7. 院内感染対策の推進のために必要な基本方針	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年13回
・ 活動の主な内容 :	
1. 医療関連感染防止等についての検討 (COVID-19対策含む) 2. 感染症発生状況の把握 3. 感染症発生時及び防止のための迅速な対応を行うための審議・検討 4. 感染対策マニュアル等の検討 5. 環境ラウンド・感染対策推進部会の活動把握 6. 分離菌、CLABSI、CAUTI、VAE、SSIサーベイランスの把握	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年53回
・ 研修の内容 (すべて) :	
1. Eラーニング : 当院の感染対策 (全職員) 2. 講演会 : 『抗菌薬適正使用支援チーム (AST) 活動について/海外からの帰国者へ上手に対応するために～感染症のトリアージと初期対応』 (全職員) 3. 標準予防策、ミキシング、処置別研修 (新人看護師・研修医) 4. 静脈注射研修・CVC研修 (看護師) 5. 療養環境整備について、抗菌薬等 (感染リンクナース会) 6. 耐性菌対策、抗菌薬、空調管理、結核感染対策 (感染対策推進部会) 7. 清掃業者に対する感染対策・工事業者に対する感染対策 (委託業者) 8. 手指衛生・小児科病棟の感染対策 9. COVID-19感染対策について (全職種) 10. フルPPE着脱演習 (救急外来担当者・DMAT・救急科医師) 11. 部署特有の感染対策・耐性菌対策 (部署・部門)	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善の方策の状況	
・ 病院における発生状況の報告等の整備 <input checked="" type="checkbox"/> 有・無 )	
病棟別検出菌発生頻度、材料別菌発生頻度、主要分離菌の検出と推移などの感染レポートを作成している。院内感染対策が必要な耐性菌やウィルス疾患の検査結果が判明した際には、臨床検査部から感染制御部と担当医師に報告され、また、部門システム上からも感染症発生状況を随時把握できる体制がある。また、部署部門での感染症把握時は、管理者から感染制御部に報告がある。	
感染制御部部員は、必要時に訪問し状況把握に努め、助言や指導を行い院内感染拡大防止に努めている。また、必要に応じて臨時で感染対策委員会を開催し対応を協議している。	
・ その他の改善の方策の主な内容 :	
各部署・部門にて、アクションプランを用いた感染対策の取り組み 手指衛生サーベイランス (病棟・外来・中央部門) の実施 感染対策推進部会にて、血液体液曝露の減少に向け勉強会とグループワークの取り組み CLABSI、CAUTI、VAE、SSIの減少にむけた報告や、療養環境整備の取り組み 制御部及び感染対策推進部員の院内ラウンドによる感染対策チェック	

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る  
措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	(有・無)
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 6 回
<ul style="list-style-type: none"> <li>研修の主な内容：           <ul style="list-style-type: none"> <li>新採用職員及び転入職員に対する「医薬品の安全管理」に関する研修</li> <li>研修医に対する麻薬・抗がん剤の処方に関する研修</li> <li>看護師に対する静脈注射に関する安全研修</li> <li>抗菌薬の適正使用に関する研修</li> <li>院内の医療安全講演会にて「院内における併用禁忌事例」について講演</li> </ul> <p>* 詳細については薬剤部内に研修実績として管理している</p> </li> </ul>	
<p>③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>手順書の作成 (有・無)</li> <li>手順書の内訳に基づく業務の主な内容：</li> </ul> <p>手順書に基づく業務の実施状況を確認するために、リスクマネジャーを通して各病棟および部門のチェックリストによる定期確認を行っている（3ヶ月毎 6・9・12・3月）</p>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無)</li> <li>未承認等の医薬品の具体的な使用事例（あれば）：</li> </ul> <p>その他の改善の方策の主な内容：</p> <p><b>【未承認医薬品】なし</b>      当院では未承認医薬品の定義を「院内で使用したことのない医薬品であって、医薬品の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律（昭和35年法律第145号）における承認又は認証を受けていないもの（国内において承認されておらず、かつ国外において医療用として使用されているもの。ただし、当院内において同一の使用目的で使用した経験がある場合、治験目的の場合はこれを除く）」としており、昨年度の実績はない。</p> <p><b>【禁忌・適応外使用】</b> 禁忌：49件、適応外：10件</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>シクロホスファミド 自己免疫性溶血性貧血に対する投与</li> <li>メルカプトプリン クローン病に対する投与</li> <li>カルベジロール 気管支喘息患者への投与 など</li> </ul> <p>その他の改善の方策の主な内容：</p> <p><b>【未承認医薬品】</b>      院内に未承認新規医薬品等評価部を設立し、専任の薬剤師（薬剤部兼務）を配置している。未承認医薬品等の使用における有用性及び安全性に関する情報収集及び評価を行い、部門及び臨床倫理委員会にて報告を行う。使用症例については開始報告、経過観察報告、終了報告を受け、部門にて共有する。</p> <p><b>【禁忌・適応外使用】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>医薬品情報管理室（DI）にて情報を一元管理し、有用性・安全性のエビデンスを調査・評価し、院内の安全管理対策委員会にて使用状況を報告。必要に応じて臨床倫理委員会への提出を促す等、安全使用に関する取り組みを行っている。</li> </ul>	

上記の体制に関し、昨年度の外部監査でD1室で収集・評価した情報を病院として審議すべきとの指摘があったため、取り組みの見直しを行った。（2018年5月から臨床倫理委員会で審議する体制となった。）

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	(有・無)
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 78回
研修の主な内容：	
主要7品目(麻酔器を加わえた8品目)を中心とした研修を主に実施 放射線業務従事者向け放射線安全取扱講習会 医療機器の使用方法に関する事項 医療機器の使用に関して特に法令上順守すべき事項 新規導入装置についての研修	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療機器に係る計画の策定 (有・無)</li> <li>・ 機器ごとの保守点検の主な内容：</li> </ul> 主要7品目(麻酔器を加わえた8品目)を中心とした点検(メーカー点検含)を主に実施 医療機器年間保守点検実施計画によるメーカー点検簿に基づく定期点検実施 汎用機器である中央管理機器点検計画により定期点検を実施	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集 その他の医療機器の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無)</li> <li>・ 未承認等の医療機器の具体的な使用事例(あれば)：</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ その他の改善の方策の主な内容：</li> </ul> 輸液ポンプTE-281A過剰投与事例を受けて325台の履歴確認を行いモータ不良1台と電子回路エラー1台をメーカーに送り原因検索を依頼した。過剰投与の原因是、フィンガー部のペアリングの芯ずれによる不具合(製造工程上の問題)によるものであった。対策済みのフィンガー部交換を325台実施した。(後にメーカーから自主回収の案内となった事例)	

(注) 前年度の実績を記入すること。

## 規則第9条の20の2第1項第1号から第13号に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	(有)・無
・責任者の資格 (医師・歯科医師) ・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況	
別紙2組織図の通り	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	(有) (1名)・無
③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況	
・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況	薬剤部医薬品情報管理室(DI)に専任担当者を3名配置し、定期的な情報収集・発信を行っている。  【収集・発信情報の例】 <ul style="list-style-type: none"><li>・医薬品等安全性情報、添付文書改訂情報、Up to date(適応症の追加などの月刊情報) (年12回:全診療科あて通知、院内ポータルに掲示)</li><li>・医薬品適正使用情報(隨時、昨年度は6回発行)</li><li>・採用医薬品集(4月発行、10月追補版発行)</li><li>・薬事委員会速報(年6回、奇数月)</li><li>・禁忌適応外医薬品情報収集報告(59件:DI室で収集した件数)</li><li>・医薬品安全性情報報告書(48件:PMDAに報告)</li></ul>
・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況	医療の質向上センターに未承認新規医薬品等評価部を設置し、未承認薬等を用いた医療提供に対する提供の適否、使用条件等について意見を述べている。
・担当者の指名の有無 (有)・無	
・担当者の所属・職種:	(所属:手術部, 職種 医師 ) (所属: , 職種 ) (所属:看護部, 職種 看護師 ) (所属: , 職種 ) (所属:MEセンター, 職種 臨床工学技士) (所属: , 職種 ) (所属:薬剤部, 職種 薬剤師 ) (所属: , 職種 )

④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	<input checked="" type="radio"/> 有・無
・医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 ( <input checked="" type="radio"/> 有・無 )	
・説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容	
：ガイドラインに則した監査の実施及び監査結果の報告	

⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	<input checked="" type="radio"/> 有・無
・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容： ガイドラインに則った監査の実施及び、委員会を通じた監査結果の報告	

⑥ 医療安全管理部門の設置状況	<input checked="" type="radio"/> 有・無
・所属職員：専従（3）名、専任（5）名、兼任（10）名 うち医師：専従（1）名、専任（ ）名、兼任（6）名 うち薬剤師：専従（1）名、専任（ ）名、兼任（ ）名 うち看護師：専従（1）名、専任（1）名、兼任（ ）名 (注) 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること ・活動の主な内容： 医療に係る安全管理対策の推進、医療に係る安全管理についての情報収集、分析、評価等に関する業務を行う。 医療の質・安全に資するモニタリングについては、画像診断報告書の未読数、病理結果確認率、中心静脈穿刺同意書取得率、中心静脈穿刺早期合併症発症率、中心静脈穿刺X線確認実施率、手術関連死亡症例数、術後肺血栓症発生率、アレルギー情報入力率、転倒転落レベル別発生率等、昨年度から引き続き実施している項目に加え、今年度から「手術患者におけるマーキング未実施数モニタリング」を追加した。 安全に関する意識確認について、リスクマネジャーの院内巡回時には、最寄りのAEDの場所、患者確認の2段階プロセスについての確認、一般病棟でKCL注の投与に関するルールが掲載されている場所、胃管挿入時の先端確認方法等のヒアリングを	

行った。

※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。

※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。

#### ⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

- ・前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（7件）、及び許可件数（5件）
- ・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（（有・無））
- ・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（（有・無））
- ・活動の主な内容：

診療科から提出される申請書を受領・確認し、高難度新規医療技術評価部会を開催する。評価部会では、申請内容、技術内容、患者への説明内容等を審査し、記載内容等に不足があれば申請者に修正依頼を行う。評価部会の検討結果を基に高難度新規医療技術評価委員会を開催。評価委員会及び臨床倫理委員会双方で内容を審査し、申請案件の実施の可否を検討する。評価委員会の可否を基に、再度評価部会を開催（メール審議も可）し申請案件の実施を承認する。承認された案件に対し、診療科は定められた件数を実施、評価部会では所定件数のモニタリングを実施し、有害事象の把握を行う。

- ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（（有・無））
- ・高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（（有・無））

#### ⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用的適否等を決定する部門の状況

- ・前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数（2件）、及び許可件数（1件）
- ・未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用的適否等を決定する部門の設置の有無（（有・無））
- ・未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（（有・無））
- ・活動の主な内容：

各診療科からの申請された案件について、未承認新規医薬品等評価委員会へ使用の適否、使用を認める場合の条件等についての意見を求め、委員会の意見を踏まえ、当該未承認新規医薬品等の使用の適否等を決定し、診療科の長に対しその結果を通知している。また、使用された未承認新規医薬品等について、定期的にモニタリング（手術記録、診療録等の記載内容を確認）を行い、当該未承認新規医

薬品等が適正な手続きに基づいて提供されていたかどうか、従業員の遵守状況を確認している。

- ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（ 有  無）
- ・未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無（ 有  無）

⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

- ・入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 269 件
- ・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 442 件（オカレンス 417 件、3b 事例 25 件）
- ・上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容

全死亡患者の診療記録を医療の質・安全管理部で確認した。3b 事例に関しては院内医療事故会議を開催し、事例の検討を行い、安全管理対策委員会で報告した。

⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

- ・他の特定機能病院等への立入り（ 有（病院名：金沢大学附属病院）・無）
- ・他の特定機能病院等からの立入り受入れ（ 有（病院名：九州大学病院）・無）
- ・技術的助言の実施状況  
高難度新規医療技術導入後の検証については、厳重な検証が行われ強固なシステムが構築されており評価できる。診療科への周知が十分でないようだったので、マニュアル等において更なる周知に取り組んでいただきたい。  
→ 高難度新規医療技術を用いた医療提供に関する規則等を改正し、院内、各診療科に周知する準備をしている。また、臨床倫理委員会との連携業務等を見直し、窓口を一本化し、診療科に分かりやすい運用に変更する予定で調整中である。

⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

・体制の確保状況

患者相談窓口を設置し、平日時間内の相談に適宜応じている。当事者や部署責任者への連絡を行い、患者説明の調整を行っている。QI ミーティングにて改善に向けた報告を定期的に行っている。

**(12) 職員研修の実施状況**

・研修の実施状況

平成 28 年度に「教職員研修委員会」を設置し、研修年間計画を策定するほか、病院として研修受講歴の一元的な管理に取り組んでいる。

中でも、医療安全講演会(研修会)は年 6 回開催しており、医療安全の基本的な考え方やインシデント事例をふまえた具体的対策・改善等に関して研修を実施している。各講演会では参加者アンケートを実施しており、学習効果の測定も合わせて行っている。

また、多職種による連携と協働を推進するための取組としては、平成 26 年度から TeamSTEPPS 研修を開催しており、毎年新採用職員を中心に、当院で働くすべての教職員が受講できるようにしている。

(注) 前年度の実績を記載すること (⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること)

**(13) 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況**

・研修の実施状況

公益財団法人 日本医療機能評価機構主催の 2019 年度特定機能病院管理者研修に統括安全管理者(医療安全管理責任者)、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者が参加した。

(注) 前年度の実績を記載すること (⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること)

## 規則第7条の2第1項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

### 管理者に必要な資質及び能力に関する基準

#### ・ 基準の主な内容

公立大学法人横浜市立大学附属病院長候補者選考基準に関する規程により規定している。

(選考基準)

第2条 候補者となることのできる者は、次に掲げる要件を満たす者とする。

- (1) 医師免許を有している者
- (2) 医療安全の確保のために必要な資質及び能力を有している者
- (3) 組織管理能力等の当該病院を管理運営するうえで必要な資質及び能力を有している者
- (4) 横浜市立大学附属病院（以下「当院」という。）の使命を遂行するために必要な資質及び能力を有している者

(医療安全)

第3条 前条第2号に定める医療安全の確保のために必要な資質及び能力とは、医療安全管理業務の経験及び患者の安全を第一に考える姿勢及び指導力等をいう。

2 前項に定める医療安全管理業務とは、次のいずれかの業務をいう。

- (1) 医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の業務
- (2) 医療安全管理委員会の構成員としての業務
- (3) 医療安全管理部門における業務
- (4) その他上記に準ずる業務

(管理運営)

第4条 第2条第3号に定める組織管理能力等の当該病院を管理運営するうえで必要な資質及び能力とは、当院又は当院以外での組織管理経験等、高度な医療を司る特定機能病院を管理運営するうえで必要な資質、能力及び経営改善能力等の資質、能力をいう。

(使命遂行)

第5条 第2条第4号に定める当院の使命を遂行するために必要な資質及び能力とは、当院の理念及び基本方針に掲げる事項を継続的かつ確実に推進する姿勢及び指導力等をいう。

- ・ 基準に係る内部規程の公表の有無（ 有・ 無）
- ・ 公表の方法

大学ホームページにて公開

規則第7条の3第1項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無			有・無	
<ul style="list-style-type: none"> <li>選考を実施した場合、委員会の設置の有無（有・無）</li> <li>選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無（有・無）</li> <li>選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無（有・無）</li> <li>公表の方法 大学ホームページにて公開</li> </ul>			○	
管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由				
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	特別の関係
今田 忠彦	公立大学法人横浜市立大学 理事		横浜市立大学附属病院長候補者 選考会議規程規程3条1項1号	○
下澤 明久	公立大学法人横浜市立大学 理事 ・事務局長		横浜市立大学附属病院長候補者 選考会議規程規程3条1項1号	○
中條 祐介	公立大学法人横浜市立大学 理事 ・副学長 横浜市立大学国際商学部教授	○	横浜市立大学附属病院長候補者 選考会議規程規程3条1項2号	○
遠藤 格	公立大学法人横浜市立大学 理事 ・副学長 横浜市立大学医学部教授		横浜市立大学附属病院長候補者 選考会議規程規程3条1項2号	○
望月 正光	関東学院大学 経済学部教授		横浜市立大学附属病院長候補者 選考会議規程規程3条1項3号	○
森下 信	横浜国立大学 環境情報研究院 教授		横浜市立大学附属病院長候補者 選考会議規程規程3条1項3号	○
石川 義弘	横浜市立大学 医学群長		横浜市立大学附属病院長候補者 選考会議規程規程3条1項4号	○
濱崎 登代子	横浜市立大学附属病院 看護部長		横浜市立大学附属病院長候補者 選考会議規程規程3条1項5号	○

規則第9条の23第1項及び第2項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の設置及び運営状況

合議体の設置の有無	(有) 無
<ul style="list-style-type: none"><li>・合議体の主要な審議内容 病院運営の重要事項に関すること、病院の中期計画、年度計画に関すること、病院の予算・決算に関すること、その他病院長が必要と認めた事項。</li><li>・審議の概要の従業者への周知状況 学内（院内）グループウェアへ会議資料（議事録含む）を掲載、各診療科・部門の長へメールで同資料を配信。</li><li>・合議体に係る内部規程の公表の有無（有・無）</li><li>・公表の方法</li><li>・外部有識者からの意見聴取の有無（有・無）</li></ul>	

合議体の委員名簿

氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職
相原 道子	○	医師	病院長
寺内 康夫		医師	副病院長/内分泌・糖尿病内科部長
矢尾 正祐		医師	副病院長/泌尿器科部長
田村 功一		医師	副病院長/腎臓・高血圧内科部長
濱崎 登代子		看護師	副病院長/看護部長
佐橋 幸子		薬剤師	薬剤部長
林 健一		事務	医学・病院統括部長

## 規則第15条の4第1項第1号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

### 管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無（有  無  ）
- 公表の方法

#### 規程の主な内容

- ①公立大学法人横浜市立大学教員管理職規程
- ②横浜市立大学附属病院規程

#### 管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割

- ①副病院長 役割：病院長を補佐する役割
- ②病院長補佐 役割：特定の業務に関して病院長を補佐する役割  
※現在の病院長補佐は、医療安全に関する業務を補佐している。

#### 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況

平成30年度から本学で「病院経営の変革に取り組む人材を育成するプログラム」を開始し、令和2年度も引き続き実施する。

規則第15条の4第1項第2号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する  
状況

監査委員会の設置状況	(有)・無
・監査委員会の開催状況：年 2 回	
・活動の主な内容：	
前回指摘事項に対する対応状況について	
医療に係る安全管理の業務状況について	
医療を受ける立場の方からの視点に基づく監査について	
医療安全管理部門の体制比較について	
公表を行った医療事故の経過について	
・監査委員会の業務実施結果の公表の有無（有・無）	
・委員名簿の公表の有無（有・無）	
・委員の選定理由の公表の有無（有・無）	
・監査委員会に係る内部規程の公表の有無（有・無）	
・公表の方法：	
病院のホームページ上で公開	

監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）

氏名	所属	委員長 (○を付 す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
相馬 孝博	千葉大学医学部附属病院 医療安全管理部	○	医療に係る安全管理に識見を有する者	有・無	1
水地 啓子	森法律事務所		医療に係る法律に識見を有する者	有・無	1
足立 雅子	病院ボランティアランパスの会		医療を受ける立場の者	有・無	2
益田 宗孝	本学医学部長		その他の学識経験を有する者（内部委員）	有・無	1
田中 靖	法人事務局副局長		その他の医療従事者以外の者（内部委員）	有・無	2

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

規則第15条の4第1項第3号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを  
確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

- ・ 体制の整備状況及び活動内容
- ・ 専門部署の設置の有無（ 有  無）
- ・ 内部規程の整備の有無（ 有  無）
- ・ 内部規程の公表の有無（ 有  無）
- ・ 公表の方法

## 規則第15条の4第1項第3号口に掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に 係る措置

### 開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況

- ・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況  
法人の理事長、副理事長および理事により構成される経営審議会を設置しており、法人の経営に関する重要事項を審議している。月1回の開催を原則としており、病院長も理事として参画している。
- ・ 会議体の実施状況（年10回）
- ・ 会議体への管理者の参画の有無および回数（・無）（年10回）
- ・ 会議体に係る内部規程の公表の有無（有）
- ・ 公表の方法

病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：

会議体の委員名簿

氏名	所属	委員長 (○を付す)	利害関係
			有・無

(注) 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第15条の4第1項第4号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合  
等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況

- ・情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無（ 有  無）
- ・通報件数（年0件）
- ・窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無（ 有  無）
- ・窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無（ 有  無）
- ・周知の方法

「医療安全マニュアル」「医療安全マニュアルポケット版」に掲載

## 令和元年度安全管理研修の開催状況

研修名	開催日	対象者	参加数	研修時間	研修内容
新入職者 入職時研修 I	e-L	新採用医師・異動者・復職者	101人	2.0時間	当院の医用安全の知識・医療安全演習 院内救急対応・災害医療 放射線診療における安全管理 医薬品の安全管理
新入職者 入職時研修 II	4/3	新採用者 (研修医・看護職員・コメディカル・事務)	158人	2.0時間	当院の医用安全の知識・医療安全演習 院内救急対応・災害医療 放射線診療における安全管理 医薬品の安全管理
転入職者・副職者 研修	e-L	転入職者 副職者	94人	2.0時間	当院の医用安全の知識・医療安全演習 院内救急対応・災害医療 放射線診療における安全管理 医薬品の安全管理
TeamSTEPPS研修	6/14 7/9 11/7	全職員	80人 77人 75人	1.5時間	参加型医療安全研修 チームとしてのより良いパフォーマンスと患者安全を高めるための戦略ツール
第1回 医療安全講演会	4/10 4/15 4/15 4/16 4/17 4/17 4/18 4/19 e-L DVD	新採用 転入者 全職員	251人 17人 11人 7人 19人 21人 16人 42人 28人 1人	1.0時間	附属病院の医療安全の歩み
第2回 医療安全講演会	5/8 5/20 5/21 5/22 5/23 5/23 5/24 5/24 e-L DVD	全職員	309人 63人 84人 143人 167人 66人 46人 72人 0人 0人	1.0時間	院内早期治療介入システムが医療安全文化を変える
第3回 医療安全講演会	10/15 10/28 10/28 10/29 10/31 10/31 11/1 11/5 11/6 11/8 DVD	全職員	248人 92人 44人 95人 132人 47人 113人 47人 119人 59人 1人	1.0時間	なぜ自殺を防がないといけないのか?-自殺の実態を知り、予防について考える-
第4回 医療安全講演会	11/22 12/11 12/12 12/12 12/16 12/17 12/20 12/20 12/24 e-L DVD	全職員	104人 70人 75人 44人 95人 74人 59人 37人 19人 9人 0人	1.0時間	・安全文化調査結果報告 ・当院から医療事故調査制度に届け出た2事例について
第5回 医療安全講演会	1/16 1/27 1/28 1/29 1/30 1/31 1/31 DVD e-L	全職員	120人 13人 24人 7人 23人 21人 14人 0人 397人	1.0時間	リスクマネジャーグループワークによる 医薬品安全管理・医療機器安全管理研修
第6回 医療安全講演会	e-L DVD	全職員	200人 0人	1.0時間	リスクマネジャーグループワークによる 「特集 院内バーチャルツアー・他部門の仕事を覗いてみよう」
中心静脈カテーテル 講習会	5/15 5/17 10/17	医師 研修医	33人 31人 8人	2.5時間	講義、シミュレーターを使用した実技演習

研修名	開催日	対象者	参加数	研修時間	研修内容
新入職者入職時研修	4/2	研修医 看護師 薬剤師 その他医療職員	325名	15分	医薬品の安全管理
研修医オリエンテーション	4/2	研修医	66名	45分	麻薬の取り扱いについて
血管確保研修	9/13	看護師	75名	40分	薬剤の基礎知識と管理
感染リンクナース会	2/26	感染リンクナース	23名	30分	抗菌薬について
新人ステップ2 パート①内服管理	4/12 4/12	新人 看護師	36人 36人	3.75時間	内服管理に必要な基本的知識を身につける 患者への内服管理をイメージできる
新人ステップ2 パート①感染管理	4/12 4/12	新人 看護師	38人 38人	3.75時間	標準予防策の基本技術を身につける 輸液調剤時の清潔操作を一連の流れを体験できる
新人ステップ2 パート①酸素・吸引	4/13 4/13	新人 看護師	38人 37人	3.75時間	酸素療法における基本的知識を知る 吸引（気管内・口腔内・鼻腔内）に必要な基本的知識を学び、安全な吸引技術を体験できる ネプライザの使用方法がわかる
新人ステップ2 パート①輸液管理	4/13 4/13	新人 看護師	37人 38人	3.75時間	輸液管理に必要な基礎知識を学ぶ 輸液管理の一連の技術と流れを知る 輸血の取り扱い方法がわかる
災害拠点病院における災害時の対応について	4/16	新人 看護師	2人	1.0時間	災害拠点病院の役割と災害対応の流れがわかる 講義：机上シミュレーション（エマルゴキッド使用）
新人ステップ2 パート② 静脈血採血	5/2 5/2	新人 看護師	36人 35人	3.5時間	講義とシミュレーションを通して、静脈血採血に必要な基本的知識と技術を学び、現場での患者への採血をイメージできる
専門領域 摂食嚥下（食事介助）	5/2 5/2	新人 看護師	35人 34人	3.5時間	1. 栄養に関する基本的知識を学ぶ 2. 摂食嚥下に関する基本的知識を学び、安全な食事介助方法がわかる 講義と演習
新人ステップ3 看護記録	5/15 5/15	新人 看護師	31人 31人	3.5時間	1. 看護記録における倫理的配慮・法的責任が理解できる。 2. 看護記録の意義や記載のルールを理解し、観察した患者の情報を適切に記録できる。講義と演習
新人処置別感染対策（尿道留置カテーテル関連尿路感染予防）	5/15 5/15	新人 看護師	37人 38人	3.5時間	1. 基本的な標準予防策に必要な基礎知識を習得する 2. 膀胱留置カテーテル挿入時・留置中の感染対策を学ぶ 講義と演習
看護研究導入編	5/24	CDP 2以上	17人	1.5時間	看護研究に必要な基礎的知識を学び、研究の流れがイメージできる 研究に必要な情報と、当院の研究に関するルールを知る。APRINについて 講義・グループワーク
CVC管理研修（復職看護職員対象）	5/27	CDP 2以上	11人	2時間	中心静脈カテーテル管理の基本的な知識、技術を習得する 講義、演習、知識確認テスト、実技テスト
新人ステップ4 業務分担・タイムマネジメント	6/20	新人 看護師	36人	4時間	1. 日常業務の中で、患者を取り巻く多職種と連携をしながら、状況に応じたタイムリーな応援を求める事ができる。2. 業務を遂行する上で、適切な時間管理について考える事ができる。 講義・グループワーク
専門領域 褥瘡対策ケア（フロア別）	6/24 6/24	新人 看護師	32人 30人	2時間 2時間	褥瘡に関する診療報酬の概要を知り、入院患者の褥瘡リスクアセスメントの実施ができ、基本的な褥瘡予防ケアがわかる 講義・演習
新人ステップ4 業務分担・タイムマネジメント	6/27	新人 看護師	38人	4時間	1. 日常業務の中で、患者を取り巻く多職種と連携をしながら、状況に応じたタイムリーな応援を求める事ができる。2. 業務を遂行する上で、適切な時間管理について考える事ができる。 講義・グループワーク

研修名	開催日	対象者	参加数	研修時間	研修内容
ステップ6 フィジカルアセスメント1	7/3 7/3	新人看護師	35人 35人	3.5時間	フィジカルアセスメントの基礎を学び、根拠に基づいて患者情報を収集し、観察した内容を適切に報告・相談できる 講義と演習
ステップ5（災害看護）と専門領域(BLS)	7/3 7/3	新人看護師	35人 34人	3.5時間	(災害看護) 災害の対応について、基本的な知識を学ぶ (BLS) 心肺蘇生術・一次救命処置ができる 講義と演習
急変予兆（フィジカルアセスメント3）	7/22	CDP3以上	26人	4時間	急変に結びつく危険な徵候に気づく事ができ、迅速な対応ができる 講義・演習
災害看護研修（公開）	9/2	CDP1以上	30人	4時間	災害時の地域特性を理解し、病院施設の対応方法がわかる 講義と演習
静脈注射（血管確保）	9/13 9/13	新人看護師	34人 41人	3.5時間	静脈注射に関する講義・演習
フィジカルアセスメント2	9/19	CDP2	33人	3.5時間	フィジカルアセスメントの理解を深め、3つ（呼吸・循環・意識）の視点を用いて、根拠に基づいた患者の情報がアセスメントできる。 アセスメントした情報を看護に繋げることができる 講義
BLS②	9/19	CDP2以上	35人	4時間	ベッドサイドでの急変時の対応がイメージでき、根拠に基づいた行動がとれる。
フィジカルアセスメント2	9/30	CDP2	31人	3.5時間	フィジカルアセスメントの理解を深め、3つ（呼吸・循環・意識）の視点を用いて、根拠に基づいた患者の情報がアセスメントできる。 アセスメントした情報を看護に繋げができる 講義
BLS②	9/30	CDP2以上	33人	4時間	ベッドサイドでの急変時の対応がイメージでき、根拠に基づいた行動がとれる。
急変シミュレーション（メンバー編）	10/7	CDP2以上	22人	4時間	CDP2以上対象。 1. 急変時におけるメンバーの役割が分かり、行動できる 2. 急変時における小児（乳幼児）と成人の違いを理解し、正しい次救命処置を実施できる
CVC管理研修	10/11	新人看護師	40人	3.5時間	11月～2月に実技試験を受け承認される。 1. 中心静脈栄養カテーテル管理の基本的知識、技術を学ぶ 2. 中心静脈栄養カテーテル管理に関連したリスクを知り、合併症予防とトラブル路の対処方法を学ぶ 講義・演習・知識確認テスト・実技テスト
急変シミュレーション（リーダー編）	10/30	CDP3以上	17人	3.5時間	CDP3以上対象。 急変時にリーダーとしての役割がとれる 1. 演習を通して、急変時にメンバーへの適切な指示が実施できる 2. 急変に必要な医療機器や器材の使用目的や方法が理解できる 3. 急変の状況を予測的に判断し、環境調整ができる
ステップ7（リスクアセスメント）研修	11/11	新人看護師	32人	3.5時間	看護場面におけるリスクについて学び、安全な看護を考えることができる 1. 「ヒューマンエラーとは何か」がわかる 2. 院内の安全管理のルールを理解する 3. 危険予知トレーニング（KYT）を通し、事例を用いてリスクと行動目標を考え記述できる 講義 グループワーク
BLS研修	11/12	看護師長	31人	1時間	看護職員としての心肺蘇生法を習得し、患者急変時の対応ができる
BLS研修	11/13	CDP2以上	18人	45分	看護職員としての心肺蘇生法を習得し、患者急変時の対応ができる
BLS研修	11/14	CDP2以上	17人	45分	看護職員としての心肺蘇生法を習得し、患者急変時の対応ができる
BLS研修	11/15	CDP2以上	18人	45分	看護職員としての心肺蘇生法を習得し、患者急変時の対応ができる
CVC管理研修（継続承認対象）	11/19	CDP1以上	10人	1.5時間	2019年度CVC技術承認研修 中心静脈カテーテル管理の基本的な知識、技術を習得する 講義・演習・知識確認テスト・実技テスト
ステップ7（リスクアセスメント）研修	11/21	新人看護師	30人	3.5時間	看護場面におけるリスクについて学び、安全な看護を考えることができる 1. 「ヒューマンエラーとは何か」がわかる 2. 院内の安全管理のルールを理解する 3. 危険予知トレーニング（KYT）を通し、事例を用いてリスクと行動目標を考え記述できる 講義 グループワーク
CVC管理研修（継続承認対象）	12/3	CDP1以上	29人	1.5時間	2019年度CVC技術承認研修 中心静脈カテーテル管理の基本的な知識、技術を習得する 講義・演習・知識確認テスト・実技テスト
BLS研修	12/5	CDP2以上	18人	45分	看護職員としての心肺蘇生法を習得し、患者急変時の対応ができる

研修名	開催日	対象者	参加数	研修時間	研修内容
呼吸不全患者の看護	12/9	CDP 2以上	11人	3.5時間	呼吸管理の基本的知識を学び、呼吸不全患者に必要な看護ケアを考え事ができる 1. 呼吸生理・呼吸不全の病態が理解できる 2. 呼吸状態のアセスメントができる 3. 呼吸療法について理解できる 4. 呼吸不全患者の事例を通して、看護ケアについて検討できる 講義 事例検討 * 公開研修
BLS研修	12/10	CDP 2以上	22人	45分	看護職員としての心肺蘇生法を習得し、患者急変時の対応ができる
BLS研修	12/17	CDP 2以上	23人	45分	看護職員としての心肺蘇生法を習得し、患者急変時の対応ができる
CVC管理研修（継続承認対象）	12/18	CDP1以上	21人	1.5時間	2019年度CVC技術承認研修 中心静脈カテーテル管理の基本的な知識、技術を習得する 講義、演習、知識確認テスト、実技テスト
BLS研修	12/25	CDP 2以上	23人	45分	看護職員としての心肺蘇生法を習得し、患者急変時の対応ができる
BLS研修	1/9	CDP 2以上	18人	45分	看護職員としての心肺蘇生法を習得し、患者急変時の対応ができる
CVC管理研修（継続承認対象）	1/14	CDP1以上	37人	1.5時間	2019年度CVC技術承認研修 中心静脈カテーテル管理の基本的な知識、技術を習得する 講義、演習、知識確認テスト、実技テスト
BLS研修	1/15	CDP 2以上	19人	45分	看護職員としての心肺蘇生法を習得し、患者急変時の対応ができる
フィジカルアセスメントIV（臨床推論）	1/16	CDP III以上	12人	4時間	臨床推論を学び、日々の看護のアセスメントの方法として理解できる 1. 臨床推論の4つのプロセス（パターン認識・仮説演繹法・診断基準/アルゴリズム・徹底的検討法）がわかる 2. 臨床推論に基づき、症状を理解するアセスメント方法を学ぶ 3. 臨床推論を学び、日々の看護に結びつける方法がイメージできる 講義、グループワーク（事例検討）
BLS研修	1/21	CDP 2以上	21人	45分	看護職員としての心肺蘇生法を習得し、患者急変時の対応ができる
新人ステップ9（看護倫理1）研修	1/27	新人看護師	34人	3時間	看護倫理についての基礎知識を学び、身近に起きている出来事を倫理的な課題と結びつける事ができる。 1. 看護倫理の基礎知識について学習する 2. 『看護者の倫理綱領』をもとに、日々の看護実践から自己の行動を振り返り、倫理的な課題を考える機会とする。 講義 グループワーク
新人ステップ10（チーム医療）研修	1/27	新人看護師	33人	4時間	チーム医療における看護師の役割をふまえ、多重業務の中で患者の安全を考えた業務の優先順位を判断し、今後の看護実践に活かす。 1. チーム医療における、看護師の役割・専門性が理解できる。 2. 事例を通して、多重業務の中で患者の安全を考えた業務の優先順位をアセスメントできる。 3. チーム医療に活かされる、コミュニケーションツールが体験できる。 講義 グループワーク
BLS研修	1/27	CDP 2以上	24人	45分	看護職員としての心肺蘇生法を習得し、患者急変時の対応ができる
CVC管理研修（継続承認対象）	1/28	CDP1以上	36人	1.5時間	2019年度CVC技術承認研修 中心静脈カテーテル管理の基本的な知識、技術を習得する 講義、演習、知識確認テスト、実技テスト
新人ステップ9（看護倫理1）研修	1/30	新人看護師	31人	3時間	看護倫理についての基礎知識を学び、身近に起きている出来事を倫理的な課題と結びつける事ができる。 1. 看護倫理の基礎知識について学習する 2. 『看護者の倫理綱領』をもとに、日々の看護実践から自己の行動を振り返り、倫理的な課題を考える機会とする。 講義 グループワーク
新人ステップ10（チーム医療）研修	1/30	新人看護師	29人	4時間	チーム医療における看護師の役割をふまえ、多重業務の中で患者の安全を考えた業務の優先順位を判断し、今後の看護実践に活かす。 1. チーム医療における、看護師の役割・専門性が理解できる。 2. 事例を通して、多重業務の中で患者の安全を考えた業務の優先順位をアセスメントできる。 3. チーム医療に活かされる、コミュニケーションツールが体験できる。 講義 グループワーク
看護と安全 1	2/3	新人看護師	32人	3.5時間	看護に必要な医療安全に関する基礎知識を養う インシデント発生時の対応を学ぶ インシデントの発生要因がわかる 1. 基本的な医療安全に関する知識を学び、医療安全管理指針・両安全マニュアルに基づいた対応が理解できる 2. 事例を通して、インシデントの発生要因を考え、具体的な対策を考える事ができる

研修名	開催日	対象者	参加数	研修時間	研修内容
CVC管理研修（継続承認対象）	2/4	CDP1以上	37人	1.5時間	2019年度CVC技術承認研修 中心静脈カテーテル管理の基本的な知識、技術を習得する 講義、演習、知識確認テスト、実技テスト
BLS研修	2/6	CDP2以上	17人	45分	看護職員としての心肺蘇生法を習得し、患者急変時の対応ができる
看護と安全1	2/10	新人看護師	27人	3.5時間	看護に必要な医療安全に関する基礎を学び実践に活かす インシデント発生時の対応を学ぶ インシデントの発生要因がわかる 1. 基本的な医療安全に関する知識を学び、医療安全管理指針・医療安全マニュアルに基づいた対応が理解できる 2. 事例を通して、インシデント発生要因を考え、具体的な対策を考えることができる
BLS研修	2/13	CDP2以上	13人	45分	看護職員としての心肺蘇生法を習得し、患者急変時の対応ができる

研修名	開催日	対象者	参加数	研修時間	研修内容
BLS研修	2/17	CDP 2以上	21人	45分	看護職員としての心肺蘇生法を習得し、患者急変時の対応ができる
CVC管理研修（継続承認対象）	2/18	CDP1以上	38人	1.5時間	2019年度CVC技術承認研修 中心静脈カテーテル管理の基本的な知識、技術を習得する 講義、演習、知識確認テスト、実技テスト
BLS研修	2/26	CDP 2以上	22人	45分	看護職員としての心肺蘇生法を習得し、患者急変時の対応ができる
BLS研修	3/4	CDP 2以上	16人	45分	看護職員としての心肺蘇生法を習得し、患者急変時の対応ができる
BLS研修	3/10	CDP 2以上	23人	45分	看護職員としての心肺蘇生法を習得し、患者急変時の対応ができる
CVC管理研修（継続承認対象）	3/17	CDP1以上	4人	1.5時間	2019年度CVC技術承認研修 中心静脈カテーテル管理の基本的な知識、技術を習得する 講義、演習、知識確認テスト、実技テスト
BLS研修	3/18	CDP 2以上	16人	45分	看護職員としての心肺蘇生法を習得し、患者急変時の対応ができる
BLS研修	3/25	CDP 2以上	15人	45分	看護職員としての心肺蘇生法を習得し、患者急変時の対応ができる
MR磁場体験研修	6/19 10/16	全職員	10人 10人	1時間	MRI検査の特徴を学習・体験し、磁場を用いた検査の注意点を理解する
放射線部新採用職員医療安全研修	4/4 4/5	放射線技師	3人	3時間	患者確認方法、インシデント、ドクターコール、感染、職場改善情報等の運用されている取り組み
インシデント事例検討ミーティング	7/30 8/28 9/26 11/29 2/25	放射線技師	37人	1時間	CT検査室で発生したインシデント事例を検証し、再発防止策を構築する
放射線安全取扱講習	6/3 6/4 6/10 6/11 6/12 6/14	放射線技師 医師 看護師	79人	1.5時間	放射線取扱業務に従事する職員向けの教育研修
医療機器安全取扱い研修	12/19	放射線技師 医師	24人	1時間	リニアック、RALS、サイクロトロンに関する安全取扱い研修
新型コロナウィルス感染症患者対応研修	2/12 2/13 2/14 2/17 2/18 2/19	放射線技師	37人	1時間	新型コロナウィルス感染症患者対応に必要な感染の知識の習得および病室撮影についての注意点を理解する
CT検査室患者急変時対応訓練	12/2	放射線技師 医師 看護師	18人	2時間	造影CT検査後の患者急変を早期に発見し、迅速な状態把握と応援体制の確保を訓練する
新採用職員向け手洗い講習会	12/5	放射線技師	7人	1時間	スタンダード・プリコーションを習得する
人工心肺及び補助循環装置定期研修第1回	6/10-7/31	医師 看護師 臨床工学技士	181人	e-learning	補助循環装置（SP-200）について
	-			-	補助循環装置（SP-200）について 資料配布によるフォローアップ
人工心肺及び補助循環装置定期研修第2回	12/1-1/31	医師 看護師 臨床工学技士	173人	e-learning	補助循環装置（UNIMO）について
	-			-	補助循環装置（UNIMO）について 資料配布によるフォローアップ

研修名	開催日	対象者	参加数	研修時間	研修内容
人工呼吸器定期研修第1回	7/29-9/30 8/13 8/14 8/15	医師 看護師 臨床工学 技士	307人	e-learning 30分	人工呼吸器について
	—			—	人工呼吸器について 資料配布によるフォローアップ
人工呼吸器定期研修第2回	11/1-12/31	医師 看護師 臨床工学 技士	294人	e-learning	人工呼吸器 (Servo i、Servo U) の使用方法
	—			—	人工呼吸器 (Servo i、Servo U) の使用方法 資料配布によるフォローアップ
人工呼吸器(新生児) 定期研修第1回	8/1-9/30	医師 看護師 臨床工学 技士	48人	e-learning	人工呼吸器(小児・新生児)について
	—			—	人工呼吸器(小児・新生児)について 資料配布によるフォローアップ
人工呼吸器(新生児) 定期研修第2回	12/1-1/31	医師 看護師 臨床工学 技士	48人	e-learning	人工呼吸器(小児・新生児)の使用方法
	—			—	人工呼吸器(小児・新生児)の使用方法 資料配布によるフォローアップ
血液浄化装置定期研修第1回	7/15 - 8/31	医師 看護師 臨床工学 技士	179人	e-learning	特殊な血液浄化法と装置 (KM-8900)
	—			—	特殊な血液浄化法と装置 (KM-8900) 資料配布によるフォローアップ
血液浄化装置定期研修第2回	1/6-2/16	医師 看護師 臨床工学 技士	171人	e-learning	多用途血液処理用装置 (JUN-55X、TR55X-II) について
	—			—	多用途血液処理用装置 (JUN-55X、TR55X-II) について 資料配布によるフォローアップ
除細動装置定期研修第1回	6/1-7/31	医師 看護師 臨床工学 技士	243人	e-learning	除細動装置について
	—			—	除細動装置について 資料配布によるフォローアップ
除細動装置定期研修第2回	12/1-2/29	医師 看護師 臨床工学 技士	224人	e-learning	除細動装置の使用方法
	—			—	除細動装置の使用方法 資料配布によるフォローアップ
閉鎖式保育器定期研修第1回	8/1-9/30	医師 看護師 臨床工学 技士	73人	e-learning	閉鎖式保育器について
	—			—	閉鎖式保育器について 資料配布によるフォローアップ
閉鎖式保育器定期研修第2回	12/1-1/31	医師 看護師 臨床工学 技士	72人	e-learning	閉鎖式保育器の使用方法
	—			—	閉鎖式保育器の使用方法 資料配布によるフォローアップ
麻酔器定期研修第1回	5/20 5/22 5/23	医師 看護師 臨床工学 技士	58人	15分	麻酔器 (Flow i) について
	—			e-learning	麻酔器 (Flow i) について フォローアップ
麻酔器定期研修第2回	12/26 12/27 1/7 1/8	医師 看護師 臨床工学 技士	61人	15分	麻酔器の使用方法
	—			e-learning	麻酔器の使用方法 フォローアップ
新規導入機器研修 手術台 MST-7300BX	4/15 4/24	看護師	69人	15分	手術台 (MST-7300BX) の使用方法
	—			—	手術台 (MST-7300BX) の使用方法 資料配布によるフォローアップ
新規導入機器研修 植込型補助 人工心臓 Jarvik2000	5/7-6/30	医師 看護師 臨床工学 技士	220人	e-learning	植込型補助人工心臓(Jarvik2000)の使用方法
	—			—	植込型補助人工心臓(Jarvik2000)の使用方法 資料配布によるフォローアップ

研修名	開催日	対象者	参加数	研修時間	研修内容
新規導入機器研修 植込型補助人工心臓 EVAHEART	5/7-6/30	医師 看護師 臨床工学技士	219人	e-learning	植込型補助人工心臓 (EVAHEART) の使用方法
	—			—	植込型補助人工心臓 (EVAHEART) の使用方法 資料配布によるフォローアップ
新規導入機器研修 人工呼吸器 VN-500	7/10 7/11 7/17 7/22 7/25 7/29	医師 看護師 臨床工学技士	34人	30分	人工呼吸器 (VN-500) の使用方法
新規導入機器研修 人工呼吸器 SERVO-n	10/30 1/21 1/22 1/23 1/27 2/10 2/18 2/19	医師 看護師 臨床工学技士	57人	30分	人工呼吸器 (SERVO-n) の使用方法
新規導入機器研修 人工肺臓 STG-55	1/20 1/22 1/23 1/24 1/24 1/24 1/28 1/30 2/7 2/13 2/14 2/19 2/28 3/4 3/4 3/6 3/16 3/17 3/25	医師 看護師 臨床工学技士	115人	30分	人工肺臓 (STG-55) の使用方法
新職員対象研修 保育器	4/19	看護師	5人	30分	保育器 (Incu i) について
新職員研修 補助循環装置	9/13	看護師	3人	1時間	ECMO、IABPについて

## 組織図

